

中上級ユーザーのための、パソコン百科

コンピュータ



PC98-NX SERIES
VALUE STAR NX
VF26D/6

マニュアルを

読む順序

各マニュアルの主な内容は表紙に書いてあります。次の順序で読み進めてください。

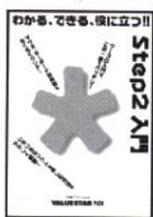
1

まずこれ!



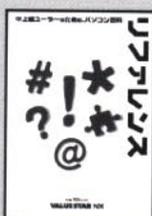
2

次にこれ!



3

目的に合ったマニュアルを選んで読む



パソコンの画面で見るマニュアル「パソコン探検箱」にもアプリケーションの説明、マニュアルの紹介などの便利な情報が
あります。



添付の「安全にお使いいただくために」は常に手元に置き、各マニュアルと合わせて必ずお読みください。

やりたいこと別マニュアルガイド

パソコンの接続とセットアップをしたい	STEP 1 接続と準備
マウスの使い方を知りたい	STEP 2 入門
キーボードで文字を打ってみたい	STEP 2 入門
ワープロを使いたい	STEP 2 入門
どんなアプリケーションが入っているか知りたい	STEP 2 入門、パソコン探検箱
インターネットを利用したい	インターネット入門、パソコン探検箱
インターネットに便利なソフトを使いたい	インターネット入門、パソコン探検箱
FAXを送受信したい	パソコン探検箱
年賀状やあいさつ状を作りたい	パソコン探検箱
パソコン用語の意味を知りたい	パソコン探検箱
プリンタをつなぎたい	拡張の手引き
オプション機器を取り付けたい	拡張の手引き
Windows 98 について知りたい	STEP 3 活用
このパソコンの機能について詳しく知りたい	リファレンス
パソコンが思うように動かない	困ったときのQ&A
マニュアル総索引を使いたい	困ったときのQ&A
再セットアップしたい	困ったときのQ&A

はじめに

この本は、『STEP 1 接続と準備』、『STEP 2 入門』、『STEP 3 活用』を読み終えた方を対象にしています。

この本には、あなたのパソコンの設定を変更したり、内蔵されたアプリケーションの使い方を調べたりするときに役に立つ情報が満載されています。

はじめてパソコンを使う方にとっては、他の本に比べると少し難しいところもあるかもしれませんが、この本があなたのパソコンのすべてを知るための道案内をしてくれます。この本を利用して思う存分にパソコンを使いこなしてください。

1999年2月 初版

このマニュアルの表記について

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています



注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。



注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】 【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

プリンタ、
コネクタなど

「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。

このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています
 表をご覧ください、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

本機	表の各モデル(機種)を指します。
一太郎モデル	一太郎9、花子9、三四郎8、FullBandがあらかじめインストールされているモデルのことで。
Wordモデル	Word、Excel、Outlookがあらかじめインストールされているモデルのことで。

型名	型番	表記の区分			
		本体の形状	CD-ROM /DVD-ROM	ディスプレイ	添付アプリケーション
VF26D/6GC	PC-VF26D6GC	ボックスレスタイプ	CD-ROMモデル	ボックスレスタイプ	一太郎モデル
VF26D/6GD	PC-VF26D6GD			(15インチ液晶)	Wordモデル
VF26D/6YC	PC-VF26D6YC			ボックスレスタイプ	一太郎モデル
VF26D/6YD	PC-VF26D6YD			(14インチ液晶)	Wordモデル

本文中の画面

本文中の画面はモデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0
一太郎	一太郎9
一太郎9バック	一太郎9バック(一太郎9、三四郎8/R.2U、花子9、FullBand1.2U with ATOK12)
VoiceATOK	VoiceATOK for SmartVoice
Excel、Word、 Outlook	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 98 for Windows®
MS-IME 98	Microsoft® IME 98
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 4.0

技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準等適合認定を受けています。申請回線と認定番号は次のとおりです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

認定機器名：PC()2()

認定番号

電話回線：S98-3092-0

導入にあたっては、「MDMNZUQC.INF」のファイルを含む専用ドライバを必ず使用してください。

使用されない場合は、この技術基準を遵守できない場合がありますので、十分ご注意ください。

高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802、IEC825）クラス1適合のCD-ROMドライブが搭載されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(Intellisyncを除く。詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください)。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Outlook、Bookshelf、およびWindowsのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」「花子」「FullBand」「ATOK」「JustNet」「Shuriken」「VoiceATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。

「一太郎9バック」「VoiceATOK for SmartVoice」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎9バック」「VoiceATOK for SmartVoice」にかかる著作権、その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

パソコン大学は、テラ・コーポレーションの登録商標です。

ニフティサーブ、NIFTY MANAGER は、ニフティ(株)の登録商標です。

「ANGEL LINE」および「エンジェルライン」は、NTTの登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

アメリカ・オンラインおよびAOLは、AOLの登録商標です。

Hatchは、ディ アンド アイ システムズ株式会社の登録商標です。

Hatch insidelは、ディ アンド アイ システムズ株式会社の商標です。

VirusScanは、米国Network Associates社および関連会社の商標または登録商標です。

「てきばき家計簿マム」は、テクニカルソフト株式会社の商標です。

インターネット カラオケキングは、(株)ミュージックネットワークの登録商標です。

「ハローキティ」は、株式会社サンリオの登録商標です。

"GLOCAL HEXCITE" is a trademark of GAJIN and SHIPS Inc.

Solitaire Deluxeは、Interplay Productionsの商標です。

Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995

SmartVoice、パソコン探検箱、BIGLOBE インターネット無料体験、BIGLOBE インターネット接続ツールは、日本電気株式会社の商標です。

Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

Hayesは、米国 Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPは、Microcom, Inc.の登録商標です。

Puma Technology、Puma Technologyロゴ、DSX Technology、DSX Technologyロゴ、IntellisyncおよびIntellisync ロゴは、いくつかの法域で登録することができる Puma Technology, Inc.の商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

3D RAGE は、ATI Technologies Inc. の商標です。

K56flex は、Lucent Technologies と CONEXANT SYSTEMS の商標です。

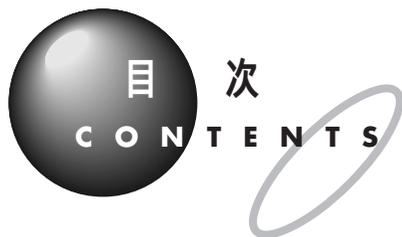
その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1999

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っておりません。



PART

1

PART

2

はじめに i
このマニュアルの表記について ii

パソコンを守るアプリケーション 1

パソコンを守るアプリケーション 2

本機のシステムを守る 2
Windows 98 の利用環境を変更する (CyberTrio-NX) 2
Windows 98 の動作環境を監視する (CyberWarner-NX) 2
ウイルスを検査、駆除する (VirusScan) 3
Windows 98 の利用環境の変更 CyberTrio-NX 4
モードの種類 4
モードの変更 4
ベーシックモード 5
キッズモード 6
Windows 98 の動作の監視 CyberWarner-NX 9
起動と終了 9
警告メッセージ 9
バックアップファイル 10
ウイルスの検査と駆除 VirusScan 12
概要 12
常に検査する (VShield) 12
定期的に検査する (VirusScan スケジューラ) 13
すぐに検査する (VirusScan) 13
ウイルスを駆除する 14

ハードウェア 15

本体の各部の名称 16
マウス 21
スクロールボタンを使う 21
「マウスのプロパティ」ウィンドウでの設定 22
キーボード 24
キーの役割 24
キーの名称 24

「キーボードのプロパティ」ウィンドウでの設定	26
PC-9800 シリーズのキーボードとのキーの違い	28
ハードディスク	29
概要	29
取り扱いの注意	29
スキャンディスク	29
デフラグ	31
その他のツール	31
フロッピーディスク	34
使用できるフロッピーディスクの種類	34
フロッピーディスクのバックアップ	34
Windows 起動ディスク	35
ディスプレイ	38
概要	38
別売のディスプレイを使う場合	39
解像度と表示色の変更	40
ディスプレイの省電力機能について	41
ディスプレイに合わせて設定する	42
省電力機能(スタンバイ)	45
概要	45
スタンバイ状態にする	45
スタンバイ状態から電源が入っている状態に復帰する	46
電源の管理のプロパティで設定する	47
スタンバイ状態にするときの注意	49
サウンド機能	51
概要	51
ボリュームコントロール	51
サウンド全般についての注意	54
FAX モデム機能	55
概要	55
FAX モデムを使用するときの注意	56
赤外線通信機能	58
概要	58
赤外線通信機能を設定する	58

PART

3

PART

4

赤外線通信機能を使う	59
CD-ROM の取り扱い	62
概要	62
非常時のメディアの出し方	62
アプリケーションの追加と削除	65
セットアップされていないアプリケーションの追加	66
セットアップが必要なアプリケーションや機能	66
セットアップする前に	66
セットアップする	67
Excel&Word&Outlook の機能をフルに使う(Word モデルのみ)...	72
一太郎 9 パックの機能をフルに使う(一太郎モデルのみ).....	72
アプリケーションの削除	73
概要	73
「アプリケーションの追加と削除」を使って削除する	75
CD-ROM を使って削除する	90
アンインストール機能を使って削除する	92
削除したアプリケーションの再追加	94
概要	94
アプリケーション CD-ROM を使って追加する	94
パソコン大学一年生 CD-ROM を使って追加する	107
Excel 97 & Word 98 & Outlook 98	
CD-ROM を使って追加する(Word モデルのみ).....	107
一太郎 9 パック CD-ROM を使って追加する	
(一太郎モデルのみ).....	109
本機の設定を変更する	111
BIOS セットアップメニュー	112
BIOS セットアップメニューを使ってできること	112
BIOS セットアップメニューを使う	112
パスワードの設定と入力	117
パスワードの解除	119

デバイスマネージャ	120
起動	120
デバイスドライバの変更	120
デバイスのリソース設定の変更	122
割り込みレベルとDMA チャンネル	124
概要	124
リソースの競合	125
本機を拡張するときの注意	126
電源管理モードについて	127
ACPI モードと APM モード	127
モードの切り替え	128
APM モードで本機を利用するときの注意	130
その他の注意	131
付 録	133
Windows 98 で MS-DOS モードを利用する	134
MS-DOS モードを利用する	134
CD-ROM ドライバ(本機内蔵 CD-ROM ドライブ).....	134
Windows NT 4.0 の利用	136
Windows NT 4.0 をセットアップする前に	136
Windows NT 4.0 のセットアップとアップグレード	136
本機で Windows NT 4.0 を利用するときの注意	140
機能仕様	141
FAX モデム機能仕様	143
AT コマンド	145
コマンドの構成	145
コマンド一覧	145
索 引	155

画面で見るマニュアル「パソコン探検箱」では、このマニュアルで説明しているアプリケーションのほかにも多くのアプリケーションの説明をしています。合わせてご覧ください。



「パソコン探検箱」の「VALUESTARを楽しもう」

はじめての人でもパソコンを楽しく使えるように、代表的なアプリケーションについて、簡単な使い方を図入りでわかりやすく説明しています。

- ・PictureStudio Light
- ・駅すばあと
- ・てきばき家計簿マム
- ・筆ぐるめ
- ・各種ゲーム紹介
 - ・マインスイーバ
 - ・AI将棋
 - ・GLOCAL HEXCITE
 - ・市販のゲーム
- ・FAX-NX
- ・インターネットへの招待
 - ・インターネットを体験
 - ・プロバイダに入会済みの方へ
 - ・インターネットの設定変更
 - ・ホームページスクラップブック
 - ・翻訳アダプタII CROSSROAD
 - ・ジェットサーファ
 - ・インターネットアクセスマネージャ
 - ・ホームページスクラップブック
 - ・Hatch inside
 - ・FrontPage Express



「パソコン探検箱」の「使いこなそうVALUESTAR」

本機に添付/インストールされているアプリケーション(お使いの機種によって異なります。)について紹介をしています。またアプリケーションによっては簡単な使い方の説明などもしています。

- ・Microsoft Word
- ・一太郎9
- ・筆ぐるめ
- ・Bookshelf Basic
- ・JUSTSYSTEM電子辞書ライブラリ
- ・SmartVoice
- ・VoiceATOK for SmartVoice
- ・Microsoft Excel
- ・三四郎8
- ・てきばき家計簿マム2Plus
- ・インターネットチュータ
- ・インターネット無料体験
- ・BIGLOBEインターネット接続ツール
- ・Internet Explorer
- ・AOL
- ・ニフティサーブでインターネット
- ・Outlook Express
- ・ハローキティのハッピーメール
- ・Microsoft Outlook
- ・FullBand
- ・翻訳アダプタII CROSSROAD
- ・インターネットアクセスマネージャ
- ・ジェットサーファ
- ・ホームページスクラップブック
- ・FrontPage Express
- ・Hatch inside
- ・AI将棋
- ・ソリティアデラックス
- ・グローバルヘキサイト
- ・競馬道3
- ・カラオケキング
- ・プレーヤ-NX
- ・MapPlayer-NX
- ・PictureStudio Light
- ・アルバム工房Light
- ・花子9
- ・ThumbsStudio
- ・FAX-NX
- ・Angel Line
- ・CyberCoach-NX
- ・パソコン大学一年生
- ・MAGIC FLIGHT
- ・ランチ-NX
- ・Timer-NX
- ・CDランチ
- ・英語モードフォント
- ・駅すばあと
- ・ワードパッド
- ・メモ帳
- ・ペイント
- ・電卓
- ・テキストリーダ

PART

1

パソコンを守るアプリケーション

パソコンを守るアプリケーション

Windows 98 の利用環境の変更 CyberTrio-NX

Windows 98 の動作の監視 CyberWarner-NX

ウイルスの検査と駆除 VirusScan

パソコンを守る アプリケーション

本機のシステムを、コンピュータウイルスや、誤操作による設定の変更から守るためのアプリケーションについて説明します。

本機のシステムを守る

本機には、Windows 98 の利用環境を変更することにより、システムに影響を与えないようにする機能や、万一コンピュータウイルスに感染した場合でも、ウイルスを発見し、駆除する機能があります。

ただし、購入時には常に使えるようには設定されていない機能もあります。利用状況に合わせて設定してください。なお、設定すると、システムに常駐して、ファイルを監視し続けたりするため、アプリケーションの動作が多少遅く感じることがあります。

Windows 98 の利用環境を変更する (CyberTrio-NX)

「CyberTrio-NX」は、Windows 98 の利用環境を、利用者のレベルに合わせて「ベーシックモード」「キッズモード」「アドバンスモード」の3つのモードに切り替えることができます。

購入時は、「ベーシックモード」に設定されています（タスクバー右隅の  アイコンが黄色になっています）。「ベーシックモード」はシステムに影響を与える機能を制限して、本機のハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。通常は、このモードで本機をお使いください。他のモードに変更することもできます。

参照

・他のモードへの変更方法 PART1「Windows 98 の利用環境の変更 CyberTrio-NX」

ほかに、次のモードがあります。

キッズモード

「マイプログラム」または「キッズモードのデスクトップ」に登録しているアプリケーションのみを使用できます。例えば、子どもが操作してもよいアプリケーションを限定できます。また、子どもが「キッズモード」を簡単にほかのモードへ変更できないような設定にすることもできます。保護者の方が、子ども用に使用するアプリケーションを「キッズモードのデスクトップ」に登録してあげてください。

参照

・キッズモードでの設定 PART1「Windows 98 の利用環境の変更 CyberTrio-NX」

アドバンスモード

Windows 98 へのフルアクセスが可能です。利用環境を限定しません。システムの設定が必要な場合は、「アドバンスモード」に切り替えてから設定を行ってください。

参照

・「CyberTrio-NX」の使い方 PART1「Windows 98 の利用環境の変更 CyberTrio-NX」

Windows 98 の動作環境を監視する (CyberWarner-NX)

「CyberWarner-NX」は、Windows 98 の動作に影響を与えるファイルを監視して、操作中にそれらのファイルを削除、または変更しようとする、警告を発します。また、ログファイルを収集して、保守時に利用することもできます。

システムの変更を行うときや、アプリケーションの追加や削除、ファイルの削除、変更をするときに起動して使用してください。誤って操作することを防ぐことができます。

チェック!!

購入時には起動されていません。起動してから使用してください。

参照

・「CyberWarner-NX」の起動方法 PART1「Windows 98 の動作の監視 CyberWarner-NX」

ウイルスを検査、駆除する (VirusScan)

「VirusScan」は、ディスクのシステム、データ領域、メモリをチェックしてコンピュータウイルス(以降、ウイルス)に感染していないかを調べたり、万一、感染していた場合でも、ウイルスを駆除して、プログラムやシステム領域が元の状態になるまで修復することができます。

チェック!

購入時は起動されていません。起動してから使用してください。

参照

- ・「VirusScan」の起動方法、設定方法 PART1「ウイルスの検査と駆除 VirusScan」

Windows 98 の利用環境の 変更 CyberTrio-NX

このアプリケーションでは、Windows 98 を利用するレベルに合わせたモードの変更ができます。

モードの種類

「CyberTrio-NX」では、次の3種類のレベルのモードから選ぶことができます。

ベーシックモード

システムへ影響を与える機能の動作を制限し、本機やアプリケーションへの予期しないダメージを未然に防ぎます。

キッズモード

「マイプログラム」または「キッズモードのデスクトップ」に登録しているアプリケーションのみが使用できます。

アドバンストモード

Windows 98 へのフルアクセスが可能です。

チェック!!

購入時は「ベーシックモード」に設定されています。デバイスマネージャで周辺機器の設定をしたり、プリンタの削除をしたり、システムの設定が必要になったときは、「アドバンストモード」に切り替えてください。

モードの変更

Windows 98 の利用するレベルは、購入時は「ベーシックモード」に設定されていますが、自由に変更できます。モードに合わせて、タスクバーに表示されている「CyberTrio-NX」のインジケータの色がモードに応じて次のように変わります。

- 「キッズモード」 : 緑色
- 「ベーシックモード」 : 黄色
- 「アドバンストモード」: 赤色

チェック!!

「CyberTrio-NX」のモード変更を行う前に、ほかの起動中のアプリケーションを必ず終了させてください。また、編集中の必要なデータなどは保存してください。

ベーシックモードからアドバンストモードへの変更

- 「スタート」「プログラム」「CyberTrio-NX」「Go To アドバンストモード」をクリック。
- 「アドバンストモード」へ変更されます。

チェック!!

- 「ランチ-NX」からは次の手順で変更できます。
- 「ユーティリティ」「CyberTrio-NX(利用者モード)」「CyberTrio-NX(利用者モード変更メニュー)」「アドバンストモード」をクリック。

ベーシックモード(またはアドバンストモード)からキッズモードへの変更

- 「スタート」「プログラム」「CyberTrio-NX」「Go To キッズモード」をクリック。
- 「キッズモード」へ変更されます。

チェック!!

- 「ランチ-NX」からは次の手順で変更できます。
- 「ユーティリティ」「CyberTrio-NX(利用者モード)」「CyberTrio-NX(利用者モード変更メニュー)」「キッズモード」



キッズモードからほかのモードへの変更

「スタート」「プログラム」「Go To ベーシックモード」または「Go To アドバンスモード」をクリック。

「ベーシックモード」または「アドバンスモード」へ変更されます。

起動時のモードの設定

本機の電源を入れたときに起動するモードを設定できます。購入時は「前回終了した時のモード」が設定されています。

「スタート」「プログラム」「CyberTrio-NX」「CyberTrio-NX セットアップ」をクリック。次のメニューが表示されます。



「前回終了した時のモード」では、前回に本機の電源を切ったときに使われていたモードで起動します。

「起動時にモードを選択」を選ぶと、本機の電源を入れて起動したときに、「CyberTrio-NX」メニューが表示され、モードを選ぶことができます。

モードの変更時の注意

Windows 98で「ユーザー別の設定」を行っている場合、「CyberTrio-NX」のモードを変更することはできません。「CyberTrio-NX」のモードを変更する場合は、次の手順で「ユーザー別の設定」を解除してください。

「コントロールパネル」を起動する。
(「スタート」「設定」「コントロールパネル」)
「コントロールパネル」が表示されます。

「パスワード」をダブルクリック。
「パスワードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「ユーザー別の設定」タブをクリック。
「ユーザー別の設定」タブのウィンドウが表示されます。

「このコンピュータでは、すべてのユーザーが同じ基本設定とデスクトップ設定を使う」をクリック。

「OK」をクリック。
再起動を促すメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
「ユーザー別の設定」が解除できました。

ベーシックモード

「ベーシックモード」では、「アドバンスモード」に比べて、ユーザーがシステム環境を誤って変更しないように、システムへ影響を与える動作を制限し、本機やアプリケーションへの予期しないダメージを未然に防ぐことを目的としています。通常は、このモードを使うことをおすすめします。

ベーシックモードでの制約

「ベーシックモード」では次の点で制約があります。これらの機能を使う場合は、「アドバンスモード」に変更してください。

参照

・モードの変更 この項の「モードの変更」

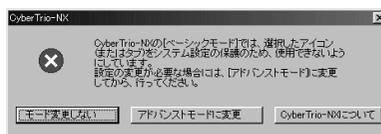
コントロールパネル

「コントロールパネル」に関して次のような制約があります。

使用できないアイコン(アイコンを起動しようとする
とメッセージが表示されます)

- ・「ネットワーク」
- ・「マルチメディア」
- ・「システム」

これらのアイコンを起動しようすると、次の画面が表示されます。



この画面のボタンをクリックすると、次のようになります。

・「モード変更しない」

「ベーシックモード」に戻ります。

・「アドバンスモードに変更」

自動的に「アドバンスモード」に変更します。

・「CyberTrio-NX について」

ヘルプが表示されます。

「ベーシックモード」では使用できないアイコンを起動する場合は、「アドバンスモードに変更」をクリックしてください。「アドバンスモード」に変更されたら、その後、「コントロールパネル」から、必要なアイコンを起動してください。

また、「ベーシックモード」では「プリンタ」で「プリンタの削除」はできません。

■ タスクバーの設定

変更できません。(再起動すると元の設定に戻ります。)

■ レジストリエディタとシステムエディタ

使用できません。

■ CyberWarner-NX の使用

起動時に「警告あり」のモードになります。起動後に、「警告なし」のモードへの変更は可能です。

 参照

・「CyberWarner-NX」 PART1「Windows 98の動作の監視 CyberWarner-NX」

ベーシックモードでの注意

「ベーシックモード」では、次の点に注意してください。

■ 設定変更時の注意

「ベーシックモード」では、タスクバーの設定は、ご購入時の状態で使用してください。タスクバーの設定を変更して使用する場合は、「アドバンスモード」で使用してください。

■ Safe モードで起動した場合の注意

本機に問題があり、Windows 98がSafeモードで起動した場合、「CyberTrio-NX」が「ベーシックモード」になっていると、ハードウェアの設定を変更できません。

このような場合は、次の手順で設定の変更を行ってください。

「スタート」「ファイル名を指定して実行」をクリック。

「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されません。

「名前」に次のように入力する。

c:¥cybertrio¥sascript c:¥cybertrio¥script¥normal.sas

「OK」をクリック。

これでハードウェアの設定を変更することができます。「デバイスマネージャ」などで、変更が必要なハードウェアの設定を行ってください。

キッズモード

本機を、子どもといっしょに使いたいときは、子どもが使えるアプリケーションを限定し、子ども専用のパソコンとして設定できます。

使いたいアプリケーションの設定や、「キッズモード」の動作設定などは、「ベーシックモード」または「アドバンスモード」からできます。

チェック!!

「キッズモード」では次の制約があります。

・「スタート」メニューから選べるのは「Windowsの終了」「ヘルプ」「プログラム」だけです。

・マウスの右クリックは動作しません。

・タスクバーには  (CyberTrio-NX) と  (ボリュームコントロール) のインジケータだけが表示されます。

・「CyberWarner-NX」が起動しているときは、「キッズモード」は「警告あり」のモードで起動されます。このとき、アイコンは表示されません。

使いたいアプリケーションの設定

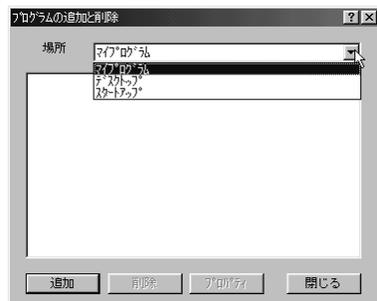
「キッズモード」で使用できるアプリケーションは、「ベーシックモード」または「アドバンスモード」のときに次の手順で設定します。保護者の方が、設定してあげてください。

チェック!!

購入時には「デスクトップ」に「CyberTrio-NX メニュー」が追加されています。

「スタート」「プログラム」「CyberTrio-NX」「キッズモードの設定」「プログラムの追加と削除」をクリック。

アプリケーションの追加先に「マイプログラム」、「デスクトップ」、「スタートアップ」を指定する。



「追加」をクリック。
メニューが表示されます。

- ・アプリケーションのショートカットを追加するときは、「プログラム」メニューを選んでショートカットを選んでください。
- ・アプリケーションのファイル名を追加するときは、「参照」メニューを選んで、「ファイルを開く」ウィンドウの中でファイル名を選んでください。
- ・ファイル名を変更するには、「プロパティ」をクリックします。
- ・アプリケーションを削除するときは、「削除」をクリックします。
- ・アプリケーションの追加先を「スタートアップ」に設定するとキッズモードでパソコンを起動したとき、自動的に、追加したアプリケーションを起動することができます。

「閉じる」をクリック。

キッズモードの動作設定

パスワード、デスクトップの背景、サウンドなどの設定ができます。

■ パスワードの設定

子どもが「キッズモード」からほかのモードに変更できないように、パスワードを設定できます。パスワードは最大8文字までの英数字で、「ベーシックモード」または「アドバンスモード」から設定します。

✔ チェック!

購入時には、パスワードは設定されていません。

「スタート」、「プログラム」、「CyberTrio-NX」、「キッズモードの設定」、「動作設定」をクリック。「キッズモード」ウィンドウが表示されます。

「パスワードの設定」タブをクリック。



「パスワードを設定する」にチェックマークをつける。

「パスワード」にパスワードを入力する。

「パスワードの確認」にもう一度同じパスワードを入力する。

「OK」をクリック。

✔ チェック!

設定したパスワードを忘れたときは、次の「緊急用パスワード」を入力して、ほかのモードへ変更してから、パスワードをもう一度設定し直してください。

「緊急用パスワード」: 71709981

■ 背景の設定

「キッズモード」で使用する背景を設定できます。子どもの好みに合わせて選ぶことができます。

「スタート」、「プログラム」、「CyberTrio-NX」、「キッズモードの設定」、「動作設定」をクリック。「キッズモード」ウィンドウが表示されます。

「背景」タブをクリック。



「壁紙」リストボックスから、壁紙を選ぶ。

「OK」をクリック。

■ サウンドの設定

「キッズモード」で使用するサウンドを設定できます。
子どもの好みに合わせて選ぶことができます。

「スタート」「プログラム」「CyberTrio-NX」
「キッズモードの設定」「動作設定」をクリック。
「キッズモード」ウィンドウが表示されます。

「サウンド」タブをクリック。



各イベントに対して、サウンドを指定する。

「OK」をクリック。

Windows 98 の動作の監視 CyberWarner-NX

Windows 98の動作状況を監視し、動作に影響を与えるファイルを操作中に削除または変更しようとする警告を表示します。また、ログファイルを収集して、保守時に利用することもできます。

起動と終了

本機の購入時には、「CyberWarner-NX」は起動されていません。

起動する手順は次の通りです。

「コントロールパネル」を開く。
 (「スタート」「設定」「コントロールパネル」)

「CyberWarner-NX」をダブルクリック。

「スタートアップ」タブをクリック。

「開始」をクリック。

オプションの説明

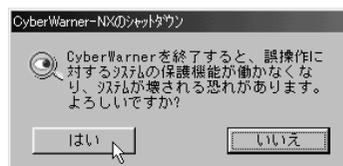
- ・「起動時に CyberWarner-NX を実行する」
 次回から、本機を起動するときは、「CyberWarner-NX」が常駐プログラムとして実行されます。
 購入時の状態では、チェックが外されています。
- ・「タスクバーに CyberWarner-NX アイコンを表示する」
 「CyberWarner-NX」の実行中は、タスクバーに「CyberWarner-NX」アイコンを表示します。
 購入時の状態では、チェックが付けられています。

「OK」をクリック。

終了の方法

タスクバーの右隅にある  (CyberWarner-NX) をクリック。

「終了」をクリック。
 次の画面が表示されます。



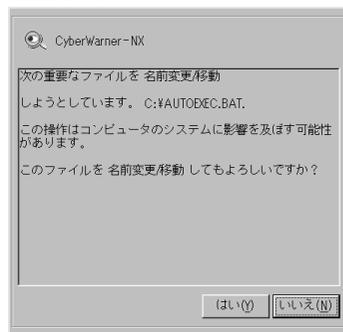
「はい」をクリック。

警告メッセージ

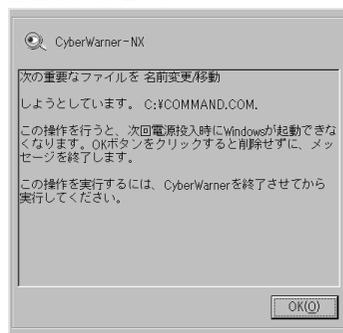
Windows 98の動作状況を監視し、動作に影響を与えるファイルに対して、削除または変更しようとする警告メッセージを表示します。

メッセージには操作の確認用メッセージと警告用メッセージがあります。

確認用メッセージ



警告用メッセージ



警告メッセージの表示 / 非表示

警告メッセージを表示するかどうかを設定できます。「警告なし」を選ぶと、警告メッセージを表示せずに処理されます。確認メッセージは警告メッセージの表示 / 非表示にかかわらず表示されます。

「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」「設定」「コントロールパネル」)

「CyberWarner-NX」をダブルクリック。

「一般」タブをクリック。

「警告あり」または「警告なし」をクリック。

「OK」をクリック。



購入時は、「CyberTrio-NX」を「ベーシックモード」に設定すると、自動的に「警告あり」に、「アドバンスモード」にすると自動的に「警告なし」に設定されるようになっています。

バックアップファイル

ログ対象ファイル进行操作(移動、削除、修正、名前の変更など)した場合、その操作前のファイルが保存されます。

バックアップファイルの設定

バックアップファイルの収集に関する設定ができます。

コントロールパネルを開く。
(「スタート」「設定」「コントロールパネル」)

「CyberWarner-NX」をダブルクリック。

「バックアップ」タブをクリック。
スライダを移動するとバックアップファイルの最大サイズを変更することができます。



バックアップ

ログと一緒に収集するバックアップデータを保存しておく場所の容量を設定できます。

ログ対象ファイルの説明

■ ログファイルの説明

Critical File

次のファイルを変更したときは、変更の警告メッセージが表示され、変更しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻ること)されます。

```
¥command.com
¥io.sys
¥windows¥himem.sys
¥windows¥win.com
¥windows¥notepad.exe
¥windows¥regedit.exe
¥windows¥explorer.exe
¥windows¥system¥vmm32¥*.
¥windows¥command.com
¥windows¥system¥sysedit.exe
¥windows¥system¥iosubsys¥*.mdp
¥windows¥system¥iosubsys¥*.pdr
¥windows¥rundll.exe
¥windows¥rundll32.exe
¥windows¥progman.exe
¥windows¥control.exe
¥windows¥winfile.exe
¥windows¥taskman.exe
¥windows¥aztppn.exe
¥windows¥winsock.dll
```

Non Critical File

次のファイルを変更したときは、変更の確認メッセージが表示されます。

```
¥autoexec.bat
¥config.sys
¥msdos.sys
¥windows¥command¥*.exe
¥windows¥command¥*.com
¥windows¥command¥*.bin
¥windows¥command¥*.ini
¥windows¥command¥*.sys
¥windows¥system¥*.dll
¥windows¥system¥*.vxd
```

Special

次のファイルを変更したときは、変更の確認メッセージが表示されます。また、他のアプリケーションをインストールしたときに次のファイルが変更されると、自動的に変更前の状態がログファイルに保存されます。

```
¥windows¥win.ini
¥windows¥system.ini
```

■ ファイルの削除についての注意

「CyberWarner-NX」で保護されているファイルを削除する場合、「ごみ箱」の中身がないにもかかわらず、中身があるように表示されることがあります。

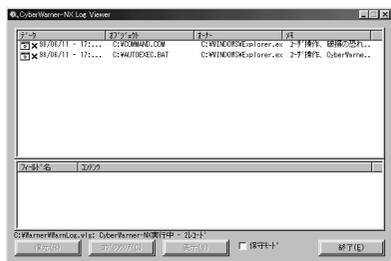
このような場合には、次の手順で「ごみ箱」の中身の状態と表示を合わせてください。

デスクトップの「ごみ箱」を右クリック。
メニューが表示されます。

「ごみ箱のプロパティ」をクリック。
「ごみ箱のプロパティ」が表示されます。

「OK」をクリック。

ログファイルの表示



「CyberWarner-NX ログビューワ」を使って収集したログ情報を参照できます。

「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」「設定」「コントロールパネル」）

「CyberWarner-NX」をダブルクリック。

「一般」タブをクリック。

「参照」をクリック。
ログビューワが表示されます。

☑ チェック!

収集したログファイルは保守モードでのみ操作可能です。ログファイルの操作にはパスワードによる保護がかけられています。この保守モードは、お客様からの問い合わせの際に、NECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は、使用しないでください。

ログビューワの上のリストには次のものが表示されます。

- ・データ
記録した日時を表示します。

- ・オブジェクト
ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示します。
 - ・オーナー
操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示します。
 - ・メモ
操作の状態、および、簡単な説明を表示します。操作の状態は、次のどちらかになります。
 - ・ユーザ操作
 - ・アプリケーション操作
- 上のリストで「データ」を選ぶと、下のリストの「フィールド名」と「コンテンツ」には次の項目が表示されます。

- ・管理者
「ファイル」と表示されます。
- ・復元する
バックアップファイルが使用可能かどうかを表示します。
- ・復元されました
ファイルが保守モードでの復元ボタンで、復元されたかどうかを表示します。
 - 1：復元されました
 - 0：復元されていません
- ・日付
記録した日時を表示します。
- ・ソース
ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示します。
- ・バックアップ
バックアップファイルが存在する場合、絶対パスで表示します。
- ・オーナー
操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示します。
- ・オペレーション
変更や削除、操作の種類を表示します。
- ・メモ
操作の状態、および、簡単な説明を表示します(上のリストのメモと同じです)。

定期的に検査する (VirusScan スケジューラ)

「VirusScan スケジューラ」では、1回、毎時、毎日、毎週、毎月など指定することにより、ウイルス感染の検査を自動的に実行します。

「VirusScan スケジューラ」は次の手順で設定します。

「スタート」「プログラム」「McAfee VirusScan」「McAfee VirusScan セントラル」をクリック。

「VirusScan セントラル」の画面が表示されます。

「スケジュール」をクリック。

「McAfee VirusScan Scheduler」ウィンドウが表示されます。

「タスク」メニューの「新規のタスク」をクリック。

「タスクプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「プログラム」タブをクリック。

「プログラム」タブのウィンドウが表示されます。

タスクの名前を入力する。

(例「定期検査」を入力)

「詳細設定」をクリック。

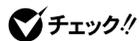
「McAfee VirusScan プロパティ」ウィンドウが表示されます。

「スキャン」タブをクリック。

「スキャン」タブのウィンドウが表示されます。

「自動検査開始」にチェックマークをつける。

「OK」をクリック。



「VirusScan の設定を変更するには、アドバンスドモードにする必要があります。」と表示されたときは、「OK」をクリックしてください。

「スケジュール」タブをクリック。

「スケジュール」タブのウィンドウが表示されます。



「スケジュール有効」にチェックマークをつける。

「実行タイミング」と「開始時間」を設定する。

「OK」をクリック。

これで「VirusScan スケジューラ」の設定は完了です。

設定した時間に「VirusScan」が実行されます。

VirusScan スケジューラの常駐

指定した時間に、自動的に「VirusScan」を起動するためには、「VirusScan スケジューラ」が常駐していることが必要です。また、常駐している「VirusScan スケジューラ」を終了させると、「VirusScan」が自動的に起動されなくなりますので、注意してください。

すぐに検査する(VirusScan)

外部からフロッピーディスクや文書ファイルを受け取ったときには、「VirusScan」を実行して受け取ったファイルがウイルスに感染していないことを確認してください。次の手順で実行してください。

「スタート」「プログラム」「McAfee VirusScan」

「McAfee VirusScan セントラル」をクリック。

「VirusScan セントラル」の画面が表示されます。

「スキャン」をクリック。

「McAfee VirusScan: All fixed disks」ウィンドウが表示されます。



スキャンするドライブ、フォルダ、スキャン対象を設定する。

「スキャン開始」をクリック。
これで、ウイルスの検査が実行されます。

ウイルスを駆除する

ウイルスが発見されたときは、「ウイルスの除去」をクリックしてウイルスを駆除してください。

詳しい説明は、VirusScan セントラルのオンラインヘルプをご覧ください。

参照

- ・コンピュータウイルスが検出されたときの対処方法
『困ったときのQ&A』PART1「その他...」の「コンピュータウイルスが検出された」

P A R T

2

ハードウェア

本体の各部の名称

マウス

キーボード

ハードディスク

フロッピーディスク

ディスプレイ

省電力機能(スタンバイ)

サウンド機能

FAX モデム機能

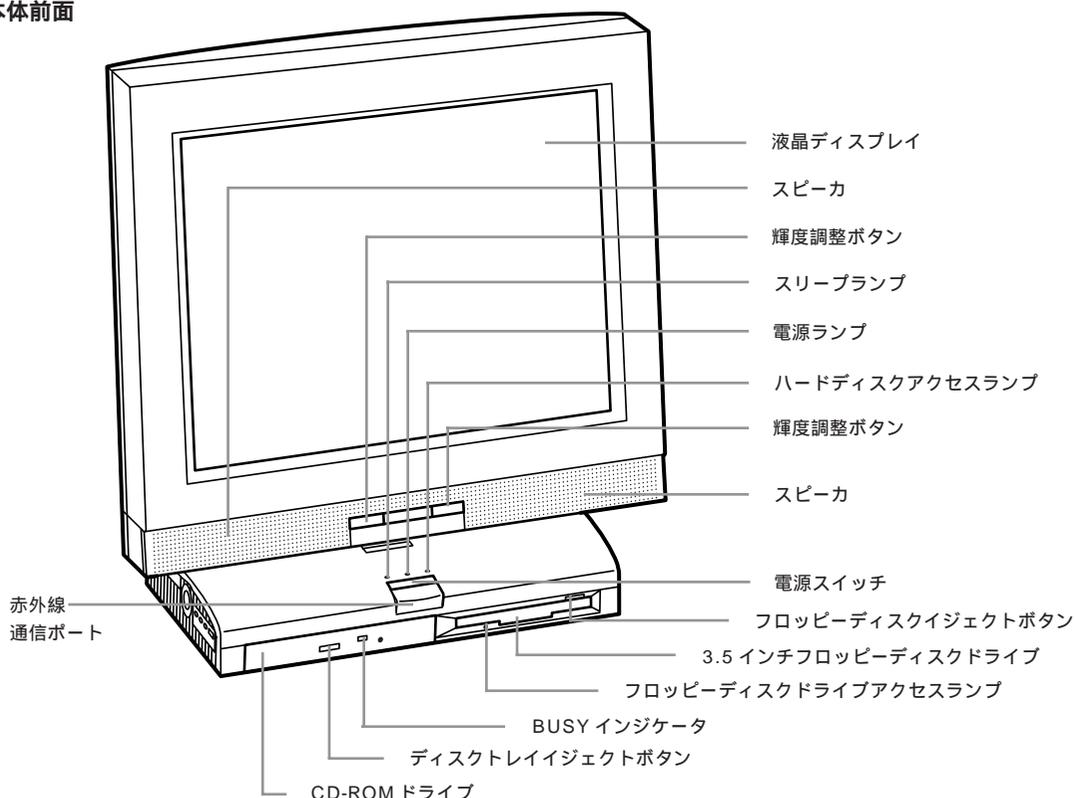
赤外線通信機能

CD-ROM の取り扱い

本体の各部の名称

本体の各部の名称とその役割について説明しています。

本体前面



電源スイッチ (①)

電源を入れるスイッチ。電源を切るときは、Windows 98の「スタート」メニューで「Windowsの終了」をクリックして「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」をクリックします。電源スイッチを切る/入れる操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間隔をあけてください。

✓チェック!!

ソフトウェアが明らかに停止している状態になった場合は、電源スイッチを約4秒以上押し続けることで、強制的に電源を切ることができます。なお、この場合、作成中のデータなどは消えてしまいます。

停電や、電源ケーブルを抜いているために本体に電源が供給されていないときは、電源スイッチを押しても電源を入れることはできません。

電源ランプ (⊕)

電源の入/切状態を表示するランプ。電源を入れると点灯します。

スリープランプ (☾)

スタンバイ状態を表示するランプ。スタンバイ状態のときに点灯します。

ハードディスクアクセスランプ (⊞)

ハードディスクの動作中に点灯するランプ。

✓チェック!!

点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容が壊れることがあります。

フロッピーディスクイジェクトボタン
フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出すときに使うボタン。

3.5 インチフロッピーディスクドライブ
3.5 インチサイズのフロッピーディスクを入れるところ。

フロッピーディスクドライブアクセスランプ
フロッピーディスクドライブの動作中に点灯するランプ。

チェック!!

点灯中は電源を切ったり、フロッピーディスクを取り出したりしないでください。フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。

BUSY インジケータ
データを読み出しているときに点灯します。

チェック!!

点灯中は電源を切ったり、CD-ROM を取り出したりしないでください。CD-ROM ドライブの故障の原因となります。

ディスクトレイイジェクトボタン
ディスクをのせるディスクトレイを出し入れするためのボタン。

CD-ROM ドライブ
CD-ROM や音楽 CD を入れるところ。
なお、CD-ROM ドライブ各部の位置や形状は、図と多少異なることがあります。

赤外線通信ポート
赤外線通信を行うためのポート。
パソコンとパソコンの間をケーブルで接続せずに赤外線
でデータの交換を行うことができます。

スピーカ
内蔵音源からの音声を出力するところ。

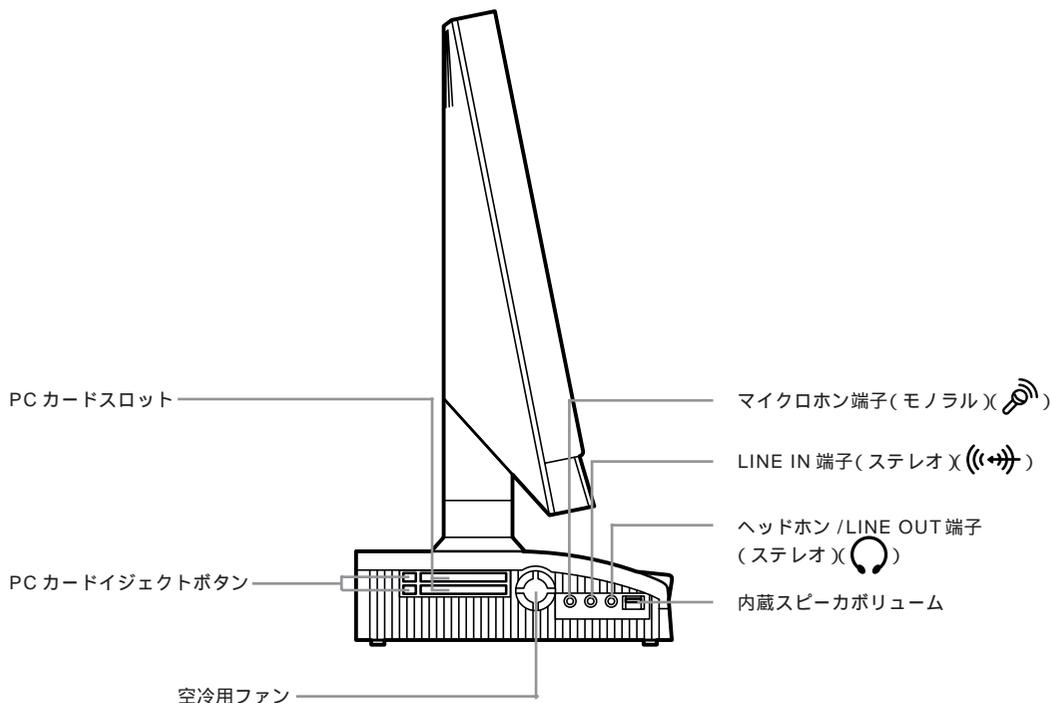
輝度調整ボタン
液晶ディスプレイの輝度を調整するためのボタン。

液晶ディスプレイ
コンピュータの処理結果を表示するところ。「モニタ」
ということもあります。

チェック!!

液晶ディスプレイを拭くときは、乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。水や中性洗剤は使わないでください。

本体左側面



内蔵スピーカボリューム

内蔵スピーカ、またはヘッドホン / LINE OUT 端子に接続したヘッドホンの音量を調節するつまみ。本体前面方向にまわすと音量が小さく、本体背面方向にまわすと大きくなります。

ヘッドホン / LINE OUT 端子 (ステレオ) (🎧)

市販のオーディオ用ヘッドホンなどオーディオ機器を接続するためのミニジャック端子。ヘッドホンプラグの形状によっては、使用できないものがありますので、注意してください。

LINE IN 端子 (ステレオ) (🎧)

市販のオーディオ機器などから、音声信号 (ステレオ) を本体に入力するためのミニジャック端子。

マイクロホン端子 (モノラル) (🎤)

市販のマイクロホンを接続するためのミニジャック端子。

PC カードスロット

PC カードを取り付けるスロット。

上下に 2 スロットあります。

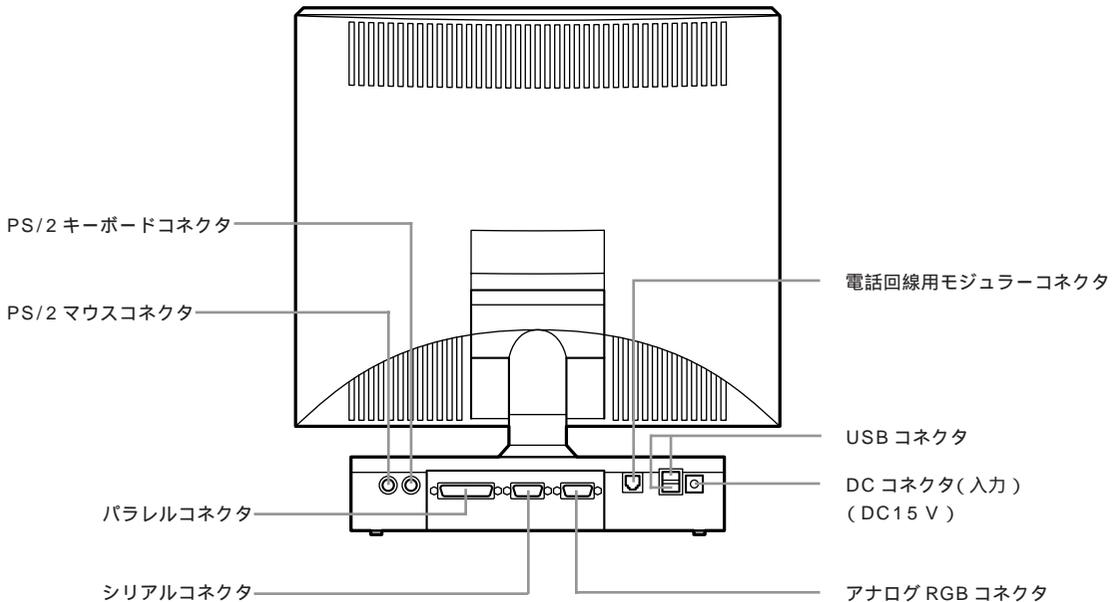
PC カードには、メモ리카ードやモデムカード、SCSI インターフェイス対応機器とつなげるための SCSI カードなど、いろいろな種類があります。

PC カードイジェクトボタン

PC カードを PC カードスロットから取り出すときに使うボタン。

空冷用ファン

本体内部の熱を逃がすためのファン。壁などでふさがないように注意してください。



DC コネクタ(入力) (DC15V)

家庭の電源コンセントから、AC アダプタを介して本体に電源を供給するためのコネクタ。添付の AC アダプタを接続します。

USB コネクタ ()

USB 対応機器を接続するためのコネクタ。

上下に 2 つのコネクタがあります。

Windows 98 でのみ使用可能。USB コネクタに接続する周辺機器が本機で使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

チェック!!

添付のキーボードとマウスは、Windows NT 4.0 でも使用できます。

電話回線用モジュラーコネクタ ()

電話回線を接続するためのコネクタ。

アナログ RGB コネクタ ()

アナログ RGB 対応ディスプレイを接続するためのコネクタ。

チェック!!

シリアルコネクタに変換コネクタを取り付ける場合、アナログ RGB コネクタにぶつかって取り付けられないことがあります。その場合は、シリアルコネクタに RS-232C 変換アダプタ (PK-CA102) を使用すると、コネクタどうしがぶつかるのを避けられます。

パラレルコネクタ ()

プリンタなどを接続するためのコネクタ。

チェック!!

・PC-9800 シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタインタフェース変換アダプタ (PK-CA101) が必要です。

・シリアルコネクタとパラレルコネクタの両方に変換コネクタを取り付ける場合に、コネクタどうしがぶつかって取り付けられないことがあります。その場合は、RS-232C 変換アダプタ (PK-CA102) とプリンタインタフェース変換アダプタ (PK-CA101) を使用すると、変換コネクタどうしがぶつかるのを避けられます。

シリアルコネクタ()

周辺機器を接続するためのコネクタ。

通信を行うときに必要な通信機器や、イメージスキャナなどの周辺機器を接続します。

チェック!!

- ・PC-9800 シリーズ用の機器を接続する場合は、別売のRS-232C変換アダプタ(PK-CA102)が必要です。
- ・シリアルコネクタとパラレルコネクタの両方に変換コネクタを取り付ける場合に、コネクタどうしがぶつかって取り付けられないことがあります。その場合は、RS-232C変換アダプタ(PK-CA102)とプリンタインタフェース変換アダプタ(PK-CA101)を使用すると、変換コネクタどうしがぶつかるのを避けられます。
- ・周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

PS/2 キーボードコネクタ()

PS/2コネクタに対応したキーボードを接続するためのコネクタ。

チェック!!

- ・添付のキーボードはこのコネクタには接続できません。
- ・PS/2 キーボードと USB キーボードを同時に使用することはできません。
- ・PS/2 キーボード使用時は、BIOS セットアップメニューの「USB KB/Mouse Legacy Support」を「Disabled」に設定してください。
- ・PS/2 キーボード使用時は、電話などのリングでスタンバイ状態から復帰させることはできません(ACPI モードのみ)。
- ・PS/2 キーボードを抜き差しするときは、本体の電源を切った状態で行ってください。

PS/2 マウスコネクタ()

PS/2コネクタに対応したマウスを接続するためのコネクタ。

チェック!!

- ・添付のマウスはこのコネクタには接続できません。
- ・PS/2 マウスを抜き差しするときは本体の電源を切った状態で行ってください。

マウス

スクロールボタンを使って画面を上下左右にスクロールすることができます。「マウスのプロパティ」ウィンドウでは、マウスポインタの形の選択や動きの調整、左ききの方のためのマウスの設定などができます。



参照

- ・マウスの使い方について 『STEP2 入門』 「PART 2 マウスに慣れよう」

スクロールボタンを使う

スクロールボタンを使うと、画面を上下左右にスクロールさせたり、画面を拡大縮小させることができます。



チェック!!

スクロールボタンの機能に対応していないアプリケーションではスクロールボタンは使えません。

画面を上下方向にスクロールする

アプリケーションの上下スクロールバーがある画面をクリックしてアクティブにします。

スクロールボタンを前方に押す。または手前に引く。

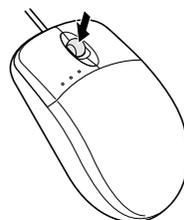


前方に押すと画面が上にスクロールし、手前に引くと画面が下にスクロールされます。スクロールボタンを動かしつづけると、画面がずっとスクロールします。

画面を上下、左右方向にスクロールする

スクロールさせたい画面にマウスポインタを移動する。

スクロールボタンを真下に押す。



マウスポインタが や のようになります。

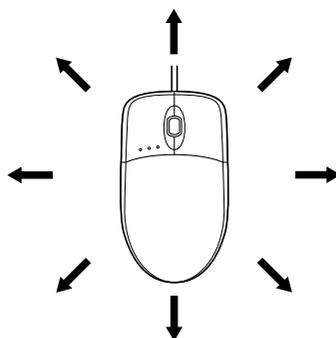


チェック!!

スクロールボタンは、真下に押し込むようにしてください。スクロールボタンを前後に動かすと、通常の上下のスクロールになります。



や が表示されたらスクロールしたい方向にマウスを動かす。



マウスを動かした方向に画面がスクロールしていきます。

もう一度スクロールボタンを押すと、マウスポインタの形が元に戻ります。



チェック!!

- ・アプリケーションによってスクロールできる方向は異なります。
- ・ が表示されているときは上下にだけスクロールすることができます。

ズーム機能を使う

✓チェック!!

アプリケーションによっては、この機能は使えません。

拡大、縮小したい画面にマウスポインタを動かす。

キーボードの【Ctrl】を押したまま、スクロールボタンを前方に押す。または手前に引く。

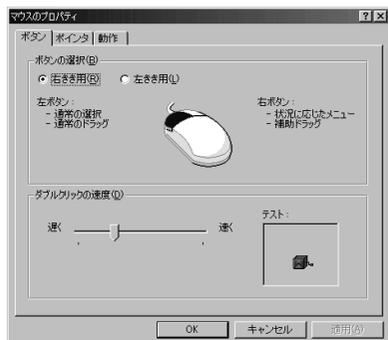
前方に押すと画面が拡大表示され、手前に引くと縮小表示されます。

「マウスのプロパティ」ウィンドウでの設定

「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」「設定」「コントロールパネル」）



「マウス」をダブルクリック。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



「マウスのプロパティ」ウィンドウには、ここで表示されている「ボタン」タブのウィンドウの他に「ポインタ」「動作」タブのウィンドウがあります。タブをクリックすると、そのタブに対応するウィンドウを表示できます。各ウィンドウで行える設定は次の通りです。

「ボタン」タブのウィンドウ

■ ボタンの選択

マウスのボタンの左右の機能を交換して、右きき用 / 左きき用に設定できます。



状況に応じたメニュー

現在の本機の状態や、ポインタの位置で可能な操作の一覧が表示されているメニュー。

補助ドラッグ

ファイルやフォルダのコピー、ショートカットアイコンの作成などができるドラッグ。

■ ダブルクリックの速度

マウスのボタンを2回続けてクリックするときの、間隔（タイミング）を調整します。「遅く」にすると間隔が長く、「速く」にすると間隔が短くなります。調整したタイミングを「テスト」にあるアイコン（びっくり箱）で確認できます。調整したタイミングでアイコンをダブルクリックすると、箱が開いて中から人形が飛び出てきます。

購入時状態では、遅めに設定されています。

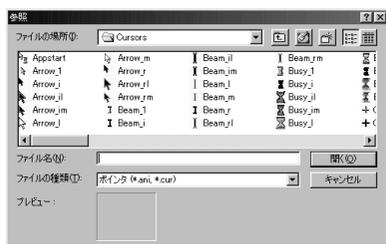
「ポインタ」タブのウィンドウ



このウィンドウでは、マウスポインタの形を選択できます。例として、マウスポインタの形を矢印から **+** に変更してみます。

「通常の選択」が反転表示している状態で「参照」をクリック。

「参照」ウィンドウ(「Cursors」フォルダ)が表示されます。



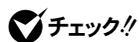
「Cross_1」をダブルクリック。

「Cross_1」のアイコンが「ポインタ」タブのウィンドウに表示されます。



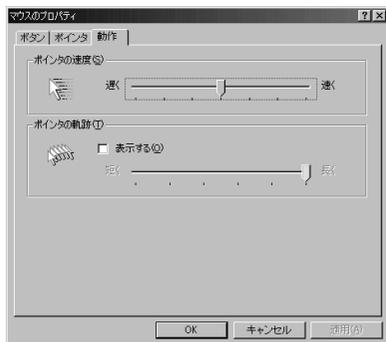
「OK」をクリック。

マウスポインタの形が十字の形になります。



マウスポインタを元に戻すには、「既定の設定」をクリックします。

「動作」タブのウィンドウ



マウスポインタの動作について設定できます。

キーボード

各キーの名称と一般的な機能を説明します。「キーボードのプロパティ」ウィンドウでは、カーソルの点滅速度の調整、日本語入力システムの選択など、いろいろな設定ができます。

参照

- ・キーボードの使い方について 『STEP2 入門』
- ・日本語の入力のしかたについて 『STEP2 入門』

キーの役割

一般的なキーの役割です。

キーボードのキーは、一般的に次のように2種類に分けられます。

・文字を入力するキー

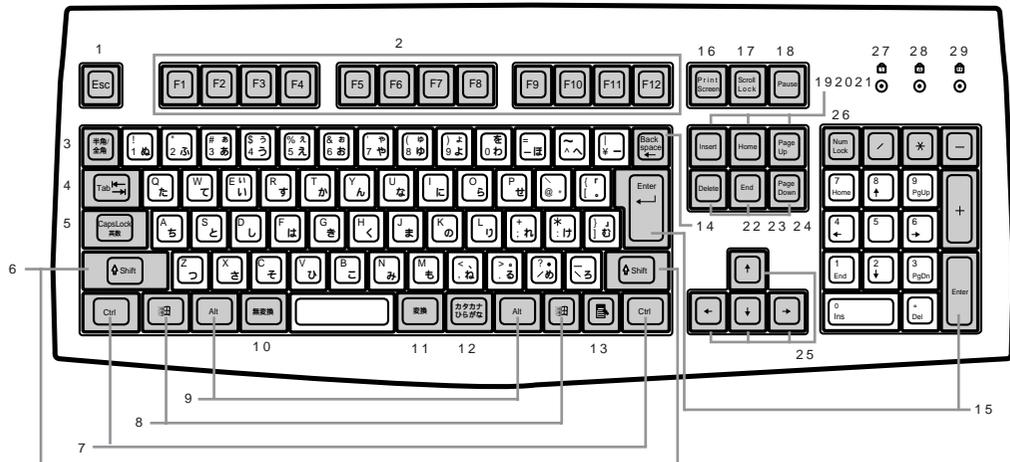
英数字やカタカナ、記号などの文字を入力します。下の図で白くなっている部分のキーです。

・コンピュータに指示を与えるためのキー

コンピュータに直接指示を与えるためのキーです。下の図でグレーの色が付いている部分のキーです。このキーの動きは、お使いになるアプリケーションによって違います。詳しくは、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

キーの名称

キーボード正面



- 1 【Esc】: エスケープキー
- 2 【F1】～【F12】: ファンクションキー
- 3 【半角 / 全角 / 漢字】: 半角 / 全角 / 漢字キー
- 4 【Tab】: タブキー
- 5 【CapsLock】: キャップスロックキー
- 6 【Shift】: シフトキー
- 7 【Ctrl】: コントロールキー
- 8 【】: Windows キー
- 9 【Alt】: オルトキー
- 10 【無変換】: 無変換キー
- 11 【変換】: 変換キー
- 12 【カタカナ / ひらがな / ローマ字】: カタカナ / ひらがな / ローマ字キー
- 13 【】: アプリケーションキー
- 14 【Back Space】: バックスペースキー
- 15 【Enter】: エンターキー
- 16 【Print Screen/Sys Rq】: プリントスクリーンキー / システムリクエストキー
- 17 【Scroll Lock】: スクロールロックキー
- 18 【Pause/Break】: ポーズ / ブレークキー
- 19 【Insert】: インサートキー
- 20 【Home】: ホームキー
- 21 【Page Up】: ページアップキー
- 22 【Delete】: デリートキー
- 23 【End】: エンドキー
- 24 【Page Down】: ページダウンキー
- 25 【】: カーソルキー
- 26 【Num Lock】: ニューメリックロックキー
- 27 ニューメリックロックキーランプ
- 28 キャップスロックキーランプ
- 29 スクロールロックキーランプ

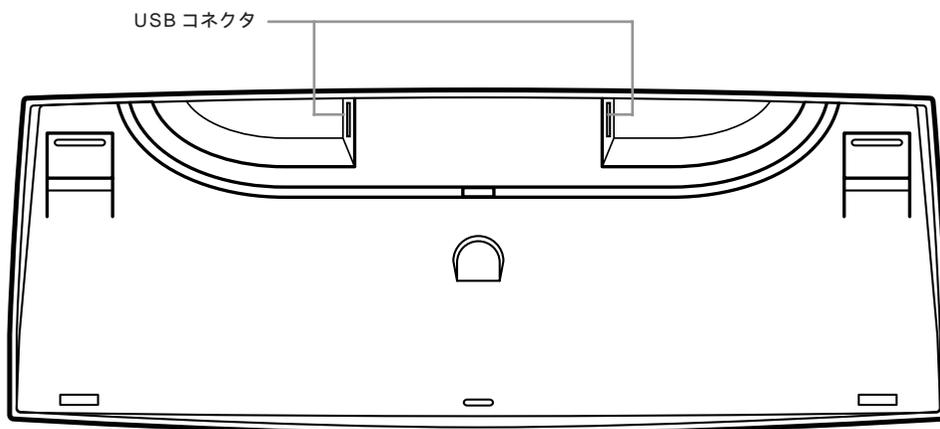
キーボード裏面

USB コネクタ

USB 対応機器を接続するコネクタ。
このコネクタには、添付のマウスをはじめとする
USB 対応機器が接続できます。

✓チェック!

この USB コネクタには、限られた機器しか接続できません。接続できる機器については、『拡張の手引き』の「PART2 USB 対応機器を使う」をご覧ください、確認してください。



キーのロック

【NumLock】と【CapsLock】がロックされているかいないかでキーの機能は異なります。
ロック状態はそれぞれのキーを押すたびに切り替わります。

それぞれのキーがロックされているときにはキーボード右上のランプが点灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき
【NumLock】	テンキーから数字が入力できます。	テンキーの数字の下に表示されている機能が使えます。
【CapsLock】	アルファベットが表示されているキーを押すと大文字が入力されます。	アルファベットが表示されているキーを押すと小文字が入力されます。

アプリケーションとWindows キーについて

アプリケーションとWindows キーはWindows 98で利用できるキーです。アプリケーションによってどのように利用するかは異なりますが、標準で次のような機能が割り当てられています。

アプリケーションキー ()

アプリケーションキーを押すと、マウスで右クリックしたときと同じ状態になります。

Windows キー ()

Windows キーを押すと、「スタート」メニューが表示されます。

Windows キーを押しながら次のキーを押すと、次のような機能を利用することができます。

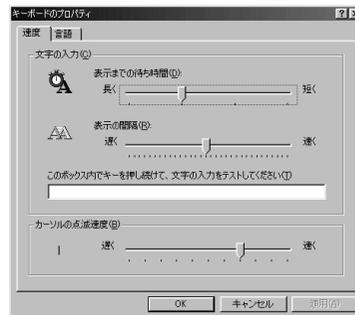
- 【  】 + 【 R 】 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを表示する
- 【  】 + 【 M 】 現在起動しているウィンドウをすべてアイコン化する
- 【 Shift 】 + 【  】 + 【 M 】 【  】 + 【 M 】 でアイコン化しているウィンドウを元に戻す
- 【  】 + 【 F1 】 Windows のヘルプを起動する
- 【  】 + 【 F 】 ファイルやフォルダを検索するウィンドウを表示する
- 【 Ctrl 】 + 【  】 + 【 F 】 コンピュータを検索するウィンドウを表示する
- 【  】 + 【 Tab 】 タスクバーに表示されているボタンを順番に切り替える

「キーボードのプロパティ」ウィンドウでの設定

「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」「設定」「コントロールパネル」)



「キーボード」をダブルクリック。
「キーボードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



「キーボードのプロパティ」ウィンドウには、ここで表示されている「速度」タブのウィンドウの他に「言語」タブのウィンドウがあります。タブをクリックすると、そのタブに対応するウィンドウを表示できます。各ウィンドウで行える設定は次の通りです。

「速度」タブのウィンドウ

■ 文字の入力

「表示までの待ち時間」では、キーを押し続けたときに、入力の繰り返しが始まるまでの時間を調整します。「表示の間隔」では、キーを押し続けたときに、文字の入力が繰り返される間隔を調整します。

調整後に、ボックスでテストすることができます。例えば「A」のキーを押し続けて感じをつかむことができます。

購入時の状態では、「表示の間隔」は遅めに設定されています。



- カーソルの点滅速度
カーソルの点滅する間隔を調整します。

「言語」タブのウィンドウ



チェック!

画面は一太郎モデルの場合です。Wordモデルの場合は、「Microsoft IME 98」が表示されます。

- インストールされている言語とレイアウト

言語(日本語入力システム)の選択

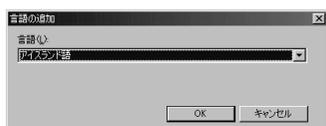
よく使う日本語入力システムを一覧から選んで(反転表示になる)「既定値として設定」をクリックすると、その日本語入力システムが「既定の言語」の欄に表示されます。

通常使う日本語入力システムを変更したい場合に設定してください。

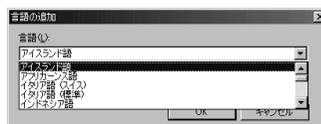
言語の追加

新たに言語を追加することができます。

「追加」をクリックすると、「言語の追加」ウィンドウが表示されます。



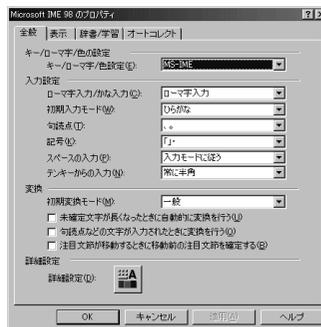
▼をクリックして、追加したい言語を選びます。



キーボードレイアウトの設定

日本語入力システムを一覧から選んで(反転表示になる)「プロパティ」をクリックすると、日本語入力システムの環境を設定するウィンドウが表示されます。

「Microsoft IME 98」の場合



「ATOK12」の場合



ローマ字/かな入力、入力モード/方式、句読点の種類などを設定できます。

- 言語の切り替え
言語の切り替えを行うキーの組み合わせを選びます。

- タスクバー上に状態を表示
多言語インジケータをタスクバーに表示します。このインジケータをクリックすると、言語や日本語入力システムを簡単に切り替えることができるメニューが表示されます。



PC-9800 シリーズのキーボードとの キーの違い

PC-9800シリーズに添付されているキーボードと本機のキーボードとのキーの違いは以下のとおりです。

PC9800シリーズのキーボード	本機のキーボード	備 考
【リターン】	【Enter】	
【GRPH】	【Alt】	
【BS】	【BackSpace】	
【STOP】	【Pause】	
【CAPS】	【Shift】+【CapsLock】	大文字
【ROLL UP】	【Page Down】	
【ROLL DOWN】	【Page Up】	
【CTRL】	【Ctrl】	
【DEL】	【Delete】	
【HELP】	【End】	
【ESC】	【Esc】	
【f・1】-【f・10】	【F1】-【F10】	
【vf・1】-【vf・2】	【F11】-【F12】	
【HOME CLR】	【Home】	
【INS】	【Insert】	
【SHIFT】	【Shift】	
【COPY】	【PrintScreen】	
【TAB】	【Tab】	
【XFER】	【変換】	
【NFER】	【無変換】	
【CTRL】+【XFER】	【Alt】+【半角/全角】	日本語入力
【かな】	【Ctrl】+【英数】	

ハードディスク

ハードディスクの代表的なツールである、スキャンディスク、デフラグなどについて説明します。

参照

- ・ハードディスクを増設する 『拡張の手引き』PART6「ハードディスクを増設する」

概要

ハードディスクは、外部記憶装置のひとつです。正確に表現すれば、実際に磁気を利用してデータを記録する円盤(ディスク)と、ディスクを高速に回転させて、データの読み書きをするヘッドやアーム、モーターなどからなる装置全体を指し、ハードディスク装置といえます。ディスクと磁気ヘッドなどの装置は、密封された容器に収められているために、他の外部記憶装置のメディアのように、記憶媒体(ディスク)自体を単独で取り出すことはできません。しかし、ディスクを高速で回転できるために、フロッピーディスクや光磁気ディスクなどに比べて、読み書きするスピードは格段に速くなります。

ハードディスクは外部記憶装置のひとつには違いありませんが、CPUやメモリとともに、パソコンの中心的な存在です。オペレーティングシステム(OS)やアプリケーションソフトなどは、すべてハードディスクに格納されます。ハードディスクのドライブ名は通常は「C」です。

取り扱いの注意

ハードディスクは、たいへん精密な機械です。取り扱いには、次のことに十分注意してください。

- ・電源が入っているときは、本体に振動や衝撃を加えたり、持ち運んだりしないでください。
- ・電源を切って本体を運ぶときでも、できるだけ慎重に扱ってください。
- ・電源を切るときは、『STEP2 入門』で説明されている手順に従ってください。Windows 98以外のOSを使用している場合、キーボードの【Esc】を押してから電源スイッチを押してください。

- ・温度・湿度条件を守ってください。
温度 10 ~ 35、湿度 20% ~ 80%(ただし、結露しないこと)
- ・ゴミやホコリの多い場所での使用・保管は避けてください。

バックアップをこまめにとる

本機に内蔵されているハードディスクは、非常に精密に作られています。毎分数千回転するディスク面と情報を読み取る磁気ヘッドの間は、わずかしが空いてまいません。このため、データを読み書きしていることを示すハードディスクアクセスランプの点灯中には、少しの衝撃を与えても故障の原因となることがあります。ハードディスクが故障すると、大切なデータが一瞬にして消滅してしまい、復帰できない可能性があります。二度と同じものを作れないような大切なデータは、バックアップをこまめにとることをおすすめします。

参照

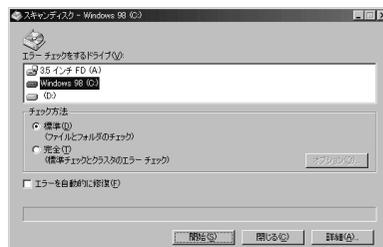
- ・バックアップ 『STEP2 入門』PART2の「バックアップを取る」

スキャンディスク

スキャンディスクとは、ハードディスク自体やハードディスクに保存されているデータに、障害がないかどうかを調べるためのツールです。実際には、ハードディスクドライブ上のFAT(ファイルアロケーションテーブル)やクラスタ、ディレクトリツリー構造、ドライブの物理表面の不良セクタなどをチェックします。定期的にスキャンディスクを行って、ハードディスクに障害がないかチェックしてください。エラーが発見されたら、修復するようにしてください。

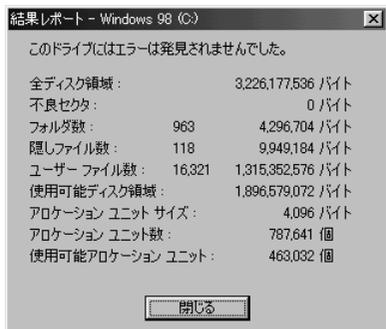
スキャンディスクは次のように実行します。

- 「スキャンディスク」を起動する。
(「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」「スキャンディスク」)

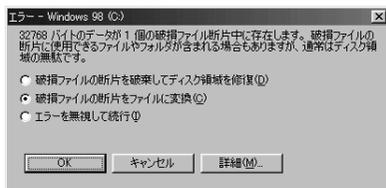


「エラーチェックをするドライブ」の中から、チェックするドライブをクリック。

「開始」をクリック。
チェックが始まります。
チェックが終了すると、「結果レポート」が表示されます。



何か問題が検出されたときは、次のような画面が表示されます。この場合は、画面の指示に従ってください。



「結果レポート」ウィンドウの「閉じる」をクリックし、もう一度「閉じる」をクリック。
スキャンディスクの作業が終了します。

「完全チェックのオプション」ウィンドウ

徹底的なチェックをしたいときは、チェック方法の「完全」をクリックしてから「オプション」をクリックして、次のウィンドウを表示して使いたいオプションを選びます。

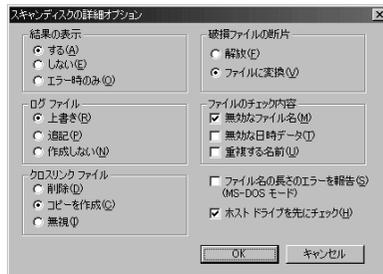


✓チェック!!

完全チェックはかなり時間がかかります。

「スキャンディスクの詳細オプション」ウィンドウ

「詳細」ボタンをクリックして次のウィンドウを表示すると、さらに細かい設定ができます。



不良セクタ、スキップセクタ

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」と呼びます。パソコンではこのような場所にはデータを記録しないようにしています。

Windows 98の「スキャンディスク」などを実行すると「不良セクタ」または「スキップセクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタ、スキップセクタを使わないように処理されていることを表しており、異常ではありません。

なお、「不良セクタ」または「スキップセクタ」が表示された場合でも、「全ディスク領域」または「全ディスク容量」のバイト数*が次の表の値であれば不良ではありませんので、正常にお使いいただけます。

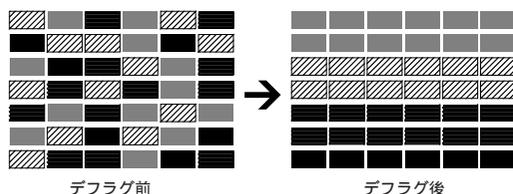
モデル	内蔵ハードディスク	正常値
VF26D/6	4.3Gバイト	4,300,000,000バイト以上

* なお、領域を分けた場合には、バイト数の合計が、表の正常値より減る場合があります。

なお、このマニュアルではハードディスクの記憶容量を、1Mバイト = 1,000,000 バイト及び1Gバイト = 1,000,000,000 バイトで計算したときの値で示してあります。Windows 98 では、1M バイト = 1,048,576 バイト、1Gバイト = 1,073,741,124 バイトで値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

デフラグ

ハードディスク(またはフロッピーディスク)を長い間使っていると、データがハードディスクの空いている場所に、バラバラに保存されるようになります。この状態をフラグメンテーションまたは断片化と呼びます。この状態になると、データが連続していないので、データを読み書きする時間が長くなります。「デフラグ」というツールを使うと、このようなバラバラになったデータを、最適な場所に整理できます。



デフラグは次のように実行します。

✓チェック!

「デフラグ」の実行中は、絶対にスタンバイ状態にしたり、本機の電源を切ったりしないでください。スタンバイ状態にしたり、電源を切ると、ハードディスクの内容が壊れる場合があります。自動的にスタンバイ状態にする設定になっている場合は、「コントロールパネル」の「電源の管理」で解除してください。

📖参照

・「電源の管理」 このPARTの「省電力機能(スタンバイ)」

「デフラグ」を起動する。
(「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」「デフラグ」)

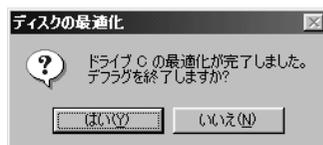


▼ をクリックし、一覧の中から、デフラグするハードディスク(またはフロッピーディスク)のドライブを選ぶ。

「OK」をクリック。
デフラグの作業が始まります。



デフラグの作業が終了すると、次のウィンドウが表示されます。



「はい」をクリック。
これで、デフラグの作業が終了します。

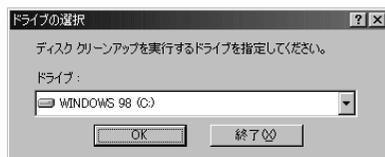
その他のツール

ディスククリーンアップ

「ディスククリーンアップ」を使うと、インターネットを利用したときに作成される一時ファイルなど、不要なファイルを削除して、ディスクの空き容量を増やすことができます。

「ディスククリーンアップ」は次のように実行します。

「ディスククリーンアップ」を起動する。
(「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」「ディスククリーンアップ」)



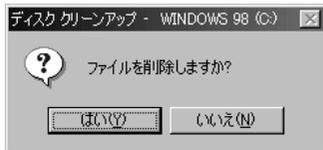
▼ をクリックして、ディスククリーンアップを実行するドライブを選ぶ。

「OK」をクリック。
「ディスククリーンアップ」ウィンドウが表示されます。



「削除するファイル」の一覧から、削除したいファイルの種類を選ぶ。

「OK」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



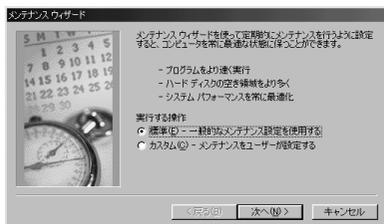
「はい」をクリック。
ファイルが削除されます。

メンテナンスウィザード

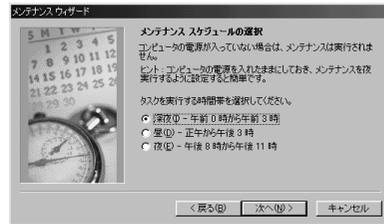
「メンテナンスウィザード」は、「スキャンディスク」、「デフラグ」、「ディスククリーンアップ」を決められた時間に、自動的に実行することができますので、定期的に、これらのツールを実行することができます。

「メンテナンスウィザード」は次のように実行します。

「メンテナンスウィザード」を起動する。
(「スタート」 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」 「メンテナンスウィザード」)



「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。

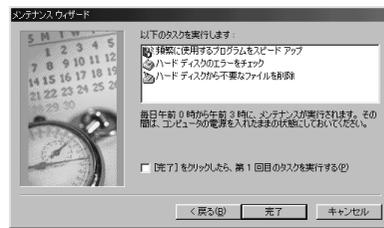


メンテナンスを実行する時間帯を設定する。

✓チェック!!

設定した時間に、本機の電源が入っていない場合は、メンテナンスは実行されません。

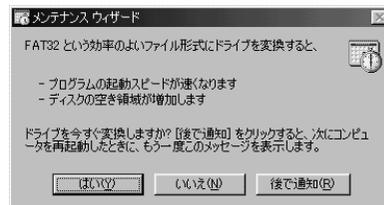
「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック。
ハードディスクのファイルシステムがFAT32の場合は、これで設定完了です。

✓チェック!!

- ・本機の購入時の内蔵ハードディスクは、FAT32でフォーマットされています。
- ・ハードディスクのファイルシステムがFAT32でない場合、次のウィンドウが表示されます。



「はい」をクリックすると、「ドライブコンバータ (FAT32)」が起動します。
「ドライブコンバータ」については、後述の「ドライブコンバータ (FAT32)」をご覧ください。
「いいえ」をクリックすると、「メンテナンスウィザード」が終了します。

「後で通知」をクリックすると、次に本機を再起動したときに、このウィンドウが表示されます。

ドライブコンバータ(FAT32)

「ドライブコンバータ(FAT32)」を使うと、ハードディスクのファイルシステムをFAT32に変換することができます。

✓チェック!!

- ・本機の購入時の内蔵ハードディスクは、FAT32でフォーマットされています。
- ・現在のファイルシステムの状態は、次の手順で確認できます。

デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリック。

情報を表示したいドライブのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリック。

FAT16の場合は「ファイルシステム:」に「FAT」と表示され、FAT32の場合は「ファイルシステム:」に「FAT32」と表示されます。

■ FAT32 について

FAT(File Allocation Table)16 ファイルシステム(以降、FAT16)は、MS-DOS や従来の Windows で使用されている基本的なファイルシステムです。

FAT32 ファイルシステム(以降、FAT32)はFAT16を拡張したファイルシステムで、次のような特長があります。

- ・従来のFAT16では、2Gバイトの容量を超える領域を扱えませんでした。FAT32では理論上2T(テラ)バイト(2,047Gバイト)の容量まで扱えます。
- ・クラスタサイズがFAT16よりも小さいため、ハードディスクをより効率よく使用できます。

✓チェック!!

- ・FAT32のハードディスクをFAT16に変換するには、カスタム再セットアップが必要です。
- ・FAT32に対応していないアプリケーションなどは、FAT32のハードディスクでは、正しく動作しない場合があります。
- ・スキャンディスク、バックアップ、およびデフラグなど、「システムツール」グループにあるディスク管理ツールはFAT32に対応しています。ただし、「ドライブスペース」ではFAT32のドライブを圧縮できません。

・FAT32は、本機にインストールされているWindows 98でのみ使用できます。Windows NT 4.0では、FAT32のドライブに保存されたデータやファイルにアクセスできません。

■ ドライブコンバータ(FAT32)の起動

「ドライブコンバータ(FAT32)」を起動する。
(「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」「ドライブコンバータ(FAT32)」)

「次へ」をクリック。

変換するドライブを選んで、「次へ」をクリック。

「OK」をクリック。

FAT32に対応していないプログラムの検出が始まります。

検出が終わると次のウィンドウが表示されます。



✓チェック!!

このウィンドウで、FAT32に対応していないプログラムが検出された場合は、「キャンセル」をクリックして、「ドライブコンバータ(FAT32)」を終了させてください。検出されたプログラムを使用する場合は、FAT32には変換できません。

「次へ」をクリック。

FAT16に戻す可能性がある場合には、「バックアップの作成」をクリックして、バックアップを作成してください。

「次へ」をクリック。

「次へ」をクリック。

変換が始まります。変換には、時間がかかります。変換が終わると「変換が完了しました」のメッセージが表示されます。

「完了」をクリック。

これで変換は終了です。

フロッピーディスク

使用できるフロッピーディスクの種類、バックアップのとりかた、Windows 起動ディスクの作成方法などについて説明します。

参照

- ・フロッピーディスクのフォーマット 『STEP 3 活用』「PART 4 フロッピーディスクを使う」

使用できるフロッピーディスクの種類

本機では、以下のようなフロッピーディスクを使用できます。

タイプ	フォーマット(容量) 1			
	1.44MB	1.2MB	720KB	640KB
2HD		2	×	×
2DD	×	×		×

- 1: MS-DOSまたはWindowsでフォーマットされたものが使えます。
- 2: 読み書きはできますが、1.2Mバイトでのフォーマットはできません。また、ディスクのコピーもできません。

フロッピーディスクのバックアップ

フロッピーディスクは非常にデリケートです。ホコリが入ってしまったり、折れてしまったりなど、何らかの事故によって、保存しているデータが壊れてしまうことがあります。万々に備えて、大切なデータは、定期的にバックアップをとることをおすすめします。

バックアップをとりたいフロッピーディスク(コピー元)をフロッピーディスクドライブにセットする。

チェック!!

- ・誤って、データを消さないように、コピー元のフロッピーディスクには、あらかじめライトプロテクトしておくことをおすすめします。

- ・コピー先のフロッピーディスクは、コピー元のフロッピーディスクと同じ容量でフォーマットされたフロッピーディスクを使用してください(これは、「MS-DOS プロンプト」の DISKCOPY コマンドでも同じです)。

参照

- ・ライトプロテクトについて 『STEP 3 活用』PART 4「フロッピーディスクにファイルをコピーする」

「マイコンピュータ」をダブルクリック。

「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

「3.5 インチFD」をクリック。

「3.5 インチFD」アイコンが反転表示になります。



「ファイル」をクリック。

「ファイル」のメニューが表示されます。



「ディスクのコピー」をクリック。
「ディスクのコピー」ウィンドウが表示されます。



「開始」をクリック。
ディスクのコピーが始まります。



しばらくして次の画面が表示されます。



コピー元のコピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、コピー先のフロッピーディスクをセットする。

「OK」をクリック。
ディスクのコピーが再開します。



コピーが終了すると次の画面が表示されます。



「閉じる」をクリック。
ディスクのコピーが終了し、バックアップが作成されました。

Windows 起動ディスク

ハードディスクやWindows 98のシステムに大きな障害を受けると、本機の電源を入れてもWindows 98が起動しなくなってしまうことがあります。このような場合には、「Windows 起動ディスク」を使うと、フロッピーディスクからWindows 98のシステムを起動させることができます。万一、システムが起動しなくなったときのために、Windows 起動ディスクを作成することをおすすめします。

Windows 起動ディスクの作成

フロッピーディスクを2枚用意してください。未フォーマットのものでかまいません。

コントロールパネルを開く。
「スタート」「設定」「コントロールパネル」でウィンドウが表示されます。
(「ランチ-NX」「ユーティリティ」「アプリケーションの追加と削除」で手順へ進むこともできます。)



「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



「起動ディスク」をクリック。
「起動ディスク」タブのウィンドウが表示されます。



「ディスクの作成」をクリック。
起動ディスク作成の準備が始まり、すぐに次のメッセージが表示されます。



指示に従い、「OK」をクリック。
起動ディスクの作成が始まります。
しばらくすると、次のメッセージが表示されます。



指示に従い、「OK」をクリック。
再び、起動ディスクの作成が始まります。



終了すると、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウに戻ります。



「OK」をクリック。
Windows 起動ディスクの作成が完了しました。

Windows 起動ディスクから本機を起動する

作成した「Windows 起動ディスク」を使って、起動します。

本機の電源を入れる。

すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows 98 起動ディスク 1」をセットする。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。

CD-ROM ドライブを使う場合は「1」を、使わない場合は「2」を選んで、【Enter】を押す。

しばらくすると、「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

【半角 / 全角】を押す。

「106キーボードが選択されました」と表示されます。

しばらくすると、「Windows 98 起動ディスク 2 を挿入してください。続けるにはどれかキーを押してください」と表示されます。

フロッピーディスクドライブから、「Windows 98 起動ディスク 1」を取り出し、「Windows 98 起動ディスク 2」をセットして、何かキー(【Enter】など)を押す。

コマンドプロンプト(「A:¥>_」)が表示されます。

これで、Windows 起動ディスクからの起動が完了しました。

再びハードディスクから起動したい場合は、フロッピーディスクドライブからWindows 起動ディスクを取り出して、本機を再起動してください。

Windows 起動ディスクのコマンドツール

Windows 起動ディスクで起動した場合にこれらのコマンドを使用できます。

Edit	テキストファイルを編集します。
Fdisk	ハードディスクの領域を確保します。
Format	ディスクを初期化します。
Scandisk	ディスクのエラーを検査し、修復します。
Sys	起動用のシステムをドライブへ転送します。

ディスプレイ

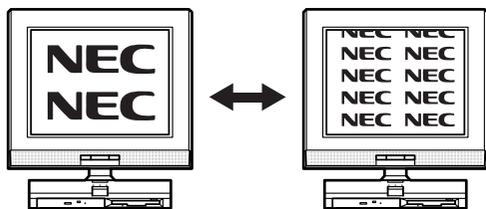
本機には、ウィンドウアクセラレータ機能が標準で搭載されています。お使いの用途に応じた解像度や、表示色に切り替えて使用できます。

概要

解像度

ディスプレイでは文字やグラフィックを、小さな点(ドット)の集まりで画面に表示しています。ディスプレイの解像度とは、ディスプレイの画面上での文字やグラフィックを表現するときの、緻密さの度合いのことです。例えば、640×480ドットというのは、ディスプレイの横(水平)方向に640個のドット(点)、縦(垂直)方向に480個のドットで表示できることを示しています。ドット数が増えるほど、精細な表示ができるようになります。

一度に表示できるドット数を増やすことを「高解像度にする」と表現します。高解像度になると、緻密な画像を表現できます。また、同じアプリケーションでも、高解像度時には、より広い範囲を表示することができます。ただし、解像度が高くなるにつれて、画面に表示される文字は小さくなっていきます。画面の文字が読みにくくなるときには、解像度を下げるようにしてください。



表示色

ディスプレイの個々のドットを、何種類の色で表現できるかを示す尺度を表示色といいます。本機では通常、次の表示色が表示できます。

- ・ 16,777,216色(1,677万色)
- ・ 65,536色(6万5千色)
- ・ 256色
- ・ 16色

また、6万5千色で表示することを、「High Color(ハイカラー)表示」、1,677万色で表示することを「True Color(トゥルーカラー)表示」あるいは、「Full Color(フルカラー)表示」と呼ぶこともあります。

走査周波数

液晶ディスプレイには、液晶の画素1つ1つに電極があります。液晶ディスプレイは、この画素に電圧を加えると、光の反射率や透過率が変化する性質を利用して文字やグラフィックを表示しています。

本機のTFT液晶は画素1つ1つの電極にON/OFFの切り替えスイッチが付いていてダイレクトに信号を与えるため、動作速度が高速で視野角が広いというメリットがあります。

この信号が画面の左端から右端へ移動することを水平走査、画面の上端から下端へ移動することを垂直走査といい、1秒間に走査する回数をそれぞれ水平走査周波数、垂直走査周波数と呼びます。

本機の液晶ディスプレイを使う場合

本機の液晶ディスプレイは、標準で次の解像度と表示色を表示できます。

解像度 (ドット)	表示色	液晶 ディスプレイ
640 × 480	16色 256色 High Color ^{*1} True Color ^{*2}	表示可 ^{*3}
800 × 600	256色 High Color ^{*1} True Color ^{*2}	表示可 ^{*3}
1,024 × 768	256色 High Color ^{*1} True Color ^{*2}	表示可

* 1 : High Colorは6万5千色です。

* 2 : True Colorは、1,677万色です。本機の液晶ディスプレイでは、ディザリング表示により実現しています。

* 3 : 拡大表示となります。拡大表示では文字や線の太さが不均一になることがあります。

リフレッシュレートの切り替えについての注意

リフレッシュレートの既定値は、本体とディスプレイの組み合わせで最も適した値に設定されています。この設定は「画面のプロパティ」で変更できる場合がありますが、ディスプレイがサポートしていないリフレッシュレートを選択すると表示が乱れたり、画面が正しく表示されない場合があります。変更するときは注意してください。

別売のディスプレイを使う場合

本機には、別売のディスプレイを接続することもできます。別売のディスプレイを接続する場合の本機の表示機能は次の通りです。

解像度

640 × 480 ドット
800 × 600 ドット
1,024 × 768 ドット^{*}
1,280 × 1,024 ドット
1,600 × 1,200 ドット

* : 購入時の設定

表示色数

16色
256色
65,536色^{*}
1,677万色

表示できる色数は、各解像度によって異なります。

1,600 × 1,200 ドットでは1,677万色は表示できません。

* : 購入時の設定

走査周波数

水平走査周波数(31.5 ~ 68.5 KHz)
垂直走査周波数(60 ~ 85 Hz)

使用できる周波数は、各解像度、表示色数によって異なります。

✓チェック!!

別売のディスプレイを使用する場合は、上記の条件を満たしていることを確認してください。

ディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、ディスプレイ側の微調整が必要な場合もあります。また、次の別売ディスプレイは使用できません。

- ・PC-KM212
- ・PC-KM174

解像度と表示色の変更

必要に応じて解像度や表示色を変更できます。

解像度と表示色を変更する

コントロールパネルを開く。
('スタート' '設定' 'コントロールパネル' または 'ランチ-NX' 'ユーティリティ' '画面の設定' の後、手順へ進む)



'画面' をダブルクリック。
'画面のプロパティ' ウィンドウが表示されます。



'設定' タブをクリック。
'設定' タブのウィンドウが表示されます。



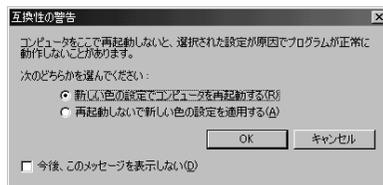
解像度を変更する。
'画面の領域' のつまみを '大' の方向にドラッグして
ずらすと、高解像度になります。低解像度に設定する
場合は、つまみを '小' の方向へドラッグしてずらし
ます。設定できる解像度は、本体ディスプレイの表示機
能によって変わります。

'色' の [v] をクリック。
表示色一覧のメニューが表示されます。



表示色を選ぶ。
(例 'True Color (32 ビット)' を選ぶ)
'True Color (32 ビット)' が反転表示されます。

'OK' をクリック。
次のメッセージが表示されます。



'新しい色の設定でコンピュータを再起動する' を選ん
で 'OK' をクリック。
本機が再起動し、設定が変更されます。

解像度と表示色を変更する (簡易解像度切り替え機能)

解像度と表示色は、タスクバーから簡単に切り替えることができます。

タスクバー右隅のをクリック。

解像度と表示色の一覧メニューが表示されます。

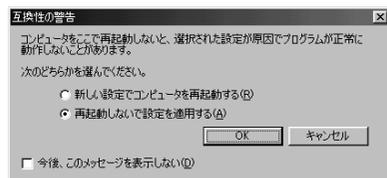
640x480 256 色
720x480 256 色
800x600 256 色
848x480 256 色
1024x768 256 色
640x480 High Color (16 ビット)
720x480 High Color (16 ビット)
800x600 High Color (16 ビット)
848x480 High Color (16 ビット)
▼ 1024x768 High Color (16 ビット)
640x480 True Color (24 ビット)
720x480 True Color (24 ビット)
800x600 True Color (24 ビット)
848x480 True Color (24 ビット)
1024x768 True Color (24 ビット)
640x480 True Color (32 ビット)
720x480 True Color (32 ビット)
800x600 True Color (32 ビット)
848x480 True Color (32 ビット)
1024x768 True Color (32 ビット)
ディスプレイ プロパティの調整(A)

にマウスポインタを当てると、現在の設定を表示できます。



変更したい解像度と表示色の組み合わせを選んでクリック。

次のメッセージが表示された場合は、手順 2、3 を行ってください。



「再起動しないで設定を適用する」を選んで「OK」をクリック。

設定が変更されます。

「スタート」「Windows の終了」「再起動する」を選んで、「OK」をクリック。

本機が再起動し、設定が変更されます。

解像度と表示色を変更するときの注意

表示色数を変更した後に、本機を再起動しなかった場合、画面が正しく表示されないことがあります。また、アプリケーションソフトによっては、色が正常に表示されないことがあります。

その場合は、Windows を再起動してください。

ディスプレイの省電力機能について

本機に、省電力機能を持つディスプレイを接続している場合、ディスプレイの省電力機能を使うことができます。本機の液晶ディスプレイは、省電力機能に対応しています。

ディスプレイの省電力機能は、Windows 上で設定します。コントロールパネルで設定した時間内に、まったく操作をしなかった場合、ディスプレイの画面を暗くして、消費電力を節約します。

ディスプレイの省電力機能を使う

「コントロールパネル」を開く。

(「スタート」「設定」「コントロールパネル」)



「電源の管理」をダブルクリック。

「電源の管理のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



このウィンドウで、次の設定を行います。

・モニタの電源を切る

時間を設定すると、設定時間経過後にディスプレイの省電力機能が働き、画面を暗くします(本体の電源ランプがオレンジ色に点灯します)。再度、ディスプレイの画面を表示させる場合は、キーボードのキーを押すか、マウスを軽く動かしてください。

購入時の状態では「なし」に設定されています。

✓チェック!

システムスタンバイを設定した場合も、ディスプレイの画面は暗くなります。

設定が終了したら、「OK」をクリック。
ディスプレイ省電力機能が設定されました。

✓チェック!

ディスプレイ省電力機能が働くと、画面が消えますが、本体の電源が切れている状態と間違わないようにしてください。

別売のディスプレイでディスプレイの省電力機能を使用する場合の注意

別売のディスプレイで、ディスプレイの省電力機能を使って画面が暗くなった場合、再度画面を表示させる方法については、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

ディスプレイに合わせて設定する

別売のディスプレイを使用する場合は、ディスプレイに合わせて、本体の設定を変更する必要があります。本体が、ディスプレイに合わせて正しく設定されていないと、ディスプレイに何も表示されないことがあります。また、設定できるはずの解像度が設定できないこともあります。

別売のディスプレイを使用するときの注意

プラグ&プレイに対応していないディスプレイの場合は、必ず、次の手順を行ってください。
プラグ&プレイに対応しているディスプレイの場合は、起動時にモニタを検出したことを示すメッセージが表示されます。このメッセージで、ディスプレイが検出されたことが確認できた場合は、この手順は必要ありません。

詳しくは、ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧ください。

ただし、プラグ&プレイに対応しているディスプレイであっても、そのディスプレイで表示できるはずの高解像度が、この項の「解像度と表示色の変更」の手順で設定できない場合があります。その場合は、『困ったときのQ & A』の「表示できるはずの高解像度を選べない」をご覧くださいの上、ディスプレイの設定をやり直してください。

ディスプレイが本体に正しく接続されていることを確認する。

Windows 98 起動後に、「コントロールパネル」を開く。

(または「ランチ-NX」「ユーティリティ」「画面の設定」の後、手順に進む)

「コントロールパネル」が表示されます。



「画面」をダブルクリック。

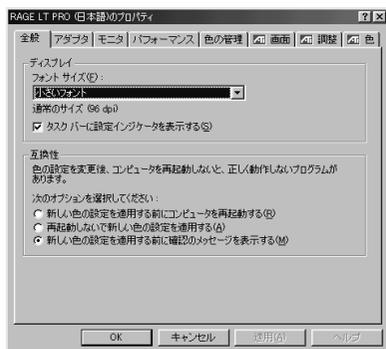
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



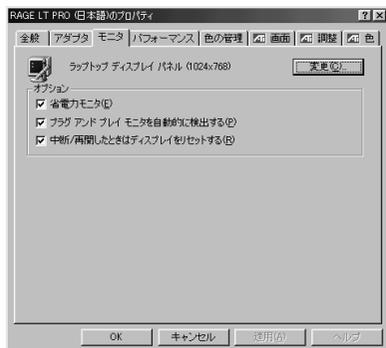
「設定」をクリック。
「設定」タブのウィンドウが表示されます。



「詳細」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「モニター」をクリック。
「モニター」タブのウィンドウが表示されます。



「変更」をクリック。
「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されます。



「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をクリック。



「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



省電力機能 (スタンバイ)

本機を使っていないときに、電源を切らなくても電力の消費を節約できる省電力機能(スタンバイ)について説明します。

概要

本機を使っていないときには、本機の電源を切っておくと、電力の節約になります。しかし、電源を切るには、作業中の状態を終了(アプリケーションを終了したり)して、Windowsを終了する必要がありますので、少しの間だけ本機を使わない場合には、つい電源を入れっぱなしにしがちです。

しかし、本機には、電源が入ったままでも電力消費を抑える機能があります。これを省電力機能(スタンバイ)といいます。この機能を使うと、本体は電源が入ったままでも、ファンを止めたり、ディスプレイの画面を暗くしたり、ハードディスクの電源を切ったりして、電力消費を抑えることができます。

このようにして電力消費を抑えている状態を「スタンバイ状態」と呼びます。スタンバイ状態のときは、作業していた内容は保持(記憶)されているので、もとの状態に復帰させると、すぐに作業が再開できます。

✓チェック!

- ・プリンタなどの周辺機器や、通信回線などは自動的に切れないので、注意してください。
- ・ファンは使用環境、温度などによっては、スタンバイ状態になっていても、回転することがあります。
- ・アプリケーションによっては、省電力機能のことを「サスペンド」という呼び方をしている場合があります。これは、スタンバイ状態にすることと同じ意味ですので、サスペンドをスタンバイに読みかえてください。また、アプリケーションによっては、スタンバイ状態から、もとの状態に復帰することを「レジューム」と呼んでいる場合があります。

電源の状態

本機の電源の状態について説明します。

- ・電源が入っている状態
通常、本機を使っている状態です。
- ・電源が切れている状態
Windowsを終了したり、電源スイッチを押したりして、本機の使用を終了している状態です。
- ・スタンバイ状態
さまざまな省電力機能(ファンを止める、ディスプレイの表示を消す、ハードディスクの電源を切るなど)により、消費電力が抑えられている状態です。本体の電源は入ったままですが、消費電力は、節約されています。
スタンバイ状態にする前の状態へ、すぐに復帰することができます。

■ スタンバイ状態での本機

スタンバイ状態になると、本機は次のようになります。

	電源ランプ	スリープランプ	ディスプレイの表示
電源ON	点灯する	点灯しない	表示される
スタンバイ	点灯しない	点灯する	表示されない

別売のディスプレイの場合は、異なることがあります。

スタンバイ状態にする

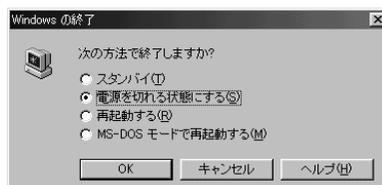
スタンバイ状態にするには、次の4つの方法があります。

- ・Windows 98 終了時にスタンバイ状態にする
- ・一定時間後に自動的にスタンバイ状態にする
- ・タイマー機能で指定した時間に自動的にスタンバイ状態にする
- ・電源スイッチを使ってスタンバイ状態にする

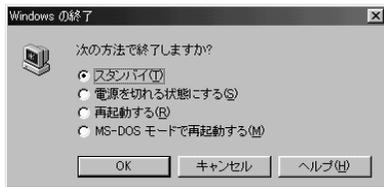
Windows 98 終了時にスタンバイ状態にする

「Windowsの終了」ウィンドウで、スタンバイ状態にする手順です。

「スタート」「Windowsの終了」をクリック。「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。



「スタンバイ」をクリック。



「OK」をクリック。
スタンバイ状態になります。

一定時間後に自動的にスタンバイ状態にする

「コントロールパネル」の「電源の管理」で時間を設定しておく、マウスやキーボードからの入力およびハードディスクへのアクセスがなく、一定の時間が経つと、自動的にスタンバイ状態になります。購入時には、約 20 分間で自動的にスタンバイ状態になるように設定されています。

設定についてはこの項の「電源の管理のプロパティで設定する」をご覧ください。

タイマー機能で指定した時間に自動的にスタンバイ状態にする

「Timer-NX」のタイマー機能を使うと、指定した時間にスタンバイ状態にすることができます。



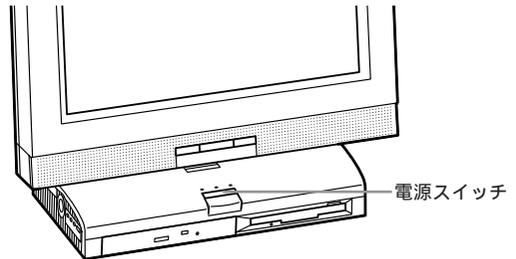
・「Timer-NX」 「パソコン探検箱」 「使いこなそう VALUESTAR」 「パソコンの設定をする」

電源スイッチを使ってスタンバイ状態にする

✓チェック!!

購入時の状態では、電源スイッチを使ってスタンバイ状態にすることはできません。電源スイッチを使ってスタンバイ状態にするには、「コントロールパネル」の「電源の管理」-「詳細」タブ-「コンピュータの電源ボタンを押したとき」で「スタンバイ」に設定する必要があります。購入時の状態では、「シャットダウン」に設定されています。

本体の電源スイッチを押す。
スタンバイ状態になります。



スタンバイ状態から電源が入っている状態に復帰する

スタンバイ状態から電源が入っている状態に復帰するには、次の 5 つの方法があります。

- ・マウスやキーボードを操作して復帰する
- ・電源スイッチを使って復帰する(スリープランプが点灯しているとき)
- ・「Timer-NX」のタイマー機能で指定した時間に自動的に復帰する
- ・FAXを受信したときに自動的に復帰する(リング機能)
- ・タスク スケジューラで指定した時間に自動的に復帰する

マウスやキーボードを操作して復帰する

スタンバイ状態のときに、マウスを動かすか、キーボードのキーをどれか押す。

電源スイッチを使って復帰する

本体のスリープランプが点灯しているときに、本機の電源スイッチを押す。

タイマー機能で指定した時間に自動的に復帰する

「Timer-NX」のタイマー機能を使って、指定した時刻に、自動的に電源が入っている状態に復帰します。



・タイマー機能 「パソコン探検箱」 「使いこなそう VALUESTAR」 「パソコンの設定をする」 「Timer-NX」

FAXを受信したときに自動的に復帰する(リング機能)

FAXを受信すると、自動的に電源が入っている状態に復帰します。

■ Timer-NX で設定

「Timer-NX」のリング機能を使用して、FAXを受信したときに、自動的に電源が入っている状態に復帰します。

参照

- ・「Timer-NX」
- ・「パソコン探検箱」
- ・「使いこなそう VALUESTAR」
- ・「パソコンの設定をする」
- ・「Timer-NX」

タスク スケジューラで指定した時間に自動的に復帰する

タスク スケジューラ(「マイコンピュータ」-「タスク」)を使うと、指定した時刻に自動的に電源が入っている状態に復帰し、指定したアプリケーションを起動することができます。

参照

- ・タスク スケジューラの使い方 Windows 98のヘルプ

電源の管理のプロパティで設定する

「電源の管理のプロパティ」で、省電力の設定ができます。

「電源の管理のプロパティ」ウィンドウの表示方法

「コントロールパネル」を起動する。
(「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」)



「電源の管理」をダブルクリック。

「電源の管理のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



「電源設定」タブのウィンドウでの設定

「電源設定」タブのウィンドウでは、スタンバイ状態になるまでの時間や、ディスプレイ、ハードディスクの電源を切るまでの時間を設定したり、電源設定を新しく作成して、保存することができます。

■ 電源の設定

次の設定ができます。設定が終了したら、「OK」をクリックしてください。

✓チェック!!

自動的にスタンバイ状態にならないようにするには、「システムスタンバイ」を「なし」に設定してください。

・システムスタンバイ

▼をクリックして、時間を設定します。
時間を設定すると、設定時間経過後に本機がスタンバイ状態になり、消費電力を節約することができます。
購入時の状態では「20分後」に設定されています。

・モニタの電源を切る

▼をクリックして、時間を設定します。
時間を設定すると、設定時間経過後にディスプレイの省電力機能が働き、画面が暗くなります
購入時の状態では「なし」に設定されています。

・ハードディスクの電源を切る

▼をクリックして、時間を設定します。
時間を設定すると、設定時間経過後にハードディスクドライブの電源が切れます。
購入時の状態では「30分後」に設定されています。

■ 設定するときの注意

ACPIモード時(ご購入時)に、「システムスタンバイ」の設定時間を「モニタの電源を切る」の設定時間よりも長くした場合、「システムスタンバイ」は「モニタの電源を切る」が実行されてからの時間となります。

下記のような設定がされている場合、実際にシステムスタンバイが実行されるのは「モニタの電源を切る」の20分後である35分後となります。

システムスタンバイ : 20分後
モニタの電源を切る : 15分後

20分後にシステムスタンバイするように設定する場合は、下記の例のように設定してください。

例 1 :

システムスタンバイ : 15分後
モニタの電源を切る : 5分後

例 2 :

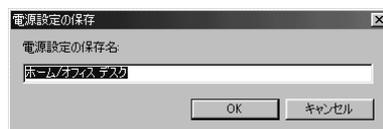
システムスタンバイ : 20分後
モニタの電源を切る : なし

■ 新しい電源設定の作成

次の手順で、新しい電源設定を作成することができます。

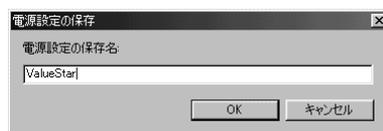
「電源設定」タブのウィンドウで「名前を付けて保存」をクリック。

次のウィンドウが表示されます。



新しい名前を付ける。

(例「ValueStar」)



「OK」をクリック。

新しい電源設定が作成されます。



必要に応じて、各電源の設定を行う。

設定が終了したら「OK」をクリック。
新しい電源設定として、保存されます。

✓チェック!!

購入時の状態では、「ホーム/オフィスデスク」に設定されています。この設定では、キーボードやマウスに触れない状態が20分以上続くと、スタンバイ状態になり、スリープランプが点灯します。

スタンバイ状態にするときの注意

スタンバイ状態にするときには、次のような注意が必要です。これを怠ると、スタンバイ状態にする前の内容が失われたり、スタンバイ状態にする前の内容が復元できないこともあります。

■ スタンバイ状態にできないとき

使用するアプリケーションソフトによっては、スタンバイ状態からの復帰ができなかったり、アプリケーションソフトが正常に動作しないことがあります。このようなアプリケーションの使用時には、スタンバイ状態にしないでください。また、使用する周辺機器によっては、スタンバイ状態から復帰できないことがあります。

■ スタンバイ状態にする前の内容が失われるとき

スタンバイ状態にするときに次のことが起きると、電源が切れた状態になるため、スタンバイ状態にする前の内容は失われます。

- ・電源ケーブルが本体やACコンセントからはずれたとき
- ・停電が起きたとき
- ・電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

このような場合は、次に電源を入れたときに、「Windowsが正しく終了されませんでした...」と表示され、スキャンディスクが実行されます。画面の指示に従ってください。

■ スタンバイ状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、スタンバイ状態にする前の内容は保証されません。

- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中にフロッピーディスクを入れ替えたとき
- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中にCD-ROMを入れ替えたとき
- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中に本機の環境を変更したとき
- ・スタンバイ状態のときに本機の機器構成を変更したとき

また、次のような状態でスタンバイ状態にしても、スタンバイ状態から復帰後の内容は保証されません。

- ・Windowsの起動中または終了処理中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき

- ・モデムなどを使って通信中のとき
- ・サウンド機能により音声を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- ・CD-ROMを読み取り中のとき
- ・スタンバイに対応していない周辺機器を取り付けたとき

■ スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されない場合

次のような場合には、スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されなかったことを表しています。

- ・アプリケーションソフトが動作しない
- ・電源スイッチを押す、または、キーボードやマウスを操作しても、スタンバイ状態から復帰しない

このような状態になるアプリケーションソフトを使用中には、スタンバイ状態にしないでください。万一、電源スイッチを押したり、キーボードやマウスを操作してもスタンバイ状態から復帰できなかったときには、電源スイッチを約4秒以上、押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップメニューの内容が、ご購入時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

■ その他の注意

- ・画面が暗くなっても本体のスリープランプが点灯していないときは、電源スイッチを押しても復帰しません。
- ・通信ソフトを使用中の場合は、必ず通信を終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のままスタンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算される場合があります。
- ・CD-ROMドライブにフォトCDが入っているときにスタンバイ状態にした場合は、復帰に多少の時間がかかることがあります。
- ・CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- ・「デバイスマネージャ」でドライバなどの設定をしているときや、「プリンタウィザード」や「ハードウェアウィザード」、「モデムウィザード」実行中は、スタンバイ状態にしないでください。これらの画面を表示しているときに、スタンバイ状態になると、復帰した後、キーボードとマウスを使用することができなくなります。

- ・「CDプレーヤー」または「メディアプレーヤー」で音楽CDを再生しているときにスタンバイ状態にして復帰すると、スタンバイ状態にする前に再生を行っていたトラックの次のトラックから再生が行われず。
- ・「メディアプレーヤー」でビデオCDやMPEGデータを再生しているときは、スタンバイ状態にすることはできません。
- ・「SmartVoice」起動中は、スタンバイ状態にすることはできません。

サウンド機能

本機は、PCM録音/再生機能、MIDI音源機能を備えています。

概要

PCM録音/再生機能

PCM録音/再生機能は、マイクロホンから入力した音声などのアナログ信号をデジタル信号に変換しているような処理を加える機能です。人の音声などを、原音に近い音で再現できます。

インストールされているWindowsのサウンド機能を使えば、ソフトに含まれる音声データを再生したり、入力した音声を編集したり、文書などに貼り付けたりできます。

MIDI

MIDIは、Musical Instruments Digital Interfaceの頭文字をとったもので、楽器同士を接続して、演奏情報や音色情報をやり取りするための規格です。

MIDIでは、音程や音色などの演奏に関する情報のほか、設定を切り替えるための情報、テンポをコントロールするための情報などのさまざまな情報をやり取りできるので、表現力豊かな演奏ができます。

ボリュームコントロール

「ボリュームコントロール」ウィンドウは、内蔵音源を通じて再生される音声の量や、内蔵音源を通じて録音するときの入力レベルをコントロールすることができます。

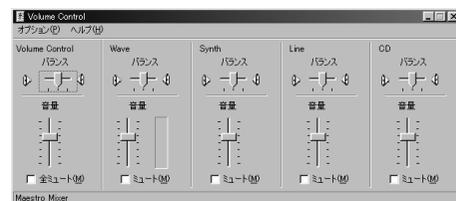
各音源の音量が小さい場合や、音量が大き過ぎて音割れ(音が途切れる現象)があるときに調整してください。

「ボリュームコントロール」ウィンドウの表示方法

「ボリュームコントロール」ウィンドウの表示方法は次の通りです。

「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「エンターテインメント」「ボリュームコントロール」をクリック。

「Volume Control」ウィンドウが表示されます。



「プロパティ」ウィンドウ

「Volume Control」ウィンドウのメニューバーから「オプション」を選んで、「プロパティ」をクリックすると、「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



「プロパティ」ウィンドウでは、「音量の調整」欄で、「再生」「録音」のどれが選ばれているかにより、表示される項目を切り替えることができます。表示できる項目と、各項目の説明を一覧で示すと次のようになります。

項目	音量調節の種類		説明
	再生	録音	
Volume Control			スピーカから出力されるすべての音量を調整します。
Wave			WAVEデータなどのPCM音源の音量を調整します。
Synth			シンセサイザーの音量を調整します。
Line			LINE IN端子に接続されている機器から入力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量を調整します。
CD			CDオーディオを再生または録音するときの音量を調整します。
Aux			本機では使用できません。
Video			本機では使用できません。
Mic			マイクロホン端子から入力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量を調整します。
Phone In			Voiceモデムの音量を調整します。
PC Spkr			本機では使用できません。
Zoom Video			ZVポートなどからの音量を調整します。
Mixer			スピーカから出力される全ての音を録音するときの音量を調整します。

音量の調整で「その他」を選択すると、横にあるプルダウンメニューから次のような項目を選択できるようになります。



項目	機能	
MonoOut	Mono Mixer	通常は使用しません。
	Mic	Voice モデムへ出力するマイク音量を調整します。
Effects Controls	Reverb Level	リバーブ効果を調整します。
	Chorus Level	コーラス効果を調整します。
	3DSpreader	音の広がりを調整します。
	Treble Level	高音部を調整します。
	Bass Level	低音部を調整します。
Reverb Controls	Depth	リバーブ効果をさらに詳細に調整します。
	Delay	
Chorus Controls	Feedback	コーラス効果をさらに詳細に調整します。
	Frequency	
	Depth	
Voice Commands	Mic	音声入力等のマイク音量を調整します。
	Phone In	通常は使用しません。

■ マイクロホンの音量調整

別売のマイクロホンを接続したときは、次のように、音量を調節します。

「音量の調整」欄の「録音」を選ぶ。

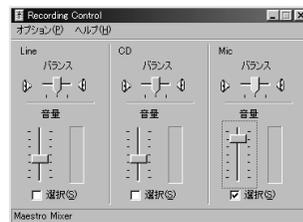
「録音」の前にチェックマークがつき、「表示するコントロール」欄の項目が変わります。



「Mic」のチェックボックスにチェックがなければチェックする。

「OK」をクリック。

「Recording Control」ウィンドウが表示されます。



「Mic」の音量つまみの部分をドラッグしてボリュームを調節する。

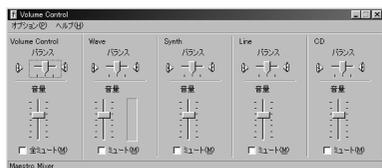
調節が終わったら、**X** をクリックして、このウィンドウを閉じる。

ハウリング抑止

接続するマイクロホンによっては、マイクロホンのボリュームを最小にしてもハウリングを起こすことがあります。このようなときは、次の手順でマイクロホンのボリュームを調整してください。

「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「エンターテイメント」「ボリュームコントロール」をクリック。

「Volume Control」ウィンドウが表示されます。



メニューバーで「オプション」をクリックし、プルダウンメニューの「プロパティ」をクリック。

「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



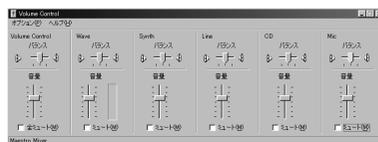
「音量の調整」の「再生」をクリック。

「Mic」のチェックボックスをチェックする。



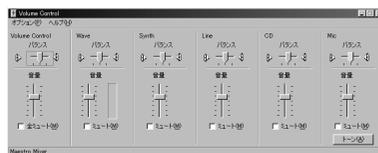
「OK」をクリック。

「Volume Control」ウィンドウが表示されます。



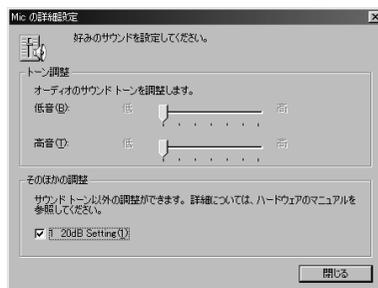
「オプション」「トーン調整」をクリック。

「トーン」ボタンが追加表示されます。



「トーン」をクリック。

「Micの詳細設定」ウィンドウが表示されます。



「そのほかの調整」の「20dB Setting」のチェックボックスのチェックを外す。

なお、本機では「トーン調整」は使えません。

設定が終わったら、「閉じる」をクリック。

「Volume Control」ウィンドウの画面に戻ります。

X をクリックして、ウィンドウを閉じる。
トーン調整が完了です。

サウンド全般についての注意

ボリュームコントロールを使用するときの注意

・ディスプレイの解像度が640×480ドットなどの低解像度の場合、「ボリュームコントロール」ですべての音源コントロールが表示されない、または右端の音源コントロールの表示が一部欠ける場合があります。

この場合には、ディスプレイの解像度を変更するか、「プロパティ」ウィンドウの「表示するコントロール」欄で、使用しない音源の選択を解除し、必要なコントロールが表示されるよう変更してください。

なお、「ボリュームコントロール」の表示が一部欠けた状態で解像度の切り替えを行っても、「ボリュームコントロール」の表示は変更されません。一度、「ボリュームコントロール」を終了し、もう一度「ボリュームコントロール」を起動してください。

・CDまたはTVの音を録音し、そのデータを再生したとき、音が小さく感じられる場合があります。これはCD/TVの録音の音量が、CD/TVの出力ボリュームの大きさに依存するためです。したがって、CDまたはTVの録音を行うときにはあらかじめ「ボリュームコントロール」を使用し、CD/TVの音量を大きくしておいてください。

サウンド機能を使用するときの注意

・本機では、本体内蔵のサウンド機能や周辺機器を増設して、Windows 98上でマルチメディア機能を利用することができます。

利用できるマルチメディアの各機能については次の通りです。

ウェブフォーム データの録音・再生	MIDIデータの演奏	MIDIデータの記録
----------------------	------------	------------

×

：本体内蔵のサウンド機能で利用することができます。

FAX モデム機能

本機に標準で内蔵されている FAX モデムには、ファクシミリ通信機能、データ通信機能などがあります。



参照

・AT コマンドについて 付録「AT コマンド」

概要

ここでは、FAX モデムの機能を説明します。

データ通信機能

本機にセットアップ/添付されている次のデータ通信ソフトウェアを使用することにより、インターネットやパソコン通信などのデータ通信を行うことができます。

- ・Microsoft Windows 98 のハイパーターミナル
- ・BIGLOBE インターネット接続ツール
- ・インターネット無料体験
- ・AOL
- ・ニフティサーブでインターネット
- ・インターネットエクスプローラ
- ・JustView 3.0 (一太郎モデルのみ)

その他のソフトウェアでは正常に動作しない可能性があります。

FAX 通信機能

本機のデータをダイレクトに FAX に送信できます。また、本機で FAX を受信でき、効率的に FAX 送受信をサポートします。

FAX モデムの FAX 通信機能は、本機にインストールされている次の FAX ソフトウェアでの動作を保証しています。

- ・FAX-NX

その他の FAX ソフトウェアでは正常に動作しない可能性があります。

FAX テスト交信サービス

「FAX-NX」を使用して、FAX の送受信のテストができます。



参照

- ・FAX-NX の使い方  「パソコン探検箱」-「使いこなそう VALUESTAR」-「FAX を送る、電話番号を調べる」

最高 56000bps までの各種通信

電話回線を利用して最高 56000bps の全二重データ通信と最高 14400bps の半二重 FAX 通信ができます。

送受信： 300/1200/2400/4800/7200
9600/12000/14400/16800
19200/21600/24000/26400
28800/31200/33600bps

受信のみ： 28000/29333/30666/32000
33333/34000/34666/36000
37333/38000/38666/40000
41333/42000/42666/44000
45333/46000/46666/48000
49333/50000/50666/52000
53333/54000/54666
56000bps

FAX： 300/2400/4800/7200/9600/
12000/14400bps

FAX モデムを使用するときの注意

適用電話回線について

本機の FAX モデムは、加入電話回線に適合するように設計されています。加入電話回線以外と接続すると、FAX モデムやパソコン本体等を破損する場合があります。

送信レベルについての注意

通常の電話回線を使用する場合、送信レベルは購入時の設定から変更する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場合は送信レベルの調整が必要な場合があります。送信レベルの調整は、認定された工事担当者以外が行うことは法律で禁じられていますので、送信レベルの調整については、当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

当社指定のサービス窓口の電話番号、受付時間については、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

通信するときの注意

- ・キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。キャッチホン というサービスを利用すれば、通信が切れることはありません。キャッチホン についてはNTTにご相談ください。
- ・FAX モデムのダイヤル信号は、ご使用になる加入電話回線のダイヤル信号に合わせた調整が必要です（付録「AT コマンド」）。加入電話回線がトーン式かダイヤル式かわからないときはNTT に確認してください。
- ・コードレスホンや親子電話、構内回線など、公衆回線以外の回線をご使用の場合は、正常なデータの送受信ができない場合があります。
- ・本機の FAX モデムは FAX 通信網には対応していません。
- ・FAX モデムに接続できる回線は 2 線式のみです。
- ・回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できないことや、接続しにくい場合があります。

・データ通信を行う場合、フロー制御はハードウェア (RTS/CTS X 購入時の設定) に設定してください。それ以外に設定するとデータ抜けが生じる可能性があります。

・K56flex および ITU-T V.90 の最大受信速度 56000bps は、理論値であり、加入電話回線での通信速度とは異なります。

・電話局の交換機の種類によっては、14400bps で FAX の通信ができないことがあります。この場合は通信速度を 9600bps 以下にしてください。

・海外と直接接続した場合、伝送路の特性のため正常に通信できない可能性があります。

■ ポート番号を変更する

購入時の状態では、内蔵 FAX モデムのポート番号は COM2 になっています。内蔵 FAX モデムのポート番号を変更する場合は、次の手順で COM3 に変更するようにしてください。

チェック!

「CyberTrio-NX」のモードが「ベーシックモード」の場合は、「アドバンストモード」に変更してから次の手順を行ってください。

参照

モードの変更 PART1「Windows 98 の利用環境の変更 < CyberTrio-NX >」

「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」「設定」「コントロールパネル」)

「システム」をダブルクリック。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「デバイスマネージャ」タブをクリック。
「デバイスマネージャ」タブのウィンドウが表示されず。

「モデム」をダブルクリックし、表示された「NEC Fax Modem 56K Data+Fax+Voice (ZUQC)」をクリック (反転表示)。

「プロパティ」をクリック。
「NEC Fax Modem 56K Data+Fax+Voice (ZUQC) のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「リソース」タブをクリック。

「自動設定を使う」のチェックボックスをはずす。

「リソースの種類」にある「I/Oの範囲」をダブルクリック。

「I/Oの範囲」は2項目あります。上の方(8バイト使用)を選択してください。

値を「03E8 - 03EF」に変更する。

チェック!

「デバイスの競合」ウィンドウが表示されたときは、「はい」をクリックしてください。

リソースが競合していないことを確認してください。競合している場合、そのポートへの変更はできません。

「OK」をクリック。

「NEC Fax Modem 56K Data+Fax+Voice (ZUQC)のプロパティ」ウィンドウに戻ります。

「OK」をクリック。

「変更不可の環境設定の作成」ウィンドウが表示されません。

「はい」をクリック。

しばらくすると、「システムのプロパティ」ウィンドウに戻ります。

「閉じる」をクリック。

Windows を再起動する。

コンピュータの再起動が始まります。

以上で、ポート番号の変更は終了です。

赤外線通信機能

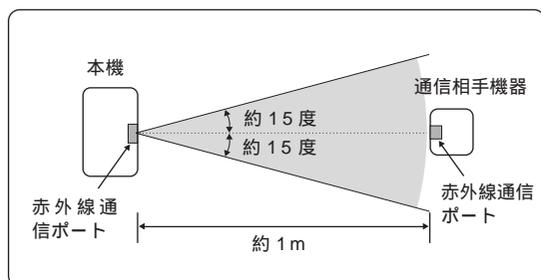
赤外線通信とは、パソコンとパソコンの間をケーブルで接続せずに赤外線でデータの交換を行う通信方法です。

概要

本機では、IrDA規格に準拠した通信速度4Mbpsまでの赤外線通信が可能です。

機器の配置について

赤外線通信を行う機器は次の範囲内に配置してください。( の範囲)



機器を配置するときの注意

- ・互いの機器の赤外線通信ポートが真正面に向き合うようにしてください。
- ・互いの機器の赤外線通信ポートの距離を約1m以内にしてください。
- ・赤外線通信ポートを汚したり、傷つけたりしないでください。
- ・通信相手機器と本機との間に赤外線を遮るような物を置かないでください。
- ・互いの機器どうしを接触させないでください。

✓チェック!!

- ・通信相手の赤外線が本機の赤外線通信ポートまで届かないときや通信相手機器の通信可能距離が本機より短い(本機の場合は約1m以内)ときは、通信相手の機器が本機の通信可能範囲にあっても通信できないことがあります。このようなときは、お互いの赤外線通信ポートを真正面に向き合わせて、できる限り近くに置いてください。このとき、お互いの装置が接触しないようにしてください。

次のようなときは通信可能距離が短くなってしまいますことがあります。

- ・直射日光や蛍光灯の直下。
- ・機器どうしが正しく向き合っていない。
- ・他の赤外線通信機器やノイズを発生する機器の近くにある。
- ・本機の赤外線通信ポートの指向性(約15度程度)の範囲を越えている。

赤外線通信機能を設定する

ご購入時は、赤外線通信ポートが無効になっています。次の手順に従って有効にしてください。ただし、APMモードに切り替えた場合は、次の手順は不要です。

✓チェック!!

「CyberTrio-NX」のモードが「ベーシックモード」の場合は、「アドバンスモード」に変更してから手順を行ってください。

📖参照

モードの変更 PART1「Windows 98 の利用環境の変更 < CyberTrio-NX >」

「スタート」「設定」「コントロールパネル」をクリック。

「システム」をダブルクリック。

「デバイスマネージャ」タブをクリック。

「ネットワークアダプタ」の左の「+」をクリック。

「NEC 4Mbps 内蔵赤外線ポート」をクリック(反転表示)。

「プロパティ」をクリック。

「デバイスを使用可能にする」をクリック。

「OK」をクリック。
「システムのプロパティ」ウィンドウに戻ります。

「閉じる」をクリック。

赤外線通信機能を使う

本機で赤外線通信機能を使うには、次の3つの方法があります。

- ・Intellisync
- ・赤外線転送
- ・ケーブル接続

Intellisync

Intellisync は赤外線通信やシリアルケーブルを使ってファイルの転送を行うツールです。赤外線やケーブルを使って、パソコンどうしでファイルのやりとりを簡単に行うことができます。

✓チェック!

- ・Intellisyncは購入時の状態ではセットアップされていません。Intellisyncを使うには「Intellisync」のCD-ROMを使って、本機にIntellisyncをセットアップしてください。
- ・Intellisyncの操作方法についてはオンラインヘルプをご覧ください。
- ・Intellisyncに添付のユーザマニュアルをご覧になるには、Acrobat Reader 3.0Jが必要です。Acrobat Reader 3.0Jを削除した場合は、「アプリケーションCD-ROM」を使って再追加してください。
- ・通信相手のパソコンとして、他のPC98-NXシリーズやPC-9800シリーズを使う場合は、相手のパソコンにIntellisyncをインストールする必要があります。
- ・赤外線転送とIntellisyncを同時に使うことはできません。

・「Intellisync」を他のPC-9800シリーズやPC98-NXシリーズのデスクトップパソコンにインストールし、赤外線インタフェースユニット(PC-9821-U03またはU03R)で赤外線接続する場合、デスクトップパソコン側のIntellisyncの「赤外線の設定」で、PC-9800シリーズでは「NEC Infrared Unit(PC9800)」を、PC98-NXシリーズでは「NEC Infrared Unit」を選んでください。

・赤外線インタフェースユニット(PC-9821-U03またはU03R)は、Windows NTでは使用できません。

・PC98-NXシリーズのWindows標準赤外線機能では、赤外線インタフェースユニット(PC-9821-U03またはU03R)は使用できません。

📖参照

- ・Intellisyncのセットアップ方法 PART3の「セットアップされていないアプリケーションの追加」
- ・Acrobat Reader 3.0Jの再追加方法 PART3の「削除したアプリケーションの再追加」

■ Intellisync エージェントを起動する

Intellisync エージェントを起動する。
(「スタート」「プログラム」「Intellisync」の「Intellisync エージェント」をクリック。)
「はじめに- Intellisync」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
「Intellisync」ウィンドウが表示されます。

The screenshot shows the Intellisync application window with several icons on the toolbar. Lines connect these icons to descriptive text boxes:

- ファイル転送** (File Transfer): パソコン間でファイルやディレクトリのコピー、移動を行います。
- 接続セットアップマネージャ** (Connection Setup Manager): システムや環境の設定を行います。
- シンクロナイズ** (Synchronize): シンクロナイズ同期。2つのファイルの比較、更新を行います。
- サービスセンター** (Service Center): サポート情報、技術資料、オンラインユーザー登録ができます。

■ 各パソコンの設定をする

パソコン間でデータのやりとりをするには、はじめに各パソコンで接続システムの設定を行います。

Intellisync エージェントを起動する。
(「スタート」「プログラム」「Intellisync」の「Intellisync エージェント」をクリック。)

Intellisync エージェントの「接続セットアップマネージャ」をクリック。

「はじめに-接続セットアップマネージャ」ウィンドウが表示されたら「閉じる」をクリックしてください。

「ローカルデバイス」タブをクリックし、デバイスを選択する。

「プロパティ」をクリック。

「プロパティ」ウィンドウで「接続可能にする」にチェックを付け、「OK」をクリック。

■ 赤外線 (IR) 接続設定する

本機に内蔵されている赤外線デバイスを使うときは、手順 から設定を行ってください。別売の赤外線デバイスを使うときは、次の手順で設定を行ってください。

COM ポートに赤外線デバイスを接続する。
詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。

二つのシステムの赤外線ポート (IR ポート) が向かい合うようにパソコンを設置する。

📖 参照

設置するときの注意 この PART の「赤外線通信機能」の「概要」

Intellisync エージェントを起動する。
(「スタート」「プログラム」「Intellisync」の「Intellisync エージェント」をクリック。)

「はじめに-Intellisync」ウィンドウが表示されたら「OK」をクリックしてください。

「接続セットアップマネージャ」をクリック。
「はじめに-接続セットアップマネージャ」ウィンドウが表示されたら「閉じる」をクリックしてください。

「ローカルデバイス」タブをクリック。

「赤外線デバイス」を右クリックし、「IR ウィザード」をクリック。

現在の設定が表示されたら「次へ」をクリック。

デバイスのリストから使用するデバイスを選び、「次へ」をクリック。

本機内蔵の赤外線デバイスを使うときは、「NEC FIR port model 01」を選んでください。別売の赤外線デバイスを使う場合で一覧にデバイス名がないときは「Generic」を選んでください。

ポートのリストから赤外線デバイスが接続されている COM ポートを選び、「次へ」をクリック。
ポートが一つの場合、表示されません。

ボーレートの一覧が表示されたら、ボーレートを選び、「次へ」をクリック。
ボーレートが一つの場合、表示されません。

設定内容が表示されるので、確認して「完了」をクリック。
「IR セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。

「OK」をクリック。

■ シリアルケーブル接続設定する

使用するパソコン両方に同じ設定をします。

COM ポート (シリアルポート) にシリアルケーブルを接続する。
ケーブルの長さは 6 m 以下にしてください。

Intellisync エージェントを起動する。
(「スタート」「プログラム」「Intellisync」の「Intellisync エージェント」をクリック。)

Intellisync エージェントの「接続セットアップマネージャ」をクリック。

「ローカルデバイス」タブをクリック。

シリアルケーブルの「+」をクリック。
COM ポートが表示されます。

「COM ポート」を選び、「プロパティ」をクリック。

「接続を可能にする」にチェックを付け、「OK」をクリック。

「OK」をクリック。

■ 接続状態のチェック

接続状態をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。

Intellisync エージェントを起動する。
(「スタート」「プログラム」「Intellisync」の「Intellisync エージェント」をクリック。)
「はじめに-Intellisync」ウィンドウが表示されたら「OK」をクリックしてください。

「接続セットアップマネージャ」をクリック。
「はじめに-接続セットアップマネージャ」ウィンドウが表示されたら「閉じる」をクリックしてください。

「ローカルデバイス」タブをクリック。

接続状態をチェックしたいデバイスの「+」をクリック。
表示されたマークで確認します。

マーク	マークの意味
	使用可能なポートがない
	接続設定が不可になっている
	他のパソコンと接続されていない(赤信号)
	接続中(黄信号)
	接続されている(青信号)

赤外線転送

赤外線転送を使うと、Windows 98 が実行されている2台のコンピュータで簡単にファイル転送ができます。赤外線転送を行うには、次の3つの方法があります。

■ 赤外線モニタ

赤外線モニタとは、赤外線通信の設定および監視をするプログラムです。赤外線転送を使うには、「赤外線モニタ」の設定が必要になります。赤外線モニタの設定方法と使い方については、赤外線モニタのヘルプを参照してください。赤外線モニタのヘルプはコントロールパネルにある「赤外線モニタ」をダブルクリックし、起動した「赤外線モニタ」の右下の「ヘルプ」ボタンをクリックします。また、チェックボックスなど「赤外線モニタ」ダイアログボックスの項目のヘルプは、項目を右クリックし、表示された「ヘルプ」を選択してください。

■ エクスプローラを使う

「スタート」「プログラム」「エクスプローラ」をクリック。

送信するファイルを表示する。

ファイルを選択し、右クリック。

「送る」「赤外線を受信側」をクリック。

■ ドラッグアンドドロップを使う

デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリック。

「スタート」「プログラム」「エクスプローラ」をクリック。

送信するファイルを表示する。

ファイルを選択し、「マイコンピュータ」の「赤外線を受信側」へドラッグアンドドロップ。

■ 赤外線転送のダイアログボックスを使う

デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリック。

「範囲内にある利用可能なデバイス」からファイルを送信する相手を選択する。

「ファイルの送信」をクリックし、送信するファイルを選択する。

ケーブル接続

ケーブル接続を使うと、シリアルケーブルを使用した接続だけでなく赤外線で他のコンピュータの共有フォルダにアクセスできます。ケーブル接続の使い方については、「スタート」「ヘルプ」をクリックし、目次から「アクセサリを使う」「通信」「ケーブル接続」を参照してください。

✓ チェック!

赤外線通信によるケーブル接続を行う場合は、使用するポートで仮想赤外線ポートを指定してください。仮想赤外線ポートは「赤外線モニタ」ダイアログボックスの「オプション」タブを開くと、アプリケーションをサポートしているポートとして表示されています。

CD-ROM の 取り扱い

本機にはCD-ROMドライブが標準で装備されています。各種ドライブで使用できるメディアの取り扱いについて説明します。

概要

- ・CD-ROMドライブ
本機には、CD-ROMドライブが標準で搭載されています。

本機のCD-ROMドライブでは、CD-ROMやCD-Rメディア、音楽CD、ビデオCDなどを読み取ることができます。CD-ROMは、1枚で大きな記憶容量を持ち、電子辞典などのような大量のデータを扱うことができます。

各種メディアの取り扱いの注意

■ ディスクの取り扱いの注意

ディスクを壊さないよう、次の点に注意して大切に取扱ってください。

- ・信号面(文字などが印刷されていない面)に手を触れないでください。
- ・ケースの中央を押しながら取り出してください。
- ・文字の書かれている面を上にして、ディスクトレイにていねいに置いてください。
- ・ディスクの上にもものをのせたり曲げたりしないでください。
- ・ラベルなどを貼らないでください。
- ・キズをつけたり字などを書いたりしないでください。
- ・落として強い衝撃を与えたり、キズをつけたりしないでください。

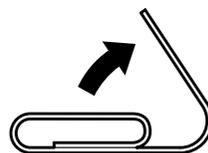
- ・指紋やホコリが付いたときは、乾いた柔らかい布で、内側から外側に向けて拭いてください。
- ・清掃の際は、CD専用のクリーナーを使用してください。
- ・レコード用のスプレー、クリーナー、ベンジン、シンナーなどは、使用しないでください。
- ・ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。
- ・直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くなど温度が高くなる場所に置かないでください。
- ・使用後は収納ケースへ入れるようにしてください。

非常時のメディアの出し方

停電やソフトウェアの暴走などにより、CD-ROMドライブからCD-ROMなどのメディアが取り出せなくなったときに、強制的にメディアを取り出す方法です。

取り出す準備

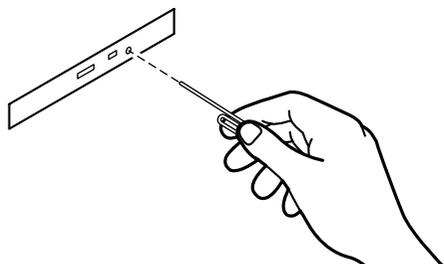
太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm以上(指でつまむ部分を除く)の針金を用意してください。
大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。



取り出す方法

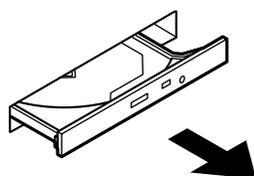
本機の電源を切る。

ディスクトレイの直径 2mm 程度の穴に、上記の「取り出す準備」で用意した針金を差し込み、強く押し込む。

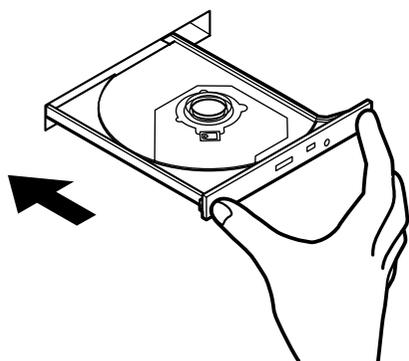


ディスクトレイが 15mm ほど飛び出します。

ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出す。



ディスクトレイの前面を、イジェクトボタンを押さないように注意しながら、ディスクトレイが元通りに収納されるまで押し込む。



PART

3

アプリケーションの追加と削除

セットアップされていないアプリケーションの追加
アプリケーションの削除
削除したアプリケーションの再追加

セットアップされていないアプリケーションの追加

本機には、あらかじめ、さまざまなアプリケーションがセットアップされていますが、それ以外にもセットアップされていないものがあります。それらを使用するときには、セットアップが必要です。

セットアップが必要なアプリケーションや機能

本機購入時にはセットアップされていないアプリケーションや機能のセットアップ方法を説明します。

ゲーム

次のゲームは、購入時は本機にセットアップされていません。使いたい場合は、別途セットアップする必要があります。セットアップ方法については、この項で説明します。

- ・AI将棋
- ・グローバルヘキサイト
- ・ソリティア デラックス
- ・競馬道 3



参照

ゲームの内容説明  「パソコン探検箱」 - 「VALUESTARを楽しもう」 - 「ゲームを楽しむ」

その他のセットアップが必要なアプリケーションや機能

次のアプリケーションや機能は、購入時には本機にはセットアップされていません。使いたい場合は、別途セットアップする必要があります。セットアップ方法については、この項で説明します。

- ・Intellisync
- ・ハローキティのハッピーメール
- ・テキストリーダ
- ・NIFTY MANAGER
- ・文豪 DP/LAN シリーズコンバータ

また、Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98(Wordモデルのみ)や一太郎9パック(一太郎モデルのみ)は、購入時の状態ですべての機能を利用できるわけではありません。詳しくは、後述の「Excel&Word&Outlookの機能をフルに使う(Wordモデルのみ)」もしくは「一太郎9パックの機能をフルに使う(一太郎モデルのみ)」をご覧ください。

セットアップする前に

セットアップする機能の概要を説明します。セットアップする前に、必要なことを確認してください。

機能の概要

- ・Intellisync
Intellisyncは赤外線通信やシリアルケーブルを使ってファイルの転送をおこなうツールです。Intellisyncの使い方は、PART2の「赤外線通信機能」をご覧ください。
- ・ハローキティのハッピーメール
インターネットを通して、用件を気軽に送受信できる電子メールソフトです。ハローキティのかわいい便箋を使ってメールを送信するなど、ちょっぴり遊び心のあるソフトです。
- ・テキストリーダ
文章(テキストデータ)を音声で読み上げてくれるソフトです。入力した文章を耳で聞いて確認したい場合などに便利です。
- ・NIFTY MANAGER
インターネット接続およびパソコン通信サービス「NIFTY SERVE」にアクセスして、NIFTY SERVEのさまざまなサービスを利用することができます。

・文豪 DP/LAN シリーズコンバータ
次のファイルを一太郎 8 または三四郎 8 のファイル形式に変換することができます。

- ・ NEC 文豪 DP-WORD/LANWORD の文書を一太郎 8 の文書に変換
- ・ NEC 文豪 DP-CARD+/LANFILE のファイルを三四郎 8 のファイルに変換
- ・ NEC 文豪 DP-PLAN/LANPLAN/G のファイルを三四郎 8 のファイルに変換
- ・ NECAIIME (NECAI かな漢字変換) 学習単語を ATOK 11 登録形式に変換

✓ チェック!

・文豪 DP/LAN シリーズコンバータは、文豪ミニシリーズ、文豪 JX シリーズの文書を変換することはできません。

・操作の説明や変換における制限事項などについては、本機添付の「アプリケーション CD-ROM」の次のファイルをご覧ください。
< CD-ROM ドライブ名 > : ¥ Dpconv ¥ 説明書 .jtd
(一太郎 8 形式文書)

・文豪 DP/LAN シリーズコンバータを使用するには、一太郎 8 以上、または三四郎 8 以上のソフトウェアが必要です。

上記の機能の中に、使いたい機能がある場合は、以降の「セットアップする」をご覧ください。

セットアップする

AI 将棋のセットアップ

CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ-NX」「ユーティリティ」「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」「設定」「コントロールパネル」「アプリケーションの追加と削除」)
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。
「フロッピーディスクまたは CD-ROM からのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

「インストール プログラムのコマンドライン」が「< CD-ROM ドライブ名 > : ¥ NSETUP.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROM ドライブ名 > は通常は、< Q > です。

「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「AI 将棋 Ver.1.5R」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
AI 将棋の画面が表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。インストール先を変更する場合は「参照」をクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」をクリックしてください。

インストール先ディレクトリが決まったら、「次へ」をクリック。

インストールが始まります。
しばらくして「ショートカットの作成」ウィンドウが表示されます。

「作成する」のチェックボックスにチェックをつけると、ショートカットがデスクトップに作成され、そのアイコンをダブルクリックするだけで、すぐにゲームを始めることができます。

作成するかしないかを決めて、「次へ」をクリック。
インストールが終了すると「お読みくださいの表示」ウィンドウが表示されます。

「「お読みください」を開く」をクリック。
Readme が表示されます。
ゲームの前にお読みください。

グローバル ヘキササイトのセットアップ

CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ-NX」「ユーティリティ」「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」「設定」「コントロールパネル」「アプリケーションの追加と削除」)

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。
「インストール プログラムのコマンドライン」が「< CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROMドライブ名>は通常は、< Q >です。

「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「グローバル ヘキサイト」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「GLOBAL HEXCITE インストーラー」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は、インストール先ディレクトリを選んでください。

インストールディレクトリが決まったら、「OK」をクリック。
インストールが始まります。
しばらくすると、インストールが自動的に終了します。

ソリティア デラックスのセットアップ

CD-ROMドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ-NX」「ユーティリティ」「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」「設定」「コントロールパネル」「アプリケーションの追加と削除」)
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。
「インストール プログラムのコマンドライン」が「< CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROMドライブ名>は通常は、< Q >です。

「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「ソリティア デラックス」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
しばらくして「Setup」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は「参照」をクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」をクリックしてください。

インストール先ディレクトリが決まったら、「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

インストールが終了すると「セットアップが完了しました」のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。

競馬道 3 のセットアップ

CD-ROMドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ-NX」「ユーティリティ」「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」「設定」「コントロールパネル」「アプリケーションの追加と削除」)
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。
「インストールプログラムのコマンドライン」が「< CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROMドライブ名>は通常は、< Q >です。

「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「競馬道 3」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
 インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」をクリックしてください。

インストール先ディレクトリが決まったら、「次へ」をクリック。
 「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。プログラムフォルダを変更するときは「プログラムフォルダ」欄に入力してください。

「次へ」をクリック。
 インストールが始まります。
 これでインストールは完了です。

Intellisync のセットアップ

「Intellisync」の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、「スタート」「ファイル名を指定して実行」をクリック。

「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。

「名前」に次のように入力する。
 Q:¥DISK1 ¥SETUP.EXE

「OK」をクリック。
 「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 「製品ライセンス契約」ウィンドウが表示されます。

契約に同意の上、「はい」をクリック。
 「ユーザの情報」ウィンドウが表示されます。

「名前」と「会社名」を入力して「次へ」をクリック。
 (「会社名」を入力したくない(空白としたい)場合は、入力欄に全角スペースを入力してください)
 「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 「セットアップ方法」ウィンドウが表示されます。

「標準」を選択して、「次へ」をクリック。
 「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 インストールが始まります。
 しばらくすると、「スタートアップグループに Intellisync を追加しますか?」と表示されます。

「いいえ」をクリック。
 「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック。
 「赤外線の設定 - 現在のデバイス」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 「赤外線の設定 - デバイスの選択」ウィンドウが表示されます。

「NEC FIR port model 01」を選択して、「次へ」をクリック。
 「赤外線セットアップ - ボーレート最大値を選択」ウィンドウが表示されます。

4000000 を選択して「次へ」をクリック。
 「赤外線の設定 - 現在のデバイス」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック。
 「IR セットアップ」ウィザードが表示されます。

「OK」をクリック。
 「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認して、「完了」をクリック。
 Windows 98 が再起動します。

これでセットアップは終了です。

ハローキティのハッピーメールのセットアップ

CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
 (「ランチ-NX」「ユーティリティ」「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」「設定」「コントロールパネル」「アプリケーションの追加と削除」)

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。
 「フロッピーディスクまたは CD-ROM からのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 「インストール プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

「インストール プログラムのコマンドライン」が「< CD-ROM ドライブ名 > :¥NSETUP.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROM ドライブ名 > は通常は、< Q > です。

「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「ハローキティのハッピーメール」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は「参照」をクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」をクリックしてください。

インストール先ディレクトリが決まったら、「次へ」をクリック。
「メール格納ディレクトリの指定」ウィンドウが表示されます。
メールを格納するディレクトリを変更する場合は「参照」をクリックし、メールを格納するディレクトリを選んで、「OK」をクリックしてください。

「次へ」をクリック。
「ディレクトリXXXXXは存在しません。ディレクトリを作成しますか?」と表示された場合は「はい」をクリックしてください。
「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると、「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック。
これでインストールは完了です。

テキストリーダのセットアップ

CD-ROMドライブに本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ-NX」「ユーティリティ」「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」「設定」「コントロールパネル」「アプリケーションの追加と削除」)

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストールプログラムの実行」ウィンドウが表示されます。
「インストールプログラムのコマンドライン」欄が、「< CD-ROMドライブ名> : ¥NSETUP.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROMドライブ名>は通常は< Q >です。

確認したら、「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「テキストリーダ」をクリック。
「テキストリーダ」が反転表示になります。

「OK」をクリック。
「ようこそ! テキストリーダの世界へ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
通常は、あらかじめ設定されたインストール先を変更する必要はありません。インストール先を変更したいときは、「参照」をクリックします。

「次へ」をクリック。
「Folder Selection」ウィンドウが表示されます。
通常は、あらかじめ設定されたプログラムアイコンの登録先フォルダを変更する必要はありません。プログラムアイコンの登録先フォルダを変更したいときは、「既存のフォルダ」より選ぶか、直接「プログラムフォルダ」に登録するフォルダ名を入力します。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると「情報」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

NIFTY MANAGERのセットアップ

本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする。

「ニフティサーブでインターネット」を起動する。
(「スタート」「プログラム」「ニフティサーブ」「ニフティサーブでインターネット」)
ニフティサーブでインターネットセットアッププログラムが起動します。

「会員のかた」をクリック。

「ニフティマネージャーのインストール」をクリック。
「NIFTY MANAGER のインストール」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「NIFTY MANAGER 利用規約」ウィンドウが表示されます。
重要なことが記載されています。よくお読みください。

「はい」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」をクリックしてください。

「次へ」をクリック。
「情報を引き継ぎますか？」という内容のメッセージが表示されたときは、「いいえ」をクリックしてください。

インストールが始まります。
インストールが終了すると、「デスクトップにNIFTY MANAGER for Windows のショートカットを置きますか？」のメッセージが表示されます。

「いいえ」をクリック。
「README ファイルを読みますか？」と表示されます。
読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリックします。ここで読まなくても後でゆっくり読むこともできます。

「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」をクリック。

「セットアップを完了するにはシステムを再起動する必要があります。再起動しますか？」と表示されたら「はい」をクリック。
これでインストールは完了です。

チェック!

NIFTY MANAGER をインストールすると、「コントロールパネル」の「アプリケーション」の「アプリケーションの追加と削除」の一覧に「Data Access Objects (DAO) 3.5」が追加されますが、削除しないでください。DAOを削除すると、他のアプリケーションでヘルプを使用できなくなる場合があります。

文豪 DP/LAN シリーズコンバータのセットアップ

CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ-NX」「ユーティリティ」「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」「設定」「コントロールパネル」「アプリケーションの追加と削除」)
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。
「フロッピーディスクまたは CD-ROM からのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストールプログラムの実行」ウィンドウが表示されます。「インストールプログラムのコマンドライン」が「< CD-ROM ドライブ名 >:¥NSETUP.EXE」になっていることを確認します。
< CD-ROM ドライブ名 > は通常は、< Q > です。

「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「文豪 DP/LAN シリーズコンバータ」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「次へ」をクリック。
お使いのコンピュータの機種を選択する画面が表示されます。

「PC98-NXシリーズ」を選択し、「次へ」をクリック。
インストールを選択する画面が表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」をクリックしてください。

インストール先ディレクトリが決まったら、「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると、「セットアップが完了しました。」と表示されます。

「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認し、「OK」をクリック。
自動的に再起動します。
これでインストールは完了です。

Excel&Word&Outlookの機能をフルに使う(Wordモデルのみ)

本機にセットアップされている「Microsoft Word 98」¹、「Microsoft Excel 97」²、「Microsoft Outlook 98」は、「標準セットアップ」でセットアップされており、購入時の状態ですべての機能を利用できるわけではありません。

■「標準セットアップ」以外の機能を使用する

「標準セットアップ」以外の機能を使用したい場合は、添付の「Microsoft Excel 97&Word 98&Outlook 98 for Windows」CD-ROMから追加してください。追加の方法については、「Excel 97&Word 98&Outlook 98」添付のマニュアルをご覧ください。

バリューパックを使う

「バリューパック」には、「Excel&Word&Outlook」をより便利に使う機能があります。「バリューパック」は購入時にはセットアップされていません。使用したい場合は、別途セットアップが必要です。

「バリューパック」のセットアップ方法については、「Excel 97&Word 98&Outlook 98」添付のマニュアルをご覧ください。

Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic 2.0を使う

「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic 2.0」はCD-ROMに入った辞書です。国語辞典、英和辞典、和英辞典の3種類の辞書を1枚のCD-ROMに収めており、言葉に関するさまざまな情報を得ることができます。

添付の「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic 2.0」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、セットアップを行ってから使用してください。セットアップ方法については、CD-ROM添付のマニュアルをご覧ください。

一太郎9パックの機能をフルに使う(一太郎モデルのみ)

本機にセットアップされている「一太郎9パック」は、「標準」でセットアップされており、購入時の状態ですべての機能を利用できるわけではありません。購入時の状態で使用できる機能については、『一太郎9パックセットアップ』の「各セットアップ方法でコピーされる機能について」をご覧ください。

■「標準」以外の機能を使用する

「標準」以外の機能を使用したい場合は、添付の「一太郎9パック CD-ROM」から追加してください。追加の方法については、『一太郎9パックセットアップ』の「アプリケーション追加・削除を利用します」をご覧ください。

アプリケーションの削除

本機に標準で添付されているアプリケーションの削除の方法について説明します。

概要

ここで説明するのは、本機に標準でインストールまたは添付されているアプリケーションの削除方法です。購入後に、ご自分でインストールされたアプリケーションの削除方法については説明していませんので、アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。

次のような場合にアプリケーションを削除してください。

- ・ハードディスクの空き容量を増やしたい場合
- ・通常使わないアプリケーションがある場合

アプリケーションを削除するときの注意

- ・削除の際、アプリケーションが表示するメッセージや画面が他のウィンドウに隠れる場合があります。このような場合は、他のウィンドウを最小化して、メッセージや画面を表示させてください。
- ・アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」「共有コンポーネント」などのウィンドウが表示される場合があります。このようなウィンドウは、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われるファイルを削除しようとしたときに表示されます。このようなウィンドウが表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」などを選んで、ファイルを削除しないようにしてください。
- ・「Adobe Acrobat Reader 3.0J」は、「パソコン探検箱」や「PictureStudio Light」。「駅すばあと」のPDF形式のオンラインドキュメントを読むために必要ですので、「パソコン探検箱」や「PictureStudio Light」。「駅すばあと」。「Voice ATOK for SmartVoice」を使用する場合は、削除しないようにしてください。

・「ランチ-NX」をそのまま使用する場合(「ランチ-NX」を削除しない場合)に、「ランチ-NX」のグループに表示されているアプリケーションを削除しても、「ランチ-NX」のグループにはアイコンが残ります。この場合、「ランチ-NX」に残ったそれぞれのアイコンを削除してください。削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

・アプリケーションによっては、削除したときに、一部のフォルダおよびデスクトップやスタートメニューのショートカットのアイコンが残ることがあります。この状態でも本機を操作する上では支障はありませんが、アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。

・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で、アプリケーションを選んで「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断した場合でも、そのままではアプリケーションを使用できない場合があります。その際には本機を再起動した後、アプリケーションを使用してください。

・RealPlayer 4.0は削除しないようにしてください。

削除の方法について

削除の方法は、アプリケーションによって異なります。

■ コントロールパネルを使って削除するアプリケーション 次のアプリケーションが削除できます。手順については「アプリケーションの追加と削除」を使って削除する」をご覧ください。

- ・Adobe Acrobat Reader 3.0J
- ・AI将棋
- ・AOL
- ・BIGLOBEインターネット接続ツール
- ・CDランチ
- ・CyberCoach-NX
- ・CyberTrio-NX
- ・CyberWarner-NX
- ・FAX-NX
- ・Hatch inside
- ・Intellisync
- ・MAGIC FLIGHT

- ・MapPlayer-NX
- ・Microsoft Speech API 3.0
- ・NEC 音声合成エンジン 3.0
- ・NEC 音声認識エンジン 3.0
- ・NIFTY MANAGER
- ・PictureStudio Light
- ・SmartVoice
- ・ThumbsStudio
- ・Timer-NX
- ・VirusScan
- ・VoiceATOK for SmartVoice(一太郎モデルのみ)
- ・アルバム工房 Light
- ・インターネット無料体験
- ・カラオケキング
- ・ジェットサーファー
- ・ソリティア デラックス
- ・テキストリーダ
- ・てきばき家計簿mam 2 Plus
- ・ニフティサーブでインターネット
- ・パソコン大学一年生 for 一太郎 9/三四郎 8(一太郎モデルのみ)
- ・パソコン大学一年生 for Word 98/Excel 97(Wordモデルのみ)
- ・パソコン大学一年生 for Windows 98
- ・パソコン探検箱
- ・ハローキティのハッピーメール
- ・プレーヤ-NX
- ・ランチ-NX
- ・一太郎 9 パック(一太郎モデルのみ)
- ・駅すばあと
- ・競馬道 3
- ・筆ぐるめ Version 6.0 for Windows
- ・文豪 DP/LAN シリーズコンバータ
- ・翻訳アダプタ CROSSROAD

■ CD-ROM を使って削除するアプリケーション
次のアプリケーションを削除できます。手順については「CD-ROM を使って削除する」をご覧ください。

- ・Microsoft Outlook 98(Wordモデルのみ)
- ・Microsoft Draw 98(Wordモデルのみ)
- ・Microsoft Word 98(Wordモデルのみ)
- ・Microsoft Excel 97(Wordモデルのみ)
- ・Angel Line for Windows

■ アプリケーションのアンインストール機能を使うもの
次のアプリケーションを削除できます。手順については「アンインストール機能を使って削除する」をご覧ください。

- ・インターネットアクセスマネージャ
- ・グローバルヘキサイト
- ・ホームページスクラップブック

ランチ-NXのショートカットアイコンの削除

ここでは、例として「ユーティリティ」グループの「ペイント」を削除します。

「ランチ-NX」ウィンドウのをクリック。
「ランチ-NXの設定」ウィンドウが表示されます。

「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

「編集」タブの「編集方法」で、「マウスのドラッグ&ドロップ操作による編集」のチェックボックスにチェックをつける。

「OK」をクリック。

「ランチ-NX」ウィンドウで削除したいアプリケーション起動ボタンがあるグループボタン(例「ユーティリティ」グループ)をクリック。

「ランチ-NX」ウィンドウで削除したいアプリケーション起動ボタン(例「ペイント」)をドラッグ&ドロップでデスクトップ画面の「ごみ箱」アイコンまで移動する。

「ファイルの削除の確認」ウィンドウが表示されます。

「はい」をクリック。
これで「ペイント」起動ボタンが削除されます。

「アプリケーションの追加と削除」を使って削除する

削除の準備（ランチ-NXを使う場合）

✓チェック!!

「ランチ-NX」の「アプリケーションの追加と削除」を使って削除するには、まず次の手順を行ってください。

「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループにある「アプリケーションの追加と削除」をクリック。



「インストールと削除」タブのウィンドウが表示されていることを確認する。



このウィンドウで、削除したいアプリケーションをクリックして、「追加と削除」をクリックするとアプリケーションの削除ができます。

削除の準備（コントロールパネルを使う場合）

✓チェック!!

「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」を使って削除するには、まず次の手順を行ってください。

「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」「設定」「コントロールパネル」）

「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストールと削除」タブのウィンドウが表示されていることを確認する。
このウィンドウで、削除したいアプリケーションをクリックして、「追加と削除」をクリックするとアプリケーションの削除ができます。

Adobe Acrobat Reader 3.0Jの削除

次の手順で「Adobe Acrobat Reader 3.0J」を削除します。

✓チェック!!

「Adobe Acrobat Reader 3.0J」は、「パソコン探検箱」や「PictureStudio Light」や「駅すばあと」や「VoiceATOK for SmartVoice」のPDF形式のオンラインドキュメントを読むために必要です。「パソコン探検箱」や「PictureStudio Light」や「駅すばあと」や「VoiceATOK for SmartVoice」を使用する場合は、「Adobe Acrobat Reader 3.0J」を削除しないでください。

このページの「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリック。
「Adobe Acrobat Reader 3.0J」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

AI 将棋の削除

次の手順で「AI将棋」を削除します。

✓チェック!

「AI将棋」は購入時の状態では本機にセットアップされていません。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「AI将棋 Ver.1.5R」をクリック。

「AI将棋 Ver.1.5R」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

✓チェック!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

AOLの削除

次の手順で「AOL」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「AOL」をクリック。

「AOL」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「AOL for Windows アンインストーラー」ウィンドウが表示されます。

「標準モード」のチェックマークをはずす。

「OK」をクリック。

「AOL for Windows がシステム内で見つかりました。」と表示されます。

「C:\¥Aol301¥AOL.EXE」をクリック(反転表示)する。

「削除」をクリック。

「最新のAOLが選択されました。削除してもよろしいですか?」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

削除が始まります。削除が終了すると、「AOLの削除は正常に終了しました。」のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。

再起動を促すメッセージが表示された場合は「再起動」をクリック。

Windowsが再起動します。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「AOLで簡単インターネット」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

BIGLOBE インターネット接続ツールの削除

次の手順で「BIGLOBE インターネット接続ツール」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「BIGLOBEインターネット接続ツール」をクリック。

「BIGLOBEインターネット接続ツール」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「アンインストールオプション」の画面が表示されません。

「自動アンインストール」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリック。

「アンインストール開始」の画面が表示されます。

「アンインストール」をクリック。

自動的に削除されます。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「BIGLOBE 接続ツール」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

CD ランチの削除

次の手順で「CD ランチ」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「CD ランチ」をクリック。

「CD ランチ」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

CyberCoach-NX の削除

次の手順で「CyberCoach-NX」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「CyberCoach-NX」をクリック。

「CyberCoach-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループと「スタディ&ヘルプ」グループに残った「CyberCoach-NX（操作レッスン）」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

CyberTrio-NX の削除

「CyberTrio-NX」は「ベーシックモード」、「キッズモード」からは削除できません。

削除する前に、「アドバンスモード」へ変更してください。

「アドバンスモード」への変更のしかたについては、PART1「Windows 98の利用環境の変更 CyberTrio-NX」をご覧ください。

次の手順で「CyberTrio-NX」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「CyberTrio-NX」をクリック。

「CyberTrio-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残った「CyberTrio-NX（利用者モード）」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

CyberWarner-NX の削除

次の手順で「CyberWarner-NX」を削除します。

「CyberWarner-NX」を使用中の場合は、終了させる。タスクバーにあるをクリックして、「終了」をクリックします。

「CyberWarner-NXのシャットダウン」ウィンドウが表示されるので、「はい」をクリックしてください。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「CyberWarner-NX」をクリック。

「CyberWarner-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。終了すると「アンインストールを有効にするために再起動する必要があります。」と表示されます。

「OK」をクリック
Windows が再起動します。

FAX-NX の削除

次の手順で「FAX-NX」を削除します。

p.75 の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「FAX-NX」をクリック。
「FAX-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「FAX-NX(FAX)」のアイコンを削除してください。
ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

Hatch inside の削除

次の手順で「Hatch inside」を削除します。

p.75 の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「Hatch inside 2.1」をクリック。
「Hatch inside 2.1」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「関連するウィンドウは一旦終了しますので、必要なデータをセーブしてください!」と表示されます。

「OK」をクリック。
「ハッチインサイド(hatchinside)と関連するファイルを全部削除してもよろしいでしょうか？」のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。
「作業は完了しました、有り難うございます!」と表示されます。

「OK」をクリック。

Intellisync の削除

次の手順で「Intellisync」を削除します。

✓チェック!!

「Intellisync」は、購入時の状態では本機にセットアップされていません。

p.75 の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「Intellisync」をクリック。
「Intellisync」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「Intellisync」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。削除が終了すると、「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

✓チェック!!

「ランチ-NX」からの問い合わせウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

MAGIC FLIGHT の削除

次の手順で「MAGIC FLIGHT」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「MAGIC FLIGHT」をクリック。

「MAGIC FLIGHT」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

「共有ファイルを削除しますか？」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックします。

終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「スタディ&ヘルプ」グループに残った「MAGIC FLIGHT(タイプレックス)」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

MapPlayer-NX の削除

次の手順で「MapPlayer-NX」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「MapPlayer-NX」をクリック。

「MapPlayer-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか？」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「MapPlayer-NX(カーナビCD)」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

Microsoft Speech API 3.0 の削除

次の手順で「Microsoft Speech API 3.0」を削除します。

✔ チェック!!

「Microsoft Speech API 3.0」は「SmartVoice」や「VoiceATOK for SmartVoice(一太郎モデルのみ)」などのVoice対応アプリケーションを利用するために必要です。

「SmartVoice」や「VoiceATOK for SmartVoice(一太郎モデルのみ)」などのVoice対応アプリケーションを使用する場合は、「Microsoft Speech API 3.0」を削除しないでください。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「Microsoft Speech API 3.0」をクリック。

「Microsoft Speech API 3.0」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「Are you sure you want to remove the Speech API? It will prevent speech recognition and test-to-speech from working.」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

「Microsoft Speech API successfully removed.」と表示されます。

「OK」をクリック。

NEC 音声合成エンジン 3.0 の削除

次の手順で「NEC音声合成エンジン 3.0」を削除します。

チェック!!

「NEC 音声合成エンジン 3.0」は「SmartVoice」や「VoiceATOK for SmartVoice (一太郎モデルのみ)」などの Voice 対応アプリケーションを利用するために必要です。

「SmartVoice」や「VoiceATOK for SmartVoice (一太郎モデルのみ)」などの Voice 対応アプリケーションを使用する場合は、「NEC 音声合成エンジン 3.0」を削除しないでください。

p.75 の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「NEC 音声合成エンジン 3.0」をクリック。「NEC 音声合成エンジン 3.0」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「NEC 音声合成エンジン 3.0」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

チェック!!

「NEC音声合成エンジン 3.0」を使用しているアプリケーションが存在する場合は、アンインストールを警告するメッセージが表示されます。この場合は、「キャンセル」をクリックしてアンインストールを中止し、「NEC音声合成エンジン 3.0」を利用しているアプリケーションを先に削除してください。

「OK」をクリック。

NEC 音声認識エンジン 3.0 の削除

次の手順で「NEC音声認識エンジン 3.0」を削除します。

チェック!!

「NEC 音声認識エンジン 3.0」は「SmartVoice」や「VoiceATOK for SmartVoice (一太郎モデルのみ)」などの Voice 対応アプリケーションを利用するために必要です。

「SmartVoice」や「VoiceATOK for SmartVoice (一太郎モデルのみ)」などの Voice 対応アプリケーションを使用する場合は、「NEC 音声認識エンジン 3.0」を削除しないでください。

p.75 の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「NEC 音声認識エンジン 3.0」をクリック。「NEC 音声認識エンジン 3.0」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「NEC 音声認識エンジン 3.0」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。

終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

チェック!!

「NEC音声認識エンジン 3.0」を使用しているアプリケーションが存在する場合は、アンインストールを警告するメッセージが表示されます。この場合は、「キャンセル」をクリックしてアンインストールを中止し、「NEC音声認識エンジン 3.0」を利用しているアプリケーションを先に削除してください。

「OK」をクリック。

NIFTY MANAGER の削除

次の手順で「NIFTY MANAGER」を削除します。

チェック!!

「NIFTY MANAGER」は、購入時の状態では本機にセットアップされていません。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「NIFTY MANAGER for Windows Ver4.70」をクリック。

反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「NIFTY MANAGERを再インストールした場合のために登録情報を保存しておきますか？」と表示された場合は「はい」をクリックしてください。

削除が終了すると、「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

チェック!!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

PictureStudio Light の削除

次の手順で「PictureStudio Light」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「PictureStudio Light」をクリック。

「PictureStudio Light」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。

終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「PictureStudio Light」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

SmartVoice の削除

次の手順で「SmartVoice」を削除します。

チェック!!

「SmartVoice」は、「VoiceATOK for SmartVoice」などのVoice対応アプリケーションを利用するために必要です。「VoiceATOK for SmartVoice」などのVoice対応アプリケーションを使用する場合は、「SmartVoice」を削除しないでください。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「SmartVoice」をクリック。

「SmartVoice」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「SmartVoice」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。

終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

ThumbsStudio の削除

次の手順で「ThumbsStudio」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「ThumbsStudio」をクリック。

「ThumbsStudio」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除がはじまります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「ThumbsStudio(画像一覧)」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

Timer-NX の削除

次の手順で「Timer-NX」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「Timer-NX」をクリック。
「Timer-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「Timer-NXとそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有コンポーネント」ウィンドウが表示された場合は「すべて残す」をクリックしてください。
「アプリケーションの削除」ウィンドウが表示されたら、すべて「OK」をクリックします。
終了すると「削除されました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残った「Timer-NX(スケジューラ)」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

VirusScan の削除

次の手順で「VirusScan」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「McAfee VirusScan v4.0.0(プレインストール版)」をクリック。
「McAfee VirusScan v4.0.0(プレインストール版)」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「McAfee VirusScanの削除が選択されました。本当にMcAfee VirusScanを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。

削除が終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

「スタート」「Windowsの終了」「再起動する」
「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残った「VirusScan(ウイルスチェッカー)」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

VoiceATOK for SmartVoice の削除(一太郎モデルのみ)

次の手順で「VoiceATOK for SmartVoice」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリック。

「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
セットアップするアプリケーションを選択する画面が表示されます。

✓チェック!

すでに太郎9バックを削除しているときなどは、この画面が表示されないこともあります。

一覧から「VoiceATOK for SmartVoice」をクリック。
「VoiceATOKのセットアップ開始」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「VoiceATOKの追加と削除」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「ファイルの追加・削除」ウィンドウが表示されます。

「ファイルの削除」をチェックして「次へ」をクリック。
「削除するファイルの詳細選択」ウィンドウが表示されます。

「全て選択」をクリックして「次へ」をクリック。
「フォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!

・「ATOK12を削除するとVoiceATOKが使用できなくなります」のメッセージが表示されることがあります。この場合は、「確認」をクリックしてから表示される「削除するファイルの詳細選択」ウィンドウでVoiceATOKもクリックして削除対象に選択してください。

・ATOK12を使用する場合は、「削除するファイルの詳細選択」ウィンドウで「ATOK12」をクリックして削除対象からはずしてください。

・「ATOK12やWindowsや他のアプリケーションが使用しているため、コンピュータを再起動するときに削除されます。」と表示された場合は、「OK」をクリックしてください。

「次へ」をクリック。
「ファイルの削除開始」ウィンドウが表示されます。

「削除開始」をクリック。
ファイルの削除が始まります。
ファイルの削除が終了すると、「VoiceATOKのセットアップ終了」ウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック。
Windowsが再起動します。

アルバム工房 Light の削除

次の手順で「アルバム工房 Light」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「アルバム工房 Light」をクリック。
「アルバム工房 Light」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「アルバム工房 Light」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

インターネット無料体験の削除

次の手順で「インターネット無料体験」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「インターネット無料体験」をクリック。
「インターネット無料体験」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「インターネット無料体験」とそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

カラオケキングの削除

次の手順で「カラオケキング」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「カラオケキング」をクリック。
「カラオケキング」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」ウィンドウが表示された場合は、「すべていいえ」をクリックします。
終了すると、「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

チェック!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ホーム&ゲーム」グループに残った「カラオケキング」のアイコンを削除してください。
ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

ジェットサーファ어의削除

次の手順で「ジェットサーファー」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「ジェットサーファー Ver1.5」をクリック。
「ジェットサーファー Ver1.5」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「ジェットサーファー」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

チェック!

アンインストールはインストールしたファイルの削除のみを行います。したがって、「ジェットサーファー」を使用して作成された「お気に入り」などの情報・ファイルは削除されません。これらのファイルを削除する場合は、Windows 98の「エクスプローラ」で「ジェットサーファー」がインストールされている「C:\Program Files\JetSurfer」のフォルダごと削除してください。

ソリティア デラックスの削除

次の手順で「ソリティア デラックス」を削除します。

チェック!

「ソリティア デラックス」は購入時の状態では本機にセットアップされていません。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「ソリティアデラックス」をクリック。
「ソリティアデラックス」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

✔チェック!!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

テキストリーダーの削除

次の手順で「テキストリーダー」を削除します。

✔チェック!!

「テキストリーダー」は購入時の状態では本機にセットアップされていません。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から、「テキストリーダー」をクリック。
「テキストリーダー」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると、「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

✔チェック!!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

てきばき家計簿mam 2 Plusの削除

次の手順で「てきばき家計簿mam 2 Plus」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「てきばき家計簿mam 2 Plus」をクリック。
「てきばき家計簿mam 2 Plus」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「てきばき家計簿mam 2 Plusとそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有コンポーネント」ウィンドウが表示された場合は「全て残す」をクリックしてください。
終了すると「削除されました。」と表示されます。

✔チェック!!

・「ディレクトリ' C:\Program Files\Common Files\Microsoft Shared\DAO」を削除できません。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。

・「ディレクトリ' C:\Program Files\Mam2」を削除できません。」と表示されたら、「OK」をクリックしてください。

・「いくつかのコンポーネントを削除できませんでした。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。

「OK」をクリック。

■ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「てきばき家計簿mam 2」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

ニフティサーブでインターネットの削除

次の手順で「ニフティサーブでインターネット」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「ニフティサーブでインターネット」をクリック。
「ニフティサーブでインターネット」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「ニフティサーブでインターネット」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

パソコン大学一年生 for 一太郎 9/三四郎 8(一太郎モデルのみ) パソコン大学一年生 for Word 98/Excel 97(Word モデルのみ)の削除

次の手順で「パソコン大学一年生」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から、一太郎モデルの場合は「パソコン大学一年生 for 一太郎 9/三四郎 8」を、Wordモデルの場合は「パソコン大学一年生 for Word 98/Excel 97」をクリック。

「追加と削除」をクリック。

一太郎モデルの場合は、「パソコン大学一年生 for 一太郎 9/三四郎 8とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」、Wordモデルの場合は「パソコン大学一年生 for Word 98/Excel 97とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。終了すると「削除されました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「スタディ&ヘルプ」グループに残ったアイコンを削除するには、次のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

・お使いの機種が一太郎モデルの場合

「スタディ&ヘルプ」グループの「一年生 一太郎 9」
「スタディ&ヘルプ」グループの「一年生 三四郎 8」

・お使いの機種がWordモデルの場合

「スタディ&ヘルプ」グループの「一年生 Excel 97」
「スタディ&ヘルプ」グループの「一年生 Word 98」

パソコン大学一年生 for Windows 98 の削除

次の手順で「パソコン大学一年生 for Windows 98」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「パソコン大学一年生 for Windows 98」をクリック。「パソコン大学一年生 for Windows 98」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「パソコン大学一年生 for Windows 98とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有コンポーネント」ウィンドウが表示された場合は「全て残す」をクリックしてください。

終了すると「削除されました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「スタディ&ヘルプ」グループに残った「一年生 Windows 98」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

パソコン探検箱の削除

次の手順で「パソコン探検箱」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「パソコン探検箱」をクリック。

「パソコン探検箱」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「パソコン探検箱」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

- ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループとデスクトップに残った「パソコン探検箱」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。
デスクトップに残ったアイコンは、デスクトップに残ったアイコンを右クリックし、「削除」をクリックすると削除できます。

ハローキティのハッピーメールの削除

次の手順で「ハローキティのハッピーメール」を削除します。

チェック!!

「ハローキティのハッピーメール」は購入時の状態では本機にセットアップされていません。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「ハローキティのハッピーメール」をクリック。
「ハローキティのハッピーメール」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「ハローキティのハッピーメール」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

チェック!!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

プレーヤ-NXの削除

次の手順で「プレーヤ-NX」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「プレーヤ-NX」をクリック。
「プレーヤ-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

ランチ-NXの削除

次の手順で「ランチ-NX」を削除します。

チェック!!

「ランチ-NX」を削除する前に、「ランチ-NX」を終了してください。

p.75の「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「ランチ-NX」をクリック。
「ランチ-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。

「OK」をクリック。

一太郎 9 バックの削除(一太郎モデルのみ)

次の手順で「一太郎 9 バック」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリック。

「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

セットアップするアプリケーションを選択する画面が表示されます。

✓チェック!!

すでに、VoiceATOKを削除しているときなどは、この画面が表示されないこともあります。

一覧から、「一太郎 9 バック」をクリック。
「一太郎 9 バック」が反転表示になります。

「OK」をクリック。

「一太郎 9 バックのセットアップ開始」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「一太郎 9 バックの追加と削除」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「ファイルの追加・削除」ウィンドウが表示されます。

「ファイルの削除」をチェックして「次へ」をクリック。
「削除するファイルの詳細選択」ウィンドウが表示されます。

「全て選択」をクリックして「次へ」をクリック。

「ジャストシステム共通ファイル 削除の確認」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!!

・「VoiceATOKが見つかりました。ATOK12を削除すると、VoiceATOKが使用できなくなります。」のメッセージが表示されることがあります。この場合は、「OK」をクリックしてください。

・ATOK12を削除するには、「VoiceATOK for SmartVoiceの削除」の手順で行ってください。

「削除しない」をクリック。

「フォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!!

「ATOK12をWindowsや他のアプリケーションが使用しているため、コンピュータを再起動するときに削除されます。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。

「次へ」をクリック。

「フォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「フォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「ファイルの削除開始」ウィンドウが表示されます。

「削除開始」をクリック。

ファイルの削除が始まります。

ファイルの削除が終了すると、「一太郎 9 バックのセットアップ終了」ウィンドウが表示されます。

「セットアップ終了」をクリック。

これで削除は完了です。

■ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「一太郎 9」「三四郎 8」「花子 9」「FullBand」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

駅すばあとの削除

次の手順で「駅すばあと」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「駅すばあと」をクリック。

「駅すばあと」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「「駅すばあと」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

終了するとアンインストールが完了しましたというメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「駅すばあと」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

競馬道 3 の削除

次の手順で「競馬道 3」を削除します。

✔ チェック!!

「競馬道 3」は、購入時の状態では本機にセットアップされていません。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「競馬道 3」をクリック。

「競馬道 3」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

✔ チェック!!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

筆ぐるめの削除

次の手順で「筆ぐるめ」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「筆ぐるめ Version 6.0 for Windows」をクリック。

「筆ぐるめ Version 6.0 for Windows」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「筆ぐるめ Version 6.0 for Windows」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。

終了するとアンインストールが完了しましたというメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「筆ぐるめ」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

文豪 DP/LAN シリーズコンバータの削除

次の手順で「文豪 DP/LAN シリーズコンバータ」を削除します。

✔ チェック!!

「文豪 DP/LAN シリーズコンバータ」は、購入時の状態では本機にセットアップされていません。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「文豪 DP/LAN シリーズコンバータ」をクリック。

「文豪 DP/LAN シリーズコンバータ」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。

終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

✔ チェック!!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

翻訳アダプタ CROSSROAD の削除

次の手順で「翻訳アダプタ CROSSROAD」を削除します。

p.75の「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「翻訳アダプタ CROSSROAD」をクリック。
「翻訳アダプタ CROSSROAD」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「翻訳アダプタ CROSSROADとそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有コンポーネント」ウィンドウが表示された場合は「全て残す」をクリックしてください。
終了すると「削除されました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「翻訳アダプタ CROSSROAD」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

CD-ROM を使って削除する

本機に添付のCD-ROMを使って、アプリケーションを削除します。

あらかじめ、次のCD-ROMを準備してください。

- ・Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows CD-ROM(Wordモデルのみ)
- ・アプリケーションCD-ROM

✔ チェック!!

- ・Outlook 98、Draw 98、Word 98、Excel 97を全て削除する場合は、この順序で削除してください。
- ・CD-ROMを使ってアプリケーションを削除する場合、削除が終了したら、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出してください。

Microsoft Outlook 98 の削除(Wordモデルのみ)

次の手順で「Outlook 98」を削除します。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」ウィンドウが表示されます。

「Outlook 98のセットアップ」をクリック。

「Outlook 98 アクティブセットアップ」ウィンドウが表示されます。

「Outlook 98の削除」をクリック。

「Microsoft Outlook 98コンポーネントをアンインストールします。続行しますか？」と表示されます。

「はい」をクリック。

削除が始まります。

「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。

しばらくすると「アンインストールを完了するために、システムを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」と表示されます。

「はい」をクリック。

Windows が再起動します。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「Microsoft Outlook」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

Microsoft Draw 98 の削除(Word モデルのみ)

次の手順で「Draw 98」を削除します。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」ウィンドウが表示されます。

「Draw 98のセットアップ」をクリック。

「Microsoft Draw 98 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

「すべて削除」をクリック。

「Microsoft Draw 98 を削除しますか?」と表示されます。

「はい」をクリック。

削除が始まります。

「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。

終了すると「Microsoft Draw 98 セットアップが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

「Windows の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションを終了した後、「Windows の再起動」をクリックして、Windows を再起動してください。

Microsoft Word 98 の削除(Word モデルのみ)

次の手順で「Word 98」を削除します。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」ウィンドウが表示されます。

「Word 98のセットアップ」をクリック。

「Microsoft Word 98 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

「すべて削除」をクリック。

「Microsoft Word 98 を削除しますか?」と表示されます。

「はい」をクリック。

削除が始まります。

「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。

終了すると「Microsoft Word 98 セットアップが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

「Windows の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションを終了した後、「Windows の再起動」をクリックして、Windows を再起動してください。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「Microsoft Word」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

Microsoft Excel 97 の削除(Word モデルのみ)

次の手順で「Excel 97」を削除します。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」ウィンドウが表示されます。

「Excel 97のセットアップ」をクリック。

「Microsoft Excel 97 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

「すべて削除」をクリック。

「Microsoft Excel 97 を削除しますか?」と表示されます。

「はい」をクリック。

削除が始まります。

「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。

終了すると「Microsoft Excel 97 セットアップが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

「Windows の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションを終了した後、「Windows の再起動」をクリックして、Windows を再起動してください。

- ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「Microsoft Excel」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

Angel Line for Windows の削除

次の手順で「Angel Line for Windows」を削除します。

CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。

コントロールパネルを開く。
（「スタート」「設定」「コントロールパネル」）

「アプリケーションの追加と削除」をクリック。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストールプログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

「インストールプログラムのコマンドライン」を「< CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」から「< CD-ROMドライブ名>:¥ANGEL¥UNINST.EXE」に変更する。

「セットアッププログラムのコマンドライン」が「< CD-ROMドライブ名>:¥ANGEL¥UNINST.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROMドライブ名>は通常は、< Q >です。

「完了」をクリック。
「アンインストールは次の内容を消去します。」のメッセージが表示されます。

「続行」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。

「削除」ウィンドウで「確認」をクリック。

チェック!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

- ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに次のアイコンが残るので、アイコンを削除してください。

・「ユーティリティ」グループの
「Angel Line(電話案内)」

・「ユーティリティ」グループの
「Angel Line(アドレス帳)」

ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

アンインストール機能を使って削除する

アプリケーションが持っているアンインストール機能を使用した削除方法を説明します。

インターネットアクセスマネージャの削除

次の手順で「インターネットアクセスマネージャ」を削除します。

インジゲータ領域(タスクトレイ)にがある場合は、を右クリックし、「いま、いくら?」の常駐終了をクリック。

「スタート」「プログラム」「インターネットアクセスマネージャ」「インターネットアクセスマネージャの削除」をクリック。
「インターネットアクセスマネージャ(Ver3.0)」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?と表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「アンインストールが完了しましたが、いくつかの項目は削除できませんでした。」と表示されたときは「詳細...」をクリック。
画面に表示されているフォルダをエクスプローラなどから削除してから「OK」をクリックしてください。

「OK」をクリック。
以上で削除は完了です。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「インターネットアクセスマネージャ」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

✔チェック!!

アンインストールはセットアップしたファイルの削除のみ行います。したがって、「インターネットアクセスマネージャ」を使用して作成された「オートパイロット結果」などの情報・ファイルは削除されません。これらのファイルを削除する場合は、Windows 98の「エクスプローラ」で「インターネットアクセスマネージャ」がセットアップされている「C:¥Program Files ¥Iam」のフォルダごと削除してください。

■ グローカル ヘキササイトの削除

次の手順で「グローバル ヘキササイト」を削除します。

✔チェック!!

「グローバル ヘキササイト」は購入時の状態では本機にセットアップされていません。

「スタート」「プログラム」「GLOCAL HEXCITE」「アンインストーラ」をクリック。

「GLOCAL HEXCITEを削除してよろしいですか?」と表示されます。

「はい」をクリック。

削除が始まり、終了すると「GLOCAL HEXCITEを削除しました」のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。
これで削除が完了します。

✔チェック!!

「ランチ-NX」からの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

■ ホームページスクラップブックの削除

次の手順で「ホームページスクラップブック」を削除します。

「スタート」「プログラム」「ホームページスクラップブック」「アンインストール」をクリック。「ホームページスクラップブック Ver2.0とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除がはじまります。

「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。

終了するとアンインストールが完了しましたというメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。

これで削除は完了です。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「ホームページスクラップブック」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、p.74の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

✔チェック!!

アンインストールは、セットアップしたファイルの削除のみを行います。したがって、「ホームページスクラップブック」を使用して作成されたスクラップデータは削除されません。これらのデータを削除する場合は、Windows 98の「エクスプローラ」で、「ホームページスクラップブック」のスクラップデータがセットアップされている「C:¥ScbookDataBase」のフォルダごと削除してください。

削除したアプリケーションの再追加

削除したアプリケーションを再追加する場合の手順について説明します。

概要

ここでは、使用するCD-ROMに分けて、再追加の方法を説明します。

あらかじめ、次のCD-ROMを準備してください。

- ・アプリケーションCD-ROM
- ・パソコン大学一年生CD-ROM
- ・一太郎9パックCD-ROM(一太郎モデルのみ)
- ・Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows CD-ROM(Wordモデルのみ)

追加が終了したら、CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

✓チェック!!

追加の際、アプリケーションが表示するメッセージや画面が他のウィンドウに隠れる場合があります。このような場合は他のウィンドウを最小化して、メッセージや画面を表示させてください。

アプリケーションCD-ROMを使って追加する

本機添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して、次のアプリケーションを追加できます。

- ・Adobe Acrobat Reader 3.0J
- ・Angel Line for Windows
- ・AOL
- ・BIGLOBE インターネット接続ツール
- ・CDランチ

- ・CyberCoach-NX
- ・CyberTrio-NX
- ・CyberWarner-NX
- ・FAX-NX
- ・Hatch inside
- ・MAGIC FLIGHT
- ・MapPlayer-NX
- ・PictureStudio Light
- ・SmartVoice(NEC音声認識エンジン 3.0、NEC音声合成エンジン 3.0、Microsoft Speech API 3.0)

✓チェック!!

「SmartVoice」をセットアップすると「NEC音声認識エンジン 3.0」、「NEC音声合成エンジン 3.0」、「Microsoft Speech API 3.0」も同時にインストールされます。

- ・ThumbsStudio
- ・Timer-NX
- ・VirusScan
- ・VoiceATOK for SmartVoice(一太郎モデルのみ)
- ・アルバム工房 Light
- ・インターネットアクセスマネージャ
- ・インターネット無料体験
- ・カラオケキング
- ・ジェットサーファー
- ・てきばき家計簿マム 2 Plus
- ・ニフティサーブでインターネット
- ・パソコン探検箱
- ・プレーヤ-NX
- ・ホームページスクラップブック
- ・ランチ-NX
- ・駅すばあと
- ・筆ぐるめ Version 6.0 for Windows
- ・翻訳アダプタ CROSSROAD

✓チェック!!

「アプリケーション CD-ROM」から、削除したアプリケーションを再追加する場合は、アプリケーションのアイコン登録先が、購入時と同じ状態に設定されないことがあります。

追加の準備**✓チェック!!**

本機添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってアプリケーションを追加するには、まず次の手順を行ってください。

CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ-NX」「ユーティリティ」「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」「設定」「コントロールパネル」「アプリケーションの追加と削除」)

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストールプログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

「インストールプログラムのコマンドライン」が「< CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」になっていることを確認する。
< CD-ROMドライブ名>は通常は、< Q >です。

「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

Adobe Acrobat Reader 3.0J の追加

このページの「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「Acrobat Reader」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「Adobe Acrobat 3.0Jをインストールします。続行しますか?」と表示されます。

「はい」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。

契約に同意の上、「はい」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
しばらくすると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

「Adobe Reader 3.0J Readme ファイルを表示する。」のチェックをはずし、「終了」をクリック。
「セットアップが終了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。
続いて、「Adobe Acrobat Control For ActiveX」をインストールします。

✓チェック!!

- ・「Adobe Acrobat Control For ActiveX」は「パソコン探検箱」を見るために必要です。「パソコン探検箱」を使う場合は、必ずインストールしてください。
- ・インストール時に表示されるメッセージは英語です。

このページの「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「Adobe Acrobat Control For ActiveX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「InstallShield Self-extracting EXE」ウィンドウが表示されます。

「はい」をクリック。
しばらくすると、「Welcome」ウィンドウが表示されます。

「Next」をクリック。
「Software License Agreement」ウィンドウが表示されます。

「Accept」をクリック。
「Choose Destination Location」ウィンドウが表示されます。

「Next」をクリック。
「Start Copying Files」ウィンドウが表示されます。

「Next」をクリック。
「Setup Complete」ウィンドウが表示されます。

「Display Acrobat Control for ActiveX Readme file」のチェックをはずし、「Finish」をクリック。
「Setup is Complete!」のメッセージが表示されず。

「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

Angel Line for Windows の追加

p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「Angel Line for Windows」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「Angel Line for Windows インストール」ウィンドウが表示されます。

「続行」をクリック。

「インストールディレクトリの設定」ウィンドウが表示されます。

「続行」をクリック。

インストールが始まります。

しばらくすると「インストール終了」ウィンドウが表示されます。

「確認」をクリック。

「システム設定」ウィンドウが表示されます。

「デフォルト」をクリック。

「接続テスト」ウィンドウが表示されます。

「しない」をクリック。

「お疲れさまでした...」と表示されます。

「確認」をクリック。

AOL の追加

✓チェック!

「オンラインサービス」フォルダにある「AOL」を使う場合、次の手順とは違います。
次の手順を行うことをおすすめします。

p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「AOLで簡単インターネット」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「AOL セットアッププログラムへようこそ」の画面が表示されます。

「開始」をクリック。
インストールを開始する画面が表示されます。

「インストール」をクリック。
インストールが始まります。
途中で「AOLのショートカットを作成します」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。

「お疲れさまでした。」と表示されます。

「OK」をクリック。

これでインストールは完了です。

BIGLOBE インターネット接続ツールの追加

p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「BIGLOBE インターネット接続ツール」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「注意」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。

インストール説明書が表示されます。

「次へ」をクリック。

インストール先ディレクトリを選択する画面が表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストールの準備を完了しました」と表示されず。

「次へ」をクリック。

インストールが始まります。

しばらくすると、「インストールを完了しました。」と表示されます。

「完了」をクリック。

これでインストールは完了です。

CD ランチの追加

p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「CDランチ」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

インストールが始まります。

「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

CyberCoach-NX の追加

p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「CyberCoach-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「CyberCoach-NX インストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
インストール先を選択する画面が表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックしてインストール先を入力し、「OK」をクリックしてください。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると「インストールは終了しました。」と表示されます。

「終了」をクリック。
これでインストールは完了です。

CyberTrio-NX の追加

p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「CyberTrio-NX」をクリック(反転表示)して「OK」をクリック。
「CyberTrio-NX インストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
インストール先を選択する画面が表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックしてインストール先を入力し、「OK」をクリックしてください。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると「インストールを有効にするために再起動する必要があります。」と表示されます。

「OK」をクリック。
Windows が再起動します。
これでインストールは完了です。

✓チェック!!

「CyberTrio-NX」を再追加すると、本機起動時に「ベーシックモードへようこそ」ウィンドウが表示されるようになります。

CyberWarner-NX の追加

p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「CyberWarner-NX」をクリック(反転表示)して「OK」をクリック。
「CyberWarner-NX インストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
インストール先を選択する画面が表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックしてインストール先を入力し、「OK」をクリックしてください。

「次へ」をクリック。
セットアップの準備が完了したメッセージが表示されます。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると「インストールを有効にするために再起動する必要があります。」と表示されます。

「OK」をクリック。
Windows が再起動します。
これでインストールは完了です。

✓チェック!!

「CyberWarner-NX」を再追加すると、本機起動時に「CyberWarner-NX」が常駐されます。

FAX-NX の追加

p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「FAX-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「ユーザ情報の設定」ウィンドウが表示されます。

各種項目を入力して、「次へ」をクリック。
「情報の一覧」ウィンドウが表示されます。

入力した情報を確認して「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

インストールが終了すると、「再起動しますか？」ウィンドウが表示されます。

「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選んで「OK」をクリック。
Windows が再起動します。
これでインストールは完了です。

■ FAX-NX 用プリンタドライバのセットアップ

「FAX-NX」では、専用のプリンタドライバ(「NEC FAX プリンタドライバ」)がセットアップされていないと、FAX 送信ができません。

「コントロールパネル」の「プリンタ」に「NEC FAX プリンタドライバ」があることを確認してください。「NEC FAX プリンタドライバ」がない場合は、次の手順でセットアップします。

「プリンタ」を開く。
(「スタート」「設定」「プリンタ」)
「プリンタ」ウィンドウが表示されます。
「NEC FAX プリンタドライバ」があることを確認してください。「NEC FAX プリンタドライバ」がある場合は、以降の手順は必要ありません。

「プリンタ」ウィンドウの「プリンタの追加」をダブルクリック。
「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

「次へ」をクリック。

そのまま「次へ」をクリック。
「プリンタの製造元とモデルを選択してください」と表示されます。

「ディスク使用」をクリック。
「ディスクからインストール」ウィンドウが表示されます。

「配布先ファイルのコピー元」に「C:\¥FAXNX」を指定して、「OK」をクリック。

「プリンタ」の欄に「NEC FAX プリンタドライバ」が表示されていることを確認して、「次へ」をクリック。

「利用できるポート」の一覧から「FAXMODEM」を選んで、「次へ」をクリック。

「プリンタに名前を付けられます」と表示されたら、「NEC FAX プリンタドライバ」と表示されていることを確認する。

ウィンドウに「Windows ベースのプログラムで、このプリンタを通常のプリンタとして使いますか？」と表示されていたら、通常のプリンタとして使う場合は「はい」を、使わない場合は「いいえ」をクリック。

「次へ」をクリック。

「印字テストを行いますか」と表示されたら「いいえ」を選択して「完了」をクリック。

これで「FAX-NX」用プリンタドライバのセットアップは完了です。

■ Hatch inside の追加

p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「Hatch inside」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ハッチインサイド使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。

「同意する」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「ディレクトリ××××は存在しません、新規で作成してよろしいですか？」と表示されたときは、「はい」をクリックしてください。
インストールが始まります。

「作業は完了しました、有り難うございます！」と表示されたら「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

■ MAGIC FLIGHT の追加

p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「MAGIC FLIGHT」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

MapPlayer-NX の追加

- p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「MapPlayer-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダーの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
- 再起動を促すメッセージが表示されたら「OK」をクリック。
Windows が再起動します。
これでインストールは完了です。

PictureStudio Light の追加

- p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「PictureStudio Light」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
しばらくすると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。
- 「直ちに ReadMe ファイルを参照します。」のチェックをはずし、「終了」をクリック。
これでインストールは完了です。

SmartVoice の追加

✓チェック!!

- 「SmartVoice」をセットアップすると次のアプリケーションも同時にインストールされます。
- ・ NEC 音声認識エンジン 3.0
 - ・ NEC 音声合成エンジン 3.0
 - ・ Microsoft Speech API 3.0

- p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

- 「SmartVoice」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
通常は、あらかじめ設定されたインストール先を変更する必要はありません。インストール先を変更したいときは、「参照」をクリックしてインストール先を入力してください。

- 「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。
通常は、あらかじめ設定されたプログラムアイコンの登録先フォルダを変更する必要はありません。プログラムアイコンの登録先を変更したいときは、「既存のフォルダ」より選ぶか、直接「プログラムフォルダ」に登録するフォルダ名を入力してください。

- 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。
Readme ファイルを読む場合は、「セットアップ完了後、Readme ファイルを参照します。」をチェックしてください。

- 「完了」をクリック。
これでインストールは完了です。
「セットアップ完了後、Readme ファイルを参照します。」をチェックした場合は、セットアップ終了後に Readme ファイルが開きます。

ThumbsStudio の追加

- p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「ThumbsStudio」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダーの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
しばらくすると、インストールが終了します。

Timer-NX の追加

- p.95 「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「Timer-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「Timer-NXのセットアップを始めます。」のメッセージが表示されます。
- 「OK」をクリック。
「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください。」と表示されます。
- をクリック。
インストールが始まります。
- 「Timer-NXのセットアップが完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリック。

VirusScan の追加

- p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「VirusScan v4.0」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「セットアップへようこそ」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
「Network Associatesソフトウェアの使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。

- 契約に同意の上、「はい」をクリック。
「セットアップ方法」ウィンドウが表示されます。
「カスタム」を選択します。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウィンドウの「パス」にインストール先を入力して、「OK」をクリックしてください。

- 「次へ」をクリック。
「コンポーネントの選択」ウィンドウが表示されます。

チェック!!

スクリーンスキャンをインストールする場合は、ここで「McAfee ScreenScan」のチェックボックスをクリックして選択してください。

- 「次へ」をクリック。
「オプションの選択」ウィンドウが表示されます。

- 「次へ」をクリック。
「オプション選択」ウィンドウが表示されます。

「ブート時にシステムをスキャン」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす。
「ブート時にシステムをスキャン」のチェックをはずさないでインストールした場合は、MS-DOS用アプリケーションが動作しない場合があります。

「エマージェンシーディスクを作成」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす。
エマージェンシーディスクは「スタート」「プログラム」「McAfee VirusScan」「McAfee VirusScan セントラル」より「ツール」をクリックし、「エマージェンシーディスク」をクリックして作成することができます。

- 「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

- 「次へ」をクリック。
「インストール設定の確認」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「システム領域のスキャンが完了しました」のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。

「この製品についての最新の情報を表示しますか？」のメッセージが表示されます。

最新の情報を読む場合は「はい」、読まない場合は「いいえ」をクリックします。

最新の情報は「スタート」「プログラム」「McAfee VirusScan」「ウィルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

「変更事項」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

インストールが終了すると「インストールが完了しました。」ウィンドウが表示されます。

「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選んで、「終了」をクリック。

Windows が再起動します。

これでインストールは完了です。

✓チェック!!

「VirusScan」を再追加すると、VShield が常駐します。VShield が常駐すると、ディスクアクセス時にウイルス検査を行うため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。VShield の常駐をはずす方法は、VirusScan セントラルのヘルプをご覧ください。

VoiceATOK for SmartVoice の追加(一太郎モデルのみ)

✓チェック!!

・「VoiceATOK for SmartVoice」を「一太郎9パック」と併せて使用する場合には、先に「一太郎9パック」をセットアップしてから「VoiceATOK for SmartVoice」をセットアップしてください。

・ジャストシステム社製「Voice一太郎9」を使用する場合は、いったん「VoiceATOK for SmartVoice」を削除してから「Voice一太郎9」をセットアップしてください。

・「VoiceATOK for SmartVoice」の音声機能を利用するには、「SmartVoice」が必要です。

p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「VoiceATOK」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

セットアップ開始を確認するウィンドウが表示されず。

「セットアップ開始」をクリック。

「VoiceATOKのセットアップ開始」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!!

「使用許諾契約の確認」ウィンドウが表示された場合は、「確認」をクリックしてください。

「次へ」をクリック。

「使用者名・法人名の登録」ウィンドウが表示されず。

「次へ」をクリック。

「シリアルナンバー・User IDの登録」ウィンドウが表示されます。

JUSTSYSTEM登録ユーザの方は、そのUser IDを入力し、シリアルナンバーは空白のまま「次へ」をクリック。

「使用者名・シリアルナンバーの確認」ウィンドウが表示されます。

正しく入力されていたら「登録する」をクリック。

「セットアップ方法の選択」ウィンドウが表示されず。

「標準」を選ぶ。

「次へ」をクリック。

「標準でのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「セットアップするフォルダの設定」ウィンドウが表示されず。

「次へ」をクリック。

「ファイルのコピー開始:標準」ウィンドウが表示されます。

「コピー開始」をクリック。

ファイルのコピーが始まります。しばらくお待ちください。

ファイルのコピーが終了すると、「VoiceATOKのセットアップ終了」ウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック。

Windows が再起動します。

これでインストールは完了です。

アルバム工房 Light の追加

p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
「アルバム工房 Light」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。
「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。
アイコンを追加したいフォルダを選んで、「次へ」をクリック。
「アルバム作成ディレクトリの選択」ウィンドウが表示されます。
アルバムを作成する先のドライブを変更するには、ドライブのところの▼をクリックすると一覧が表示されますのでアルバムを作成したいドライブを選んでください。

アルバム作成先のドライブが決まったら「次へ」をクリック。
「アルバム工房 Light」のインストールが始まります。
インストールが完了すると「再起動しますか？」ウィンドウが表示されます。

「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選んで「OK」をクリック。
Windows が再起動します。
これでインストールは完了です。

インターネットアクセスマネージャの追加

p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
「インターネットアクセスマネージャ Ver3.0」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
「次へ」をクリック。
「接続方法の設定」ウィンドウが表示されます。
インターネットに接続する方法を選んで「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

✓チェック!!

「バージョンの競合」ウィンドウが表示された場合は「はい」をクリックしてください。

「インターネットアクセスマネージャのファイルコピーが完了しました。ここで、README ファイルを読みますか？」と表示されます。

README ファイルを読む場合は「はい」、読まない場合は「いいえ」をクリック。
「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認して、「完了」をクリック。
Windows が再起動します。

再起動後、表示された画面で「OK」をクリック。
この後は、画面の指示に従って設定を行ってください。

📖参照

・設定の仕方  「パソコン探検箱」
・「VALUESTAR を楽しもう」
・「インターネットへの招待」
・「電話とプロバイダの料金をその場で管理(インターネットアクセスマネージャ)」

インターネット無料体験の追加

p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
「インターネット無料体験」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
しばらくすると「セットアップが完了しました。」のメッセージが表示されます。
「完了」をクリック。

カラオケキングの追加

- p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「カラオケキング」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
「インストールする前に」ウィンドウが表示されますので、内容をよくお読みください。
- 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
途中で「簡単に実行できるようにデスクトップ上にアイコンを作りますか。」と表示されます。アイコンをデスクトップ上に作る場合は「はい」を、作らない場合は「いいえ」をクリックしてください。
「情報」ウィンドウが表示されます。
- 「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

ジェットサーファーの追加

- p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「ジェットサーファー Ver1.5」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
しばらくすると「READMEファイルを読みますか？」というメッセージが表示されます。
- 「いいえ」をクリック。
「はい」を選択した場合、読み終わったら をクリックします。
- 「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

てきばき家計簿mam 2Plus の追加

- p.95 の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「てきばき家計簿mam 2Plus」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「てきばき家計簿mam 2Plus セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 「インストール」をクリック。
インストールが始まります。
- 「てきばき家計簿mam 2Plusのセットアップ処理を終了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

ニフティサーバでインターネットの追加

✓チェック!!

「オンラインサービス」フォルダにある「ニフティサーバへの入会」は利用しないでください。本機専用の特典(利用料金の割引きなど)を受けられない場合があります。

p.95の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「ニフティサーバでインターネット」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「製品ライセンス契約」ウィンドウが表示されます。

内容を確認し、同意の上「はい」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」をクリックしてください。

インストール先ディレクトリが決まったら、「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
「デスクトップにニフティサーバでインターネットのショートカットを置きますか?」と表示されます。

デスクトップにショートカットを貼り付ける場合は「はい」を、貼り付けない場合は「いいえ」をクリック。
「READMEファイルを読みますか?」と表示されず。

READMEファイルを読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリック。
「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック。
これでインストールは完了です。

パソコン探検箱の追加

✓チェック!!

「パソコン探検箱」は必ずCドライブの「Tanken」フォルダにインストールされます。

p.95の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「パソコン探検箱」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
しばらくすると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック。
これでインストールは完了です。

プレーヤ-NXの追加

p.95の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「プレーヤ-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「Folder Selection」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

「プレーヤ-NXは正しくインストールされました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

ホームページスクラップブックの追加

「ホームページスクラップブック」を追加する場合は、Internet Explorer 3.0以上がセットアップされている必要があります。Internet Explorerが正しくセットアップされていることを確認してください。

p.95の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「ホームページスクラップブック Ver2.0」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

チェック!!

セットアップ先のハードディスクに、すでにスクラップデータが存在する場合は、手順 の操作時に既存のスクラップデータをそのまま使うかを確認するウィンドウが表示されます。

そのままご利用になる場合は、「既存のスクラップデータベースを使用する」を選んで、「次へ」をクリックすると、「ブラウザの選択」ウィンドウが表示されますので、手順へ進みます。既存データが必要ない場合は、「新規にスクラップデータベースを構築する」を選んで、「次へ」をクリックしてください。なお、「新規にスクラップデータベースを構築する」を選んで、「次へ」をクリックすると、手順 操作時に既存のデータはすべて削除されます。

「次へ」をクリック。
「スクラップデータベースのドライブ確認」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「ブラウザの選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「設定項目の確認」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
コピーが始まります。
しばらくすると「READMEファイルを読みますか?」というメッセージが表示されます。

「いいえ」をクリック。
「はい」を選ぶと「READMEファイル」がご覧になれます。
これでインストールは完了です。

ランチ-NXの追加

p.95の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「ランチ-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

駅すばあとの追加

p.95の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「駅すばあと」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「路線バスの選択」ウィンドウが表示されます。
必要ない路線バスがあれば、チェックをはずしてください。また、インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウィンドウの「バス」にインストール先を入力して「OK」をクリックしてください。

「次へ」をクリック。
「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。プログラムフォルダを変更する場合は、「プログラムフォルダ」欄に入力してください。

「次へ」をクリック。
「ファイル コピーの開始」ウィンドウが表示されます。

個人名: NEC-PCuser、法人名: なし(空白)、登録番号: **C10410000088**、インストール先:、路線バス:、フォルダ名: を確認したら、「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
「駅すばあとのセットアップが完了しました。」と表示されます。

「完了」をクリック。
これでインストールは完了です。

筆ぐるめの追加

p.95の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「筆ぐるめ Version 6.0 for Windows」をクリック
(反転表示)して、「OK」をクリック。
「筆ぐるめ-セットアップメニュー」ウィンドウが表示
されます。

「筆ぐるめ Version 6.0 for Windows セットアッ
プ」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
名前と会社名を入力する画面が表示されます。

「名前」と「会社名」を入力し、「次へ」をクリック。
「登録確認」ウィンドウが表示されます。

「はい」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「セットアップ方法」ウィンドウが表示されます。

「標準」を選んで「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示され
ます。

「次へ」をクリック。
「筆ぐるめのセットアップ開始確認」ウィンドウが表示
されます。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると、「セットアップの完了」
ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック。
もう一度「筆ぐるめ-セットアップメニュー」ウィンド
ウが表示されます。

「Photaware/Home-PDセットアップ」をクリック。
「ソフトウェア製品使用許諾契約書」ウィンドウが表示
されます。

「Yes」をクリック。
「Photaware/Home-PD Installer Ver 1.5」ウィン
ドウが表示されます。

「確認」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると、「インストールは正常に終
了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。
もう一度「筆ぐるめ-セットアップメニュー」ウィンド
ウが表示されます。

「終了」をクリック。
「SETUP」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。

Windows を再起動する。
(「スタート」「Windowsの終了」「再起動する」
「OK」)
これでインストールは完了です。

翻訳アダプタ CROSSROAD の追加

p.95の「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「翻訳アダプタ CROSSROAD」をクリック(反転
表示)して、「OK」をクリック。
「翻訳アダプタ CROSSROAD セットアップ」ウィ
ンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
「はじめに」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
「ユーザ情報の入力」ウィンドウが表示されます。

「シリアルNo:」に「**C103B29100**」(0は数字のゼロ)、
「パスワード:」に「**LGPPRFOO**」(Oはアルファベット
のオー)と入力する。

「インストール」をクリック。
「セットアップを開始するには大きなボタンをクリッ
クしてください。」と表示されます。

をクリック。
インストールが始まります。

「翻訳アダプタ CROSSROADのセットアップが完
了しました。」と表示されたら、「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

パソコン大学一年生 CD-ROM を使って追加する

パソコン大学一年生 CD-ROM を使って、次のアプリケーションを追加することができます。

- ・パソコン大学一年生 for Windows 98
- ・パソコン大学一年生 for 一太郎 9
(一太郎モデルのみ)
- ・パソコン大学一年生 for 三四郎 8
(一太郎モデルのみ)
- ・パソコン大学一年生 for Word 98
(Word モデルのみ)
- ・パソコン大学一年生 for Excel 97
(Word モデルのみ)

パソコン大学一年生の追加

CD-ROM ドライブに本機添付の「パソコン大学一年生 CD-ROM」をセットする。自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックし、表示された画面で CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

「パソコン大学一年生 for Windows 98」と、一太郎モデルの場合は「パソコン大学一年生 for 一太郎 9/三四郎 8」、Word モデルの場合は「パソコン大学一年生 for Word 98/Excel 97」がチェックされていることを確認し、「インストール実行」をクリック。「パソコン大学一年生 for Windows 98 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください」と表示されます。

をクリック。
「パソコン大学一年生 for Windows 98 のセットアップが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。
しばらくすると、一太郎モデルの場合は「パソコン大学一年生 for 一太郎 9/三四郎 8 セットアップ」ウィンドウが表示され、Word モデルの場合は「パソコン大学一年生 for Word 98/Excel 97 セットアップ」のウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください」と表示されます。

をクリック。
アプリケーションの追加が始まります。
しばらくすると、セットアップが完了した旨のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM を使って追加する (Word モデルのみ)

「アプリケーションを削除する」で Outlook 98、Draw 98、Word 98、Excel 97 をそれぞれ削除した場合、本機添付の「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROM(以降、Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM)を使って、次のアプリケーションを追加することができます。

- ・Microsoft Excel 97
- ・Microsoft Word 98
- ・Microsoft Draw 98
- ・Microsoft Outlook 98

Excel 97 の追加

「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。

自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

「Excel 97 のセットアップ」をクリック。
Excel のセットアッププログラムが起動します。

「継続」ボタンをクリック。
「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
プロダクトID番号を知らせるウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
フォルダを選ぶウィンドウが表示されます。

そのまま、「OK」をクリック。
セットアップ方法を選ぶウィンドウが表示されます。

「標準セットアップ」のボタンをクリック。

そのまま、「継続」をクリック。
Excelのセットアップが始まります。

セットアップが終了すると「Microsoft Excel 97
セットアップが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。
「Windowsの再起動」ウィンドウが表示された場合は、
実行中の他のアプリケーションを終了した後、
「Windowsの再起動」をクリックし、Windowsを再
起動してください。

これでインストールは完了です。

Word 98 の追加

「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM」
をCD-ROMドライブにセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示
されます。

自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイ
コンピュータ」を起動し、CD-ROMアイコンをダブル
クリックします。

「Word 98のセットアップ」をクリック。
Wordのセットアッププログラムが起動します。

「継続」をクリック。
「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
プロダクトID番号を知らせるウィンドウが表示され
ます。

「OK」をクリック。
フォルダを選ぶウィンドウが表示されます。

そのまま、「OK」をクリック。
セットアップ方法を選ぶウィンドウが表示されます。

「標準セットアップ」のボタンをクリック。

そのまま、「継続」をクリック。
Wordのセットアップが始まります。

セットアップが終了すると「Microsoft Word 98
セットアップが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。
「Windowsの再起動」ウィンドウが表示された場合
は、実行中の他のアプリケーションをすべて終了した
後、「Windowsの再起動」をクリックし、Windowsを
再起動してください。

これでインストールは完了です。

Draw 98 の追加

「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM」
をCD-ROMドライブにセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示
されます。
自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイ
コンピュータ」を起動し、CD-ROMアイコンをダブル
クリックします。

「Draw 98のセットアップ」をクリック。
Drawのセットアッププログラムが起動します。

「継続」のボタンをクリック。
「セットアップを開始するには、左下のボタンをクリッ
クしてください」と表示されます。

「継続」をクリック。
Drawのセットアップが始まります。

セットアップが終了すると「Microsoft Draw 98
セットアップが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。
「Windowsの再起動」ウィンドウが表示された場合
は、実行中の他のアプリケーションをすべて終了した
後、「Windowsの再起動」をクリックし、Windowsを
再起動してください。

これでインストールは完了です。

Outlook 98 の追加

「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする。

自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。

自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

「Outlook 98 のセットアップ」をクリック。
Outlook のセットアッププログラムが起動します。

「次へ」をクリック。
「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。

同意する場合は「同意する」をクリックして、「次へ」をクリック。
「登録」ウィンドウが表示されます。

「CD キー」の欄に「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM」の CD ケース裏面にある CD キーを入力して、「次へ」をクリック。
「インストールオプション」ウィンドウが表示されず。

「標準インストール」が選ばれているのを確認して、「次へ」をクリック。
「電子メールアップグレードオプション」ウィンドウが表示されます。

「上記以外のメールプログラム」をクリック（反転表示）して、「次へ」をクリック。
「電子メールサービスオプション」ウィンドウが表示されます。

「インターネットのみ」が選ばれているのを確認して、「次へ」をクリック。
「Outlook 98 をインストールするフォルダのパスを入力してください。」と表示されます。

そのまま、「次へ」をクリック。
Outlook 98 のセットアップが始まります。

「新しいコンポーネントをアップグレードしますか？」というウィンドウが表示された場合は、「更新された項目のみアップグレード」をクリックし、「OK」をクリックします。

セットアップが終了すると「コンポーネントのインストールは完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。
自動的に Windows が再起動します。

Windows が再起動したら、Outlook 98 のセキュリティパッチを適用します。

エクスプローラを起動する。
（「スタート」「プログラム」「エクスプローラ」）

CD-ROM ドライブ（通常は Q:）をクリックし、「Patch」フォルダをダブルクリック。
「Patch」フォルダが開きます。

「Outptch2」をダブルクリック。
「このパッチを実行する前に、Outlook をシャットダウンする必要があります。続行しますか??」と表示されます。

「はい」をクリック。
「パッチのインストールは完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

一太郎 9 パック CD-ROM を使って追加する（一太郎モデルのみ）

一太郎 9 パックの追加

「アプリケーションを削除する」で、一太郎 9 パックを削除した場合は、本機添付の「一太郎 9 パック CD-ROM」を使って、「一太郎 9 パック」を追加することができます。

ここでは、「一太郎 9 パック」の追加手順について説明します。

CD-ROM ドライブに「一太郎 9 パック CD-ROM」をセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。

自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

「一太郎 9 パックのセットアップ」をクリック。
セットアップ開始を確認するウィンドウが表示されます。

「セットアップ開始」をクリック。

チェック!!

- ・「使用許諾契約の確認」ウィンドウが表示された場合は「確認」をクリックしてください。
- ・「更新の確認」ウィンドウが表示された場合は、「セットアップ続行」をクリックしてください。

「一太郎 9 バックのセットアップを行います」と表示されます。

「次へ」をクリック。

「使用者名・法人名の登録」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「シリアルナンバー・User IDの登録」ウィンドウが表示されます。

J-Sheet をご覧の上、必要項目を入力して「次へ」をクリック。

「使用者名・シリアルナンバーの確認」ウィンドウが表示されます。

正しく入力されていたら「登録する」をクリック。

「セットアップ方法の選択」ウィンドウが表示されます。

「標準」が選ばれているのを確認して「次へ」をクリック。

「標準モードでセットアップすると...」と表示されません。

「次へ」をクリック。

「サンプルファイルの選択」ウィンドウが表示されません。

「基本サンプルのみハードディスクで利用」が選ばれているのを確認して「次へ」をクリック。

「セットアップするフォルダを設定します」と表示されます。

「次へ」をクリック。

「ファイルのコピーを開始します」と表示されます。

「コピー開始」をクリック。

ファイルのコピーが始まります。しばらくお待ちください。

しばらくすると「インターネット接続方法の選択」ウィンドウが表示されます。

「はい」を選択して「OK」をクリック。

「JustNetに入会するには」ウィンドウが表示されます。

「確認」をクリック。

「一太郎 9 バックのセットアップ終了」ウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック。

Windows が再起動します。

チェック!!

「一太郎 9 バック」ウィンドウが表示された場合は、「OK」をクリックしてください。

これで「一太郎9 バック」のセットアップは終了です。

P A R T

4

本機の設定を変更する

BIOS セットアップメニュー

デバイスマネージャ

割り込みレベルとDMA チャンネル

電源管理モードについて

BIOS セットアップメニュー

「BIOS セットアップメニュー」ではハードウェア環境の確認と変更、セキュリティ、省電力など本機の使用環境を設定することができます。

✓チェック!!

BIOSセットアップメニューは画面上では「AMIBIOS HIFLEX SETUP UTILITY...」と表示されます。

BIOS セットアップメニューを使ってできること

次のような設定ができます。

- ・ 現在の日付と時間の設定
- ・ ハードウェア環境の確認と変更
- ・ セキュリティの設定
- ・ 省電力の設定
- ・ 起動順位の設定

BIOS セットアップメニューを使う

BIOS セットアップメニューの起動とメイン画面

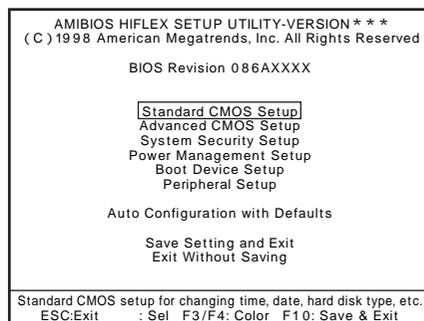
電源を入れ、「NEC」ロゴの画面で「Press < F2 > to Enter Setup」と表示されたら、すぐに【F2】を押す。

BIOS セットアップメニューが起動します。

✓チェック!!

Windows が起動した場合は、Windows を終了して電源を切り、もう一度手順 をやり直してください。

BIOS セットアップメニューの起動画面



BIOS セットアップメニューの終了

■ 変更した設定を有効にして終了する場合

BIOS セットアップメニューの起動画面で【F10】を押す。
確認の画面が表示されます。

「Y」になっているのを確認して【Enter】を押す。
設定値が CMOS に保存され、BIOS セットアップメニューが終了します。
またメニューの「Save Setting and Exit(設定値を保存して終了)」でも BIOS セットアップメニューを終了することができます。

■ 起動前の設定のまま終了する場合

BIOS セットアップメニューの起動画面で【Esc】を押す。
確認の画面が表示されます。

【Y】を押し、【Enter】を押す。
起動する前の設定のまま(設定の変更を行った場合は全て無効にして)BIOS セットアップメニューが終了します。
また、メニューの「Exit Without Saving(設定値を変更しないで終了)」でも BIOS セットアップメニューを終了することができます。

初期値の設定

以下の手順で設定値を初期値に戻すことができます。

BIOS セットアップメニューの起動画面で「Auto Configuration with Defaults(設定値の初期化)」にカーソルを合わせ、【Enter】を押す。
確認の画面が表示されます。

【Y】を押し、【Enter】を押す。

BIOS セットアップメニューの基本操作

- ・操作はキーボードで行います。
- ・【**↑**】、【**↓**】で設定項目を選択します。
- ・設定内容(例: システム時刻の時、分、秒)のカーソル移動は【**Tab**】もしくは【**←**】、【**→**】、【**↑**】、【**↓**】で選択します。設定内容の値は【**+**】、【**-**】もしくは【**PageUp**】、【**PageDown**】で変更します。
- ・各設定項目の画面から、起動画面に戻すには、【**Esc**】を押します。

Standard CMOS Setup(メインの設定)

■ Date(mm/dd/yyyy)

日付を「月 / 日 / 年」で入力します。

■ Time(hh/mm/ss)

現在の時刻を「時 / 分 / 秒」で入力します。

■ Diskette Drive A:

フロッピーディスクドライブのモードを選びます。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Diskette Drive A:	1.44MB 3 ¹ / ₂ Not Installed	「Not Installed」の場合、フロッピーディスクドライブ (FDD) が接続されていても使用することができません。 「1.44MB 3 ¹ / ₂ 」の場合、接続されている FDD が使用できます。

■ Pri Master/Sec Master

現在接続されている IDE ディスクの設定をします。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Type	Auto CDROM Not Installed User Defined	「Auto」に設定すると BIOS が自動的にシリンダ、ヘッド、セクタを設定します。 「User Defined」に設定するとユーザによる指定ができます。
Size	—————	—————
Cyln	0-65535	シリンダ数を設定します。 (Type=User Defined のみ指定可能)
Head	0-255	ヘッド (Type=User Defined のみ指定可能)
WPcom	0-65535	ヘッド回避シリンダ番号を設定します。 (Type=User Defined のみ指定可能)
Sec	0-255	セクタ数を設定します。 (Type=User Defined のみ指定可能)
LBA	On Off	LBA モードを使用するかどうかを指定できます。 (Type=User Defined のみ指定可能)
Blk	On Off	ブロック転送モードを使用するかどうかを指定できます。 (Type=User Defined のみ指定可能)
PIO	Auto 0-4	CPU が直接 I/O ポートとアクセスして IDE とのデータのやりとりをする時のデータ転送モードを設定できます。 (Type=User Defined のみ指定可能)
32Bit	On Off	32 ビット IDE データ転送を使用するかどうかを指定できます。

☑ チェック!!

本設定を変更すると、内蔵ハードディスクが動作しなくなる場合がありますので、通常は初期値のまま使用してください。

■ Boot Sector Virus Protection

HD のブートセクタの設定をします。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Boot Sector Virus Protection	Enabled Disabled	HD のブートセクタにライトプロテクトをかけるかどうかを指定できます。

Advanced CMOS Setup(詳細の設定)

- LCD Panel View Expansion
LCD画面の伸縮を設定します。

表中の **On** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
LCD Panel View Expansion	Off On	LCD画面に拡大表示を行うかどうかを設定します。「On」の場合、LCD画面に拡大表示します。「Off」の場合、拡大表示しません。

- System Beeper
Beep音を設定します。

表中の **On** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
System Beeper	Off On	「On」にするとビーブ音が鳴ります。「Off」にするとビーブ音は鳴りません。

System Security Setup(システムセキュリティ設定)

システムセキュリティの設定を行います。

- Change Supervisor/User Password
スーパーバイザパスワード/ユーザパスワードの設定を行います。

表中の **No** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Change Supervisor Password	パスワード入力	スーパーバイザパスワードの設定を行います。設定した場合、BIOSセットアップメニューに入るときにスーパーバイザパスワードを入力する必要があります。
Change User Password	パスワード入力	ユーザパスワードの設定を行います。
Boot Password Required	Yes No	BIOSセットアップメニュー起動時にスーパーバイザパスワードやユーザパスワードの入力を行うかどうかを設定します。「Yes」の場合、パスワード入力が必要です。「No」の場合、不要になります。

✓チェック!!

購入時の状態では、スーパーバイザパスワードおよびユーザパスワードは設定されていません。スーパーバイザパスワードとユーザパスワードの設定や入力のかたについては、後述の「パスワードの設定と入力」をご覧ください。

Power Management Setup(省電力の設定)

システムの省電力設定を行います。

✓チェック!!

- ・ACPIモード(ご購入時)では、本設定はすべて無効になります。
- ・APMモードでは、「Power Savings Level」の「Auto Suspend Time-out」を除く、すべての省電力設定が有効になります。APMモードの場合、BIOSセットアップメニューの「Auto Suspend Time-out」の設定は、Windows 98の「コントロールパネル」-「電源の管理」の「システムスタンバイ」で設定するようにしてください。
- ・APMモードの場合、BIOSセットアップメニューの「Hard Disk Time-out」の設定は、Windows 98の「コントロールパネル」-「電源の管理」の「ハードディスクの電源を切る」でも設定できますが、これらの設定は、設定時間の短い方が有効になります。

- System Switch

システムスイッチのモードを設定します。

表中の **Power Button** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
System Switch	Power Button Sleep Button	システムスイッチのモードを設定します。「Power Button」の場合、電源のOn/Offを行います。「Sleep Button」の場合、このスイッチによってサスペンド/レジュームに入ります。

- Power Savings Level

省電力レベルを選びます。レベルを選ぶことによってシステムの省電力設定を変更します。

表中の **Custom** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Power Savings Level	Off Max Saving High Perform Custom	「Off」の場合、パワーマネジメントを停止します。「Max Saving」の場合、消費電力を最小限に抑えることができます。「High Perform」の場合、電力をより多く消費しますが、システムパフォーマンスは最大限に発揮します。「Custom」の場合、各種の省電力設定をユーザ自身で選びます。

省電力設定項目の内容は次の通りです。選択肢は、「Power Savings Level」を「Custom」に設定したときのみ選択できます。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Hard Disk Time-out	Off	ハードディスクのタイムアウト時間を設定します。ハードディスクにアクセスしない状態で設定した時間が経過すると、ハードディスクのモータを停止します。
	5 seconds	
	30 seconds	
	45 seconds	
	1 minutes	
	2 minutes	
	4 minutes	
	6 minutes	
Auto Suspend Time-out	Off	自動スリープ機能のタイムアウト時間を設定します。「Off」の場合、自動スリープは行いません。「5 minutes」～「30 minutes」の場合、本機が動作しない状態になって設定した時間が経過すると、自動的にサスペンドします。
	5 minutes	
	10 minutes	
	15 minutes	
	20 minutes	
	30 minutes	

各省電力レベルの設定値は次の通りです。

	Off	Max Saving	High Perform
Hard Disk Time-out	Off	2 minutes	10 minutes
Auto Suspend Time-out	Off	10 minutes	30 minutes

■ Remote Power On

リモートパワーオンの設定を行います。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Remote Power On	Disabled	リモートパワーオンを有効にするか設定します。「Enabled」の場合、リモートパワーオンの機能が有効になります。「Disabled」の場合、リモートパワーオンの機能が無効になります。
	Enabled	

■ Resume Signal

リングレジャーム時の識別に使用する信号を設定します。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Resume Signal	PME# RI	リングレジャーム時の識別に使用する信号を設定します。Windows95を使用している場合は「RI」を設定してください。

■ Input Device Resume

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Input Device Resume	Off On	「On」に設定するとUSBキーボード/マウス、PS/2キーボード/マウスまたはシリアル/パラレルポート等に入力があるとサスペンドからレジャームします。

■ Wake Up Alarm/Resume Alarm Time

サスペンド/スタンバイ状態の時に指定した時刻でレジャームするか設定します。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Wake Up Alarm	Disabled Enabled	サスペンド/スタンバイ状態の時に指定した時刻でレジャームするか設定します。「Enabled」の場合、「Resume Alarm Time」で設定した時刻になるとレジャームします。「Disabled」の場合、時刻指定でのレジャームは使用できません。
Resume Alarm Time	00:00AM- 11:55PM	レジャームする時刻を設定します。「Wake Up Alarm」で「Enabled」に設定したときに設定できます。設定可能時刻は設定する当日のAM00時00分からPM11時55分まで5分刻みで設定できます。

■ Boot Device Setup (起動順序の設定)

■ Quick Boot

本機起動時にクイックブートを使用するか設定します。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Quick Boot	Enabled Disabled	本機起動時にクイックブートを使用するか設定します。「Enabled」の場合、メモリチェック等のテストをスキップして高速な起動を行います。「Disabled」の場合、メモリチェック等のテストを行います。

■ Silent Boot

本機起動時にNECロゴスクリーンを表示するか設定します。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Silent Boot	Enabled Disabled Black	NECロゴスクリーンを表示するか設定します。「Enabled」の場合、起動時にNECロゴスクリーンを表示し、「Disabled」の場合、表示しません。「Black」の場合、起動時に真っ黒な画面が表示され、20秒間程度システムのレスポンスがないように見えます。

■ Boot Display Device

本機起動時の表示デバイスを設定します。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Boot Display Device	Simul.Mode LCD Only CRT Only	起動時の表示デバイスを設定します。「Simul.Mode」の場合、LCD/CRT両方に、「LCD Only」の場合、LCDのみに、「CRT Only」の場合、CRTのみに出力します。

■ Boot Up Num-Lock

本機起動時に Num Lock するか設定します。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
BootUp Num-Lock	Auto Off On	本機起動時に Num Lock するか設定します。「Auto」の場合、起動時に標準キーボード(10キー有り)が接続されていると Num Lock されます。起動時に小型キーボード(10キー無し)が接続されていると Num Lock されません。「On」の場合、接続されているキーボードの種類に関わらず、起動時に Num Lock されます。「Off」の場合、接続されているキーボードの種類に関わらず、起動時に Num Lock されません。

■ 1st-4th/Other Boot Device

起動デバイスの設定を行います。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
1st Boot Device	Disabled 1st Fnd IDE FLOPPY CDROM NETWORK	第1起動デバイスの設定を行います。設定可能な起動デバイスは「1st Fnd IDE」と「FLOPPY」と「CDROM」と「NETWORK」です。「Disabled」の場合、第1起動デバイスからは起動しません。
2nd Boot Device	Disabled 1st Fnd IDE FLOPPY CDROM	第2起動デバイスの設定を行います。設定可能な起動デバイスは「1st Fnd IDE」と「FLOPPY」と「CDROM」です。「Disabled」の場合、第2起動デバイスからは起動しません。
3rd Boot Device	Disabled 1st Fnd IDE FLOPPY CDROM	第3起動デバイスの設定を行います。設定可能な起動デバイスは「1st Fnd IDE」と「FLOPPY」と「CDROM」です。「Disabled」の場合、第3起動デバイスからは起動しません。
4th Boot Device	Disabled 1st Fnd IDE FLOPPY CDROM	第4起動デバイスの設定を行います。設定可能な起動デバイスは「1st Fnd IDE」と「FLOPPY」と「CDROM」です。「Disabled」の場合、第4起動デバイスからは起動しません。

Peripheral Setup(周辺機器の設定)

周辺機器の設定をします。

■ Internal Hard Drive

内蔵ハードディスクを無効にするか設定します。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Internal Hard Drive	Enabled Disabled	内蔵ハードディスクを無効にするか設定します。「Enabled」の場合、有効になり、「Disabled」の場合、無効になります。

■ USB KB/Mouse Legacy Support

USB キーボード及び USB マウスのレガシー動作を設定します。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
USB KB/Mouse Legacy Support	Disabled Keyboard Auto Keyb+Mouse	USB キーボード及びマウスのレガシーモードでの動作を設定します。「Auto」では、本機起動時に USB キーボードもしくは USB マウスを検出した場合にそれぞれのデバイスを使用する設定を行います。「Keyb+Mouse」では、本機起動時に USB キーボードもしくは USB マウスが検出できなくても、それぞれのデバイスを使用する設定を行います。

■ Serial Port

シリアルポートの COM 番号、割り込みレベルを設定します。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Serial Port	Auto Disabled COM1, IRQ4 COM2, IRQ3	シリアルポートの COM 番号、割り込みレベルを設定します。「Auto」の場合は BIOS が空きリソースを自動的に割り当てます。「Disabled」の場合は他のデバイスにリソースを解放し、PnP OS がシリアルデバイスを使用できないようにします。

■ Parallel Port

パラレルポートの LPT 番号を設定します。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Parallel Port	Auto Disabled LPT1 LPT2	パラレルポートの LPT 番号を設定します。「Auto」の場合は BIOS が空きリソースを自動的に割り当てます。「Disabled」の場合は他のデバイスにリソースを解放し、PnP OS がパラレルデバイスを使用できないようにします。
Parallel Mode	ECP Uni-Dir Bi-Dir EPP	パラレルポートの動作モードを設定します。通常は「ECP」モードを設定します。特殊なパラレルモードで動作するデバイスの場合はそのデバイスの説明書を参照してください。

■ IR Serial Port

赤外線ポートの COM 番号、割り込みレベルを設定します。

表中の **■** は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
IR Serial Port	Disabled COM2, IRQ3 Auto	赤外線ポートの COM 番号、割り込みレベルを設定します。「Auto」の場合は BIOS が空きリソースを自動的に割り当てます。「Disabled」の場合は他のデバイスにリソースを解放し、PnP OS が赤外線ポートを使用できないようにします。

Auto Configuration with Defaults

設定値を初期値に戻します。戻し方は、前述の「初期値の設定」をご覧ください。

Save Setting and Exit(設定値を保存して終了)

設定値を保存して終了します。
終了の仕方は、前述の「BIOS セットアップメニューの終了」をご覧ください。

Exit Without Saving(設定値を変更しないで終了)

設定値を変更しないで終了します。
終了の仕方は、前述の「BIOS セットアップメニューの終了」をご覧ください。

パスワードの設定と入力

パスワード(スーパーバイザパスワード、ユーザパスワード)を設定すると、BIOS セットアップメニュー起動時に設定したパスワードを入力しないと BIOS セットアップメニューを起動できなくなります。

パスワードの設定

パスワードには、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードがあります。
スーパーバイザパスワードとは、BIOS セットアップメニューの使用者を制限するための機能です。スーパーバイザパスワードを設定すると、BIOS セットアップメニュー起動時に設定されたスーパーバイザパスワードを入力しない限り、BIOS セットアップメニューを起動することができません。
ユーザパスワードとは、BIOS セットアップメニューの使用者を制限し、BIOS セットアップメニューで設定可能な項目も制限するための機能です。

チェック!!

設定したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまうと、本機が起動できなくなります。また、お客様自身でパスワードを解除することはできません。詳しくは、後述の「パスワードの解除」をご覧ください。

■ パスワードに使用できる文字と記号

半角英数字のみがパスワードとして使用でき、6文字以内でなければなりません。大文字 / 小文字の区別はありません。

■ スーパーバイザパスワードの設定

BIOS セットアップメニューで以下の設定を行います。

【**F2**】、【**F10**】でメニューの「System Security Setup」にカーソルを合わせる。

【Enter】を押す。

【**F2**】、【**F10**】で「Change Supervisor Password」にカーソルを合わせる。

【Enter】を押す。

「Enter new supervisor password:」と表示されます。

パスワードを入力し、【Enter】を押す。
「Retype new supervisor password:」と表示されます。

チェック!!

パスワードを入力し直したい場合は、【Esc】を押し、もう一度手順 からやり直してください。

もう一度手順 で入力したパスワードを入力し、【Enter】を押す。
「New supervisor password installed, press any key to continue」と表示されます。

【Enter】を押す。

これでスーパーバイザパスワードが設定されました。

■ ユーザパスワードの設定

BIOS セットアップメニューで以下の設定を行います。

チェック!!

ユーザパスワードは、スーパーバイザパスワードを設定しないと設定できません。

【**F2**】、【**F10**】でメニューの「System Security Setup」にカーソルを合わせる。

【Enter】を押す。

【**F2**】、【**F10**】で「Change User Password」にカーソルを合わせる。

【Enter】を押す。

「Enter new user password:」と表示されます。

パスワードを入力し、【Enter】を押す。
「Retype new user password:」と表示されます。

チェック!!

パスワードを入力し直したい場合は、【Esc】を押し、もう一度手順 からやり直してください。

もう一度手順 で入力したパスワードを入力し、【Enter】を押す。

「New user password installed, press any key to continue」と表示されます。

【Enter】を押す。

これでユーザパスワードが設定されました。

パスワードの変更

■ スーパーバイザパスワードの変更

すでにスーパーバイザパスワードが設定されている場合は、次の手順によりスーパーバイザパスワードを変更することができます。

【 】,【 】でメニューの「System Security Setup」にカーソルを合わせる。

【Enter】を押す。

【 】,【 】で「Change Supervisor Password」にカーソルを合わせる。

【Enter】を押す。

「Enter current supervisor password:」と表示されます。

今まで設定していたパスワードを入力し、【Enter】を押す。

「Enter new supervisor password:」と表示されます。

新しいパスワードを入力し、【Enter】を押す。

「Retype new supervisor password:」と表示されます。

もう一度手順 で入力したパスワードを入力し、【Enter】を押す。

「New supervisor password installed, press any key to continue」と表示されます。

【Enter】を押す。

これでスーパーバイザパスワードが変更されました。

■ ユーザパスワードの変更

すでにユーザパスワードが設定されている場合は、次の手順によりユーザパスワードを変更することができます。

【 】,【 】でメニューの「System Security Setup」にカーソルを合わせる。

【Enter】を押す。

【 】,【 】で「Change User Password」にカーソルを合わせる。

【Enter】を押す。

「Enter new user password:」と表示されます。

新しいパスワードを入力し、【Enter】を押す。

「Retype new user password:」と表示されます。

もう一度手順 で入力したパスワードを入力し、【Enter】を押す。

「New user password installed, press any key to continue」と表示されます。

【Enter】を押す。

これでユーザパスワードが変更されました。

✓チェック!

- ・ユーザパスワードの変更には、現在設定されているユーザパスワードの入力は必要ありません。
- ・パスワードが設定されている状態をクリアして、次回BIOSセットアップメニュー起動時からパスワード入力を行わないようにするには、「スーパーバイザパスワードの変更」の手順、「ユーザパスワードの変更」の手順の新しいパスワードを入力するときに、何も入力せずに【Enter】を押してください。

BIOSセットアップメニュー起動時のパスワード入力

パスワードを設定すると、次回BIOSセットアップメニュー起動時に、「Enter CURRENT Password:」と表示されます。

- ・スーパーバイザパスワードのみを設定している場合
スーパーバイザパスワードを入力して【Enter】を押すと、BIOSセットアップメニューが起動します。
- ・スーパーバイザパスワードとユーザパスワードの両方を設定している場合
スーパーバイザパスワード、またはユーザパスワードを入力して【Enter】を押すと、BIOSセットアップメニューが起動します。
ただし、ユーザパスワードでBIOSセットアップメニュー起動すると、以下の項目が設定できなくなります。
- ・System Security Setup(システムセキュリティ設定)
Change Supervisor Password、Boot Password Requiredの項目

チェック!

- ・パスワードの入力を間違えると、「Enter CURRENT Password: X」と表示されますので、【Enter】を押してもう一度パスワードを入力してください。3回誤ったパスワードを入力すると、本機の起動およびBIOSセットアップメニューの起動が行えなくなります。電源を切って本機を再起動してください。

パスワードの解除

本機ではユーザパスワードとスーパーバイザパスワードを設定できます。これらのパスワードを忘れると、本機を起動できなくなります。パスワードを忘れてしまった場合は、解除処置が必要です。Bit-INN、NEC サービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

- ・パスワードの解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り、処置をお受けいたします。
- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。
 1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 2. 身分証明書(お客様ご自身を証明できるもの)
 3. 印鑑
- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身より専用の用紙に必要事項を記入/捺印していただくことが必要です。専用用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

デバイスマネージャ

デバイスマネージャとは、プラグ&プレイ準拠のデバイス管理ソフトです。本機に接続されるデバイスの状態確認のほか、ドライバやリソースの設定 / 変更などができます。

✓チェック!!

「CyberTrio-NX」のモードが「ベーシックモード」の場合は、デバイスマネージャでの設定はできません。「アドバンスモード」に変更して、設定をしてください。

📖参照

・モードの変更 PART1「Windows 98の利用環境の変更 CyberTrio-NX」

起動

コントロールパネルを開く。
(「スタート」「設定」「コントロールパネル」)



「システム」をダブルクリック。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!!

CyberTrio-NXの警告画面が表示されたら「アドバンスモードに変更」をクリックしてから、もう一度「システム」をダブルクリックしてください。



「デバイスマネージャ」タブをクリック。
「デバイスマネージャ」タブのウィンドウが表示されます。



✓チェック!!

「PS/2 互換マウスポート」に黄色い「！」がついていますが、異常ではありません。

デバイスドライバの変更

ここでは、例としてプリンタドライバを変更してみます。

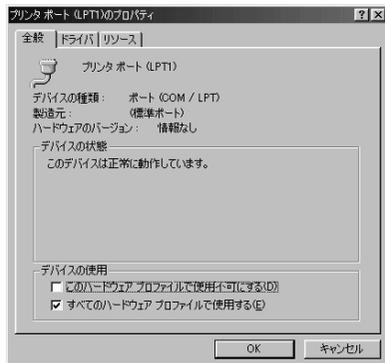
「デバイスマネージャ」タブのウィンドウを開く。
(「スタート」「設定」「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」)



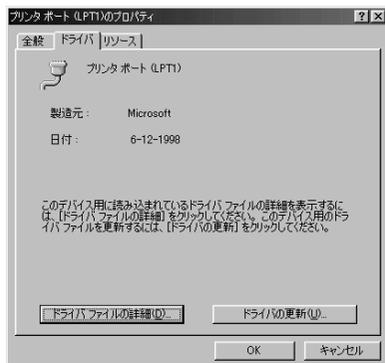
「ポート (COM/LPT)」をダブルクリック。
 「ポート (COM/LPT)」フォルダの内容が表示されます。



「プリンタポート (LPT1)」をダブルクリック。
 「プリンタポート (LPT1)」のプロパティウィンドウが表示されます。



「ドライバ」タブをクリック。
 「ドライバ」タブのウィンドウが表示されます。



「ドライバの更新」をクリック。
 「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。



「次へ」をクリック。
 次のウィンドウが表示されます。



「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選んで、「次へ」をクリック。
 次のウィンドウが表示されます。



「すべてのハードウェアを表示」を選ぶ。
 「モデル」の欄に、デバイスドライバの一覧が表示されます。



必要なデバイスドライバを選んで、「次へ」をクリック。
 次のウィンドウが表示されます。



「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック。
「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。



「はい」をクリック。
コンピュータの再起動が始まります。
以上で、デバイスドライバの変更操作は終了です。

デバイスのリソース設定の変更

通常、プラグ&プレイ準拠のデバイスは、デバイスマネージャによって調停されています。つまり、別々のデバイスが、同じリソースを要求する場合、設定変更は自動的に行われます。したがって、どうしても必要な場合を除いては、リソース設定は基本的に変更する必要はありません。しかし、リソース設定固定のデバイスを使用して、他のデバイスと競合する場合は、次のようにしてリソース設定を変更します。

ここでは、プリンタポートのリソースを変更してみます。

「デバイスマネージャ」タブのウィンドウを開く。
（「スタート」「設定」「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」）



「ポート (COM/LPT)」をダブルクリック。
「ポート (COM/LPT)」フォルダの内容が表示されます。



「プリンタポート (LPT1)」をダブルクリック。
「プリンタポート (LPT1) のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



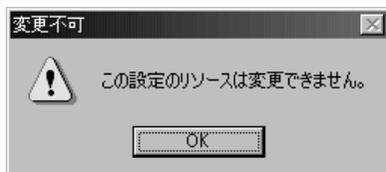
「リソース」タブをクリック。
「リソース」タブのウィンドウが表示されます。



「自動設定を使う」のチェックをはずす。
「設定の変更」ボタンが濃い表示になり、有効になります。



ここで、「リソースの種類」から変更したい「I/Oの範囲」または「割込み要求」をクリックして、「設定の変更」をクリックすると、リソースの変更ができます。ただし、次のようなメッセージが表示されたデバイスは、リソースの変更はできません。



✓チェック!

デバイスによっては、readmeファイル(「はじめにお読みください」)に、変更方法が記載されていることがあります。

割り込みレベルとDMAチャンネル

本機に内蔵されている各種のインターフェイスで使用される「割り込みレベル」、「DMAチャンネル」について説明します。

概要

パソコンで使用できる周辺機器は、すべて「リソース」というものを使用しています。リソースには、大きく分けて「割り込みレベル(IRQ)」、「DMA」などがあります。

割り込みレベルのことをWindows 98では「割り込み要求」と呼びます。これは、複数の機器から同時にCPUにアクセスしたときに、どのような順序で処理していくかを定めるものです。

DMAとはCPUを経由せずに周辺機器とメモリとのデータのやり取りを制御する機能のことです。ほとんどの周辺機器は、メモリからデータを読み出ししたり、書き込んだりするときに、CPUへ処理を依頼します。しかし、一度に大量のデータを転送すると、CPUは作業を中断して、データの転送にかかりきりになってしまいます。そこで、CPUの作業を中断することなくデータの転送を行える機能が考えられました。これがDMA(Direct Memory Access)です。

これらのリソースは、それぞれの機器ごとに違う設定をしなければなりません。リソースが複数の機器に重複して割り当てられている状態を「リソースの競合」と表現します。リソースが競合していると、機器が正常に使用できないばかりか、システム全体の動作も不安定になってしまいます。

Windows 98などのOSでは、ひとつの割り込みレベルを複数の機器で使用できることがあります。このようにリソースを共用することを「リソースをシェアする」と表現します。この場合は、そのまま機器を利用できます。

✓チェック!!

「CyberTrio-NX」のモードが「ベーシックモード」の場合は、次の手順での設定はできません。「アドバンストモード」に変更して設定してください。

📖参照

- ・モードの変更方法 PART1「Windows 98の利用環境の変更 CyberTrio-NX」

リソースの設定状況の確認

割り込みレベル、DMAの設定状況は、次のようにして確認できます。

✓チェック!!

手順中での画面は、機種や周辺機器の接続状況によって異なります。

- 「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」「設定」「コントロールパネル」)



- 「システム」をダブルクリック。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



「デバイスマネージャ」タブをクリック。
「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。



「コンピュータ」が反転表示されていることを確認してください。

反転表示していないときは、クリックして選んでください。

「プロパティ」をクリック。
「コンピュータのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



リソースは「割り込み要求 (IRQ)」が選ばれています。
確認したいリソースを選ぶ。

リソースの競合

リソースの競合が最も起きやすいときは、本機に新しい機器を追加接続したときです。また、通常Windows 98は、新しい機器を検知した際にシステムの状態を調べます。新しい機器がプラグ&プレイに対応している場合は、リソースが競合しないように自動的に設定されます。新しい機器がプラグ&プレイに対応していない場合でも、リソースが競合する場合には、ドライバを組み込みません。本機が起動しなくなるような競合に対しては、二重三重の保護機能が働いています。

リソースの競合の発生の確認

リソースの競合の発生は、「スタート」「設定」「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」で開くことができる「デバイスマネージャ」ウィンドウで確認できます。ドライバの異常、リソースの競合など何らかの障害があると、アイコンに「！」マークか赤い「x」マークが表示されます。このような異常が表示された場合は、まず、その機器を選んで「プロパティ」ボタンをクリックします。「全般」タブのウィンドウの中の「デバイスの状態」の欄で、異常の原因を調べます。異常の原因がリソースの競合である場合は、次の手順で解決してください。
例として、通信ポートに異常があるとします。

「リソース」タブをクリック。
「リソース」のウィンドウが表示されます。



「自動設定を使う」のチェックボックスのチェックマークをはずす。

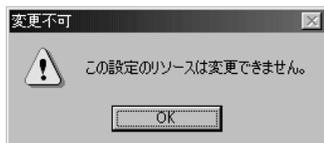


「リソースの種類」から競合しているリソースを選び、ダブルクリック。

表示されたリソースの設定値を変更する。

☑️ **チェック!!**

選んだ機器やリソースの種類によっては、次のようなメッセージが表示されて、設定値を変更できない場合があります。



その場合は、競合しているもう一方の機器の設定値を変更してください。

本機を拡張するときの注意

PCカードを複数枚使用する場合、本機の割り込みレベルが不足することがあります。この場合はデバイスマネージャで、現在使用していないカードのプロパティを開き、「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェックボックスをチェックして、割り込みレベルを解放してください。

機器によって使用できるリソースが限定される場合があります。カードなどに添付のマニュアルをご覧ください。なってから機器の取り付けを行ってください。

電源管理モードについて

本機の電源管理のモードである ACPI モードと APM モードについて説明します。

ACPI モードと APM モード

本機には、省電力機能を使うための電源管理のモードとして、ACPIモードと APM モードの2つのモードが使用できます。
ご購入時には ACPI モードに設定されています。

ACPI モード

ACPI(Advanced Configuration and Power Interface)を使って、電源管理を行うモードです。ACPIとは、パソコンや周辺機器の電源管理を、本機のOSであるWindows 98で行うためのしくみです。

APM モード

APM(Advanced Power Management)を使って、電源管理を行うモードです。APMとは、パソコンや周辺機器の電源管理を、BIOSで行うためのしくみです。
次のような場合には、APM モードを使用します。

- ・「Timer-NX」を使って、電源が切れている状態から、時間を指定して電源を入れる場合

モードの確認

本機がどちらのモードで動作しているかは、「Microsoft システム情報」または「デバイスマネージャ」で確認できます。

- Microsoft システム情報で確認する
次の手順で確認します。

「Microsoft システム情報」を起動する。
(「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」「システム情報」)

「コンポーネント」をダブルクリックして、「システム」をクリック。
システムデバイスが表示されます。
表示されたデバイスリストをスクロールして、次のデバイスがあることを確認します。

- ・ ACPI モードのとき

「Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) BIOS」と表示される



- ・ APM モードのとき

「アドバンスド パワー マネジメント サポート」と表示される



4

本機の設定を変更する

■ デバイスマネージャで確認する

🔍 チェック!

「デバイスマネージャ」は、「CyberTrio-NX」のモードが「アドバンスモード」のときに使用できます。「アドバンスモード」に変更してから、確認の手順を行ってください。

📖 参照

・モードの変更 PART1「Windows 98の利用環境の変更 CyberTrio-NX」

次の手順でモードを確認します。

「コントロールパネル」を起動する。
（「スタート」「設定」「コントロールパネル」）
「コントロールパネル」が起動します。

「システム」をダブルクリック。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「デバイスマネージャ」タブをクリック。
「デバイスマネージャ」タブのウィンドウが表示されず。

「システムデバイス」をダブルクリック。
「システムデバイス」フォルダの内容が表示されます。
このフォルダに次のデバイスがあることを確認します。

・ACPIモードのとき
「ACPI x x x」など

・APMモードのとき
「アドバンス パワー マネジメント サポート」

モードの切り替え

モードの切り替え時の注意

- ・ACPIモードでは、電源管理用に割り込み要求(IRQ)を1つ使用します。
- ・モードの切り替えは、購入時のセットアップ直後か、再セットアップ直後のみできます。
- ・ACPIモード(購入時)からAPMモードに切り替えた後、APMモードからACPIモードに戻すには再セットアップが必要です。

📖 参照

再セットアップ 『困ったときのQ&A』「PART3 再セットアップするには」

- ・モードの切り替え時にドライバを要求された場合は、画面の指示にしたがって、C: ¥Windows¥Options ¥Cabs よりドライバを組み込んでください。

ACPIモードから APMモードに切り替える

「APMモードに必要なデバイスを組み込む」
「ソフトウェアパワーオフ機能を有効にする」
「ディスプレイの表示の設定を元に戻す」の順に設定をしてください。

■ APMモードに必要なデバイスを組み込む

「C:¥Modechg」フォルダを開く。
（「マイコンピュータ」「Windows 98(C:)」
「Modechg」）

「acpi_apm」をダブルクリック。
次の画面が表示されます。



「OK」をクリック。
次の画面が表示されます。



「OK」をクリック。

「ハードウェアの追加」を起動する。
（「スタート」「設定」「コントロールパネル」
「ハードウェアの追加」）
「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「次へ」をクリック。

「デバイスは一覧にない」を選んで、「次へ」をクリック。

「はい」が選ばれていることを確認して、「次へ」をクリック。

「次へ」をクリック。
ハードウェアの検出が始まります。しばらくお待ちください。

「完了」をクリック。

「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら「はい」をクリック。
本機が再起動します。

640 × 480 ドット、16色画面となり、「ソフトウェアパワーオフ機能は無効です。」と表示されたら「OK」をクリック。

デバイスの組み込みが終了した後、「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら「はい」をクリック。
本機が再起動します。

「ソフトウェアパワーオフ機能は無効です。」と表示されたら「OK」をクリック。

🔍 チェック!

「OK」をクリックできない場合は、キーボードの【Enter】を押してください。

■ ソフトウェアパワーオフ機能を有効にする

「ハードウェアの追加」を起動する。
 (「スタート」「設定」「コントロールパネル」
 「ハードウェアの追加」)
 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「次へ」をクリック。

「デバイスは一覧にない」を選んで、「次へ」をクリック。

「はい」が選ばれていることを確認して、「次へ」をクリック。

「次へ」をクリック。

ハードウェアの検出が始まります。しばらくお待ちください。

「完了」をクリック。

本機を再起動する。
 (「スタート」「Windowsの終了」「再起動する」
 「OK」)

「C:\Modechg」フォルダを開く。
 (「マイコンピュータ」「Windows 98(C:)」
 「Modechg」)

「acpioff2」をダブルクリック。

「C:\MODECHG\ACPIOFF2.REG」の情報をレジストリに追加しますか?」と表示されたら「はい」をクリック。

「C:\MODECHG\ACPIOFF2.REG」の情報が、レジストリに正しく入力されました。」と表示されたら「OK」をクリック。

本機を再起動する。
 (「スタート」「Windowsの終了」「再起動する」
 「OK」)

■ ディスプレイの表示の設定を元に戻す

「画面のプロパティ」を起動する。
 (「スタート」「設定」「コントロールパネル」「画面」)
 「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「設定」タブをクリック。
 「設定」タブのウィンドウが表示されます。

色から「High Color(16ビット)」を選んで、「OK」をクリック。

「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」と表示されたら「はい」をクリック。
本機が再起動します。

再起動後、「画面のプロパティ」を起動する。
 (「スタート」「設定」「コントロールパネル」「画面」)
 「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「設定」タブをクリック。
 「設定」タブのウィンドウが表示されます。

画面の領域から、「1024 × 768」を選んで「OK」をクリック。

「Windowsはデスクトップのサイズを変更します。これには数秒かかり、画面がちらつく場合もあります。Windowsが正しく再表示されない場合は、約15秒待つと元の設定に戻ります。」と表示されます。

「OK」をクリック。

「デスクトップのサイズを変更しました。この設定を保存しますか?」と表示されたら「はい」をクリック。
ディスプレイの表示の設定が元の色数、解像度に戻ります。

これで、本機が APM モードになりました。

切り替えた後の注意

- ・APMモードからACPIモードに切り替えるには、再セットアップが必要です。



再セットアップ 『困ったときのQ&A』PART3 再セットアップするには」

- ・「今後、待機状態にならないようにしますか？」のメッセージが表示された場合は「いいえ」を選んでください。
- ・別売の98配列USBキーボードをご利用の場合、ACPI/APMのモードの切り替えを実行すると、キーボードの設定が「106日本語(A01)」に変わってしまいます。切り替え完了後、98配列USBキーボードドライバを再設定してください。設定方法は、「スタート」ボタン「プログラム」「追加情報」の「Q:別売の98配列USBキーボード(PK-KB011)を使いたい」をご覧ください。

APMモードで本機を利用するときの注意

タイマー機能を利用するときの注意

APMモードを使用すると、タイマー機能(「Timer-NX」)を使って、電源が切れている状態から時刻を指定して電源を入れることができます。

■ Timer-NX を利用するときの注意

- ・電源を切る時刻を指定しない場合は、自動的に電源が入っても、自動的に電源を切ることができません。
- ・ネットワークの設定をしたり、「コントロールパネル」の「パスワード」や「ユーザー」の設定をしてWindows 98を起動するときに、パスワードやユーザー名を入力する画面が表示されるように設定していると、「Timer-NX」を使用して本機の電源を入れても、ユーザ名、パスワードの入力待ちの状態のままです。
- ・BIOSセットアップメニューで、「ユーザパスワード」「スーパーバイザパスワード」を設定していると、「Timer-NX」を使用して本機の電源を入れても、パスワード入力待ち状態で止まってしまいます。「Timer-NX」で自動的に本機の電源を入れる場合は、BIOSセットアップメニューで、「Boot Password Required」を「No」に設定してください。

・「Timer-NX」で自動的に本機の電源を入れる場合は、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットしないようにしてください。

・タイマプログラムで指定した時刻とほぼ同じ時刻に手で電源を入れた場合は、タイマーで起動したものと判断される場合があります(2~3分の誤差があります)。

・タイマプログラムを複数の曜日に設定している場合は、Windowsの終了時に次回起動予定の曜日が保存されます。このため、手で電源を入れ、「Timer-NX」を起動すると、次回起動予定の曜日が初期値として表示されます。

・設定後に電源を切った状態で、本機の電源ケーブルを抜いたり、停電になったりした場合は、設定が無効になります。この場合、もう一度電源を入れ、Windowsが起動すると再設定されます。

■ インターネットアクセスマネージャで、Timer-NXと連携してオートパイロットするときの注意

・APMモードを使用すると「Timer-NX」と連携して、オートパイロットの開始時間に電源を入れ、オートパイロット終了後に電源を切ることができます。

・「Timer-NX」と連携してオートパイロットを行う場合は「オートパイロット終了と同時に」で設定されている内容とは関係なくオートパイロット終了後に回線を切断し、電源を切ります。

赤外線通信機能を利用するときの注意

APMモードで赤外線通信機能を利用する場合は、以下の手順に従ってBIOSセットアップメニューで赤外線有効にしてください。

電源を入れ、「Press < F2 > to Enter Setup」と表示されたら、すぐに【F2】を押す。

BIOSセットアップメニューが表示されます。

🔍 チェック!!

Windowsが起動した場合は、Windowsを終了して電源を切り、もう一度手順 をやり直してください。



BIOSセットアップメニュー PART5「BIOSセットアップメニュー」

「Peripheral Setup」にカーソルを合わせ、【Enter】を押します。

「IR Serial Port」を「Auto」に設定します。

【Esc】を押し、【F10】を押す。
確認の画面が表示されます。

「Y」になっていることを確認して【Enter】を押す。
変更が保存され、BIOS セットアップメニューが終了した後、Windows が起動します。

これで設定は完了です。

電源スイッチを使ってスタンバイ状態にするときの注意

APM モードで、電源スイッチを使ってスタンバイ状態にするには、BIOS セットアップメニューの「Power Management Setup」-「System Switch」で「Sleep Button」に設定する必要があります。購入時の状態では、「Power Button」に設定されています。



参照

BIOS セットアップメニュー PART4「BIOS セットアップメニュー」

その他の注意

電源スイッチで、電源を切るときの動作

電源スイッチを押して、強制的に電源を切るときの動作は、APM モードの場合と ACPI モードの場合で違います。

APM モードの場合(*1)	終了確認のメッセージが表示されます。
ACPI モードの場合(*2)	終了確認のメッセージは表示されず、シャットダウン処理を行い、そのまま電源が切れます。 アプリケーションを使用中の場合は、アプリケーションの終了確認のメッセージ(「保存しますか?」など)が表示されることがあります。

(*1): BIOS セットアップメニューの「Power Management Setup」-「System Switch」で「Power Button」に設定されている場合。

(*2): 「コントロールパネル」の「電源の管理」-「詳細」タブ-「コンピュータの電源ボタンを押したとき」で「シャットダウン」に設定されている場合。

付 録

Windows 98 で MS-DOS モードを利用する
Windows NT 4.0 の利用
機能仕様
FAX モデム機能仕様
AT コマンド

Windows 98 でMS-DOS モードを利用する

Windows 98のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOS モードを利用する

MS-DOSモードを利用すると、MS-DOSで起動したときと同じような環境で本機を使うことができます。

本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

「スタート」「Windowsの終了」をクリック。

「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」をクリック。

本機がMS-DOSモードで再起動します。

MS-DOSモードを終了する

コマンドプロンプトの画面から、次のように入力。
EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。

「MS-DOSモード」は、MS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。

「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 98上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。

「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

「スタート」「プログラム」「MS-DOSプロンプト」をクリック。

「MS-DOSプロンプト」ウィンドウが表示されます。

なお、コマンドやアプリケーションによっては、「MS-DOSモード」からは使用できないものや「MS-DOSプロンプト」からは使用できないものがあります。

CD-ROM ドライブ (本機内蔵 CD-ROM ドライブ)

本機は、購入時の状態では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使用することはできません。MS-DOSモードで本機内蔵のCD-ROMドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

現在のMS-DOS設定を使う場合

MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順を行ってください。

「スタート」「Windowsの終了」をクリック。

「MS-DOSモードで再起動する」を選んで、「OK」をクリック。

本機がMS-DOSモードで再起動します。

コマンドプロンプトの画面から次のように入力する。

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライブがCONFIG.SYSとDOSSTART.BATに追加されます。

SETCDコマンドを実行する前のCONFIG.SYSとDOSSTART.BATは、それぞれCONFIG.SCD、DOSSTART.SCDとして保存されます。

コマンドプロンプトの画面から次のように入力します。

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

「スタート」「Windowsの終了」をクリック。

「再起動する」を選んで、「OK」をクリック。

本機を再起動します。

「スタート」「Windowsの終了」をクリック。

「MS-DOSモードで再起動する」を選んで、「OK」をクリック。

MS-DOSモードが起動します。

CD-ROMドライブがQドライブに設定されます。

新しいMS-DOS 設定を指定する場合

新しいMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

「エクスプローラ」を起動する。
 (「スタート」「プログラム」「エクスプローラ」)
 「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。

新しいMS-DOS設定を指定したいMS-DOSプログラム(「COMMAND.COM」)をクリック。
 プログラム名が反転表示されます。

「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリック。
 「プロパティ」ウィンドウが表示されます。

「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリック。
 「プログラムの詳細設定」ウィンドウが表示されます。

「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける。
 CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。

「OK」をクリック。
 「プログラムの詳細設定」ウィンドウが閉じます。

「OK」をクリック。
 「プロパティ」ウィンドウが閉じます。

「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定を指定したプログラムをダブルクリック。
 MS-DOSモードが起動します。

チェック!

「このプログラムはMS-DOSモードで実行するように設定されており、ほかのプログラムの動作中には実行できません。続行するとほかのプログラムを全て終了します。続行しますか?」と表示されます。

コマンドプロンプトの画面から次のように入力する。

```
SETCD /A【Enter】
```

CD-ROMドライブがCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATに追加されます。

SETCD コマンドを実行する前のCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATは、それぞれCONFIG.SCD、AUTOEXEC.SCDとして保存されます。

コマンドプロンプトの画面から次のように入力する。

```
EXIT【Enter】
```

Windows 98 が再起動します。

「エクスプローラ」を起動する。
 (「スタート」「プログラム」「エクスプローラ」)
 「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。

新しいMS-DOS設定を指定したプログラムをダブルクリック。

MS-DOSモードが起動して、CD-ROMドライブがQドライブに設定されます。

Windows NT 4.0 の利用

本機で別売の Windows NT Workstation 4.0 (以下、Windows NT 4.0) を利用する場合のセットアップ手順およびアップグレード手順について説明します。

ここでの説明では次のようなドライブ構成を想定しています。これと異なるドライブ構成で利用する場合は読み替えてください。

Windows 98がインストールされているドライブおよびWindows NT4.0をインストールするドライブ

	: Cドライブ
フロッピーディスクドライブ	: Aドライブ
CD-ROMドライブ	: Eドライブ

Windows NT 4.0 をセットアップする前に

まず、「セットアップする前の準備」を行ってください。

✓チェック!!

Windows NT Server 4.0 は使用できません。

セットアップする前の準備

セットアップを開始する前に、次のことを確認してください。

- フロッピーディスクの用意
あらかじめ、フロッピーディスクを1枚用意してください。
 - ・1.44Mバイトでフォーマットしておくこと。
 - ・フォーマット時にシステムの転送は行わないこと。
 - ・「システム修復ディスク」と書いたラベルを貼っておくこと。

■ README.TXT を読む

「アプリケーションCD-ROM」の「NT40」フォルダ内にある「README.TXT」には、マニュアルに記載されていない補足事項が書かれています。セットアップを行う前に必ずお読みください。

■ ドライバのインストール

ドライバのインストールを行う場合は、アドミニストレータの権限を持ったユーザーが行ってください。

■ 本体内蔵ハードディスクのフォーマット

本体内蔵のハードディスクは、FAT32形式でフォーマットされているため、そのままではWindows NT 4.0はセットアップできません。

『困ったときのQ&A』「PART3 再セットアップするには」をご覧ください。ハードディスクをFAT16形式のフォーマットになるようにカスタム再セットアップしてください。

Windows NT 4.0 を利用するための手順

必ず、ここに書いてある手順通りにセットアップ、アップグレードを行ってください。

1. システム設定の変更
2. Windows NT 4.0 のセットアップ
3. USB 接続のキーボードドライバのセットアップ
4. Windows NT 4.0 アップデートサービス Service Pack 3 のセットアップ
5. ドライバのアップデート
6. 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ
7. 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ
8. 内蔵FAXモデム対応ドライバのセットアップ

Windows NT 4.0 のセットアップとアップグレード

1. システム設定の変更

BIOS セットアップメニューで、次のようにシステム設定を変更してください。

✓チェック!!

この操作は、Windows NT 4.0 を利用する場合のみ行ってください。

本機の電源を入れる。

「NEC」のロゴ画面で、「Press < F2 > to Enter SETUP」と表示されたら、【F2】を押す。BIOS セットアップメニューが起動します。

「Peripheral Setup」で、次のように設定する。

- ・ Serial Port : Auto
- ・ Parallel Port : Auto

「Save Setting and Exit(変更を保存して終了する)」でBIOSセットアップメニューを終了させて、本機の電源を切る。

2. Windows NT 4.0 のセットアップ

Windows NT 4.0 添付のマニュアルをご覧になり、次の手順でセットアップを行ってください。

ただし、次のことに注意してください。

- ・ Windows NT 4.0 のセットアップが正常に終了したら、次の「ドライバのアップデート」の手順に進むこと。
- ・ Windows NT 4.0 のセットアップ中にディスプレイの設定画面が表示され、「Vga互換ディスプレイアダプタ」が検出されました。」と表示されたら、そのまま「OK」をクリックして、処理を続行すること。

「Windows NT 4.0 Setup Disk 1」を、フロッピーディスクドライブにセットして本機の電源を入れる。

画面の指示にしたがってセットアップを行う。セットアップの途中で、「キーボードの種類を選択」ウィンドウが表示されます。

106 日本語キーボードを選択する(【半角/全角】を押し)。

✓チェック!!

ここでは接続しているキーボードの種類にかかわらず、「106 日本語キーボード」を選択してください。

「コンピュータには次のハードウェアとソフトウェアがあります。」と表示されます。

「上記の一覧は使用中のコンピュータと一致します。」を選択し、【Enter】を押す。

キーボードドライバの変更はグラフィックセットアップの完了後に行います。

ファイルのコピー終了後、画面の指示に従いドライブよりフロッピーディスク、CD-ROMを取り出して、本機を再起動する。

これでWindows NT 4.0のテキストセットアップは終了しました。

再起動すると、CD-ROMの挿入要求のメッセージが表示されます。

「Windows NT Workstation CD-ROM Disc 1」をCD-ROMドライブにセットして「OK」をクリック。後は画面の指示に従ってセットアップを行ってください。

セットアップが完了したら、次の「USB接続のキーボードドライバのセットアップ」に進んでください。

3. USB 接続のキーボードドライバのセットアップ

別売のUSB109キーボード、USB小型キーボード、USB98配列キーボードをお使いになるための各USBキーボードドライバが「アプリケーションCD-ROM」に格納されています。ここでは、USB接続のキーボードドライバのセットアップの手順について説明します。

コントロールパネルを起動する。
(「スタート」「設定」「コントロールパネル」)

「キーボード」をダブルクリック。

「全般」タブをクリック。

「変更」をクリック。

「ディスク使用」をクリック。
ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするように指示されます。

「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする。

「E:¥NT40¥USB」と指定して「OK」をクリック。
「デバイスの選択」ウィンドウが表示されます。

「USB109日本語キーボード(JIS配列)」を選択して「OK」をクリック。

✓チェック!!

USB98配列キーボードの場合は「USB PC-9800配列キーボード」を選択してください。

「USB Keyboard with Mouse Driver Disk」のラベルの付いたコンパクトディスクをCD-ROMドライブに挿入して[OK]をクリックしてください。・・・と表示されます。

「OK」をクリック。
「ファイルが必要」ウィンドウが表示されます。

「参照」をクリック。
「ファイルを見つけます」ウィンドウが表示されます。

「開く」をクリック。

「OK」をクリック。

「閉じる」をクリック。

「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」と表示されます。

CD-ROM ドライブから「アプリケーション CD-ROM」を取り出して「はい」をクリック。

4. Windows NT 4.0 アップデートサービス Service Pack 3 のセットアップ

本機で Microsoft Windows NT 4.0 アップデートサービス「Service Pack 3 (以下 Service Pack 3)」を利用する場合は、必ず次の手順を行ってください。

Service Pack 3 の「README.TXT」を読む。

Service Pack 3 のセットアップを行う。

🔍チェック!

ファイルのコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選んでください。

再起動を促すメッセージが表示されますが、ここでは絶対に再起動せずにそのまま「ドライバのアップデート」の手順に進む。

5. ドライバのアップデート

本機の機能を有効に使うために、次の手順で Windows NT 4.0 のドライバをアップデートします。

🔍チェック!

ドライバをアップデートする前に Microsoft Windows NT 4.0 アップデートサービス「Service Pack 3」をセットアップしておいてください。

コマンドプロンプトを起動する。

(「スタート」「プログラム」「コマンドプロンプト」)

「アプリケーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする。

アップデートを実行する。

コマンドプロンプトから次のように入力します。

```
E:【Enter】
CD ¥NT40【Enter】
UPDATE【Enter】
```

次のウィンドウが表示されたら、内容をよく読んで「OK」をクリック。

ファイルのコピーが開始されます。



次のウィンドウが表示されたら、「Windows NTに戻る」をクリック。



CD-ROM ドライブから「アプリケーション CD-ROM」を取り出し、Windows NT 4.0 を再起動する。

設定は、本機の再起動後に有効になります。

以上でドライバのアップデートは完了です。

6. 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

本機内蔵アクセラレータを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

「スタート」「設定」「コントロールパネル」をクリック。

「画面」をダブルクリック。

「ディスプレイの設定」タブをクリック。

「ディスプレイの種類」をクリック。

「変更」をクリック。

「ディスク使用」をクリック。

ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするよう指示されます。

「アプリケーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする。

「フロッピーディスクからインストール」ウィンドウで次のように入力して、「OK」をクリック。

```
E:¥NT40¥RAGELT
```

「ディスプレイ」のリストから次のものを選び、「OK」をクリック。

```
「ATI 3D Rage LT Pro PCI」
```

ドライバ組み込み確認のメッセージが表示されるので「はい」をクリック。

ドライバ組み込み結果が表示されるので「OK」をクリック。

「閉じる」をクリック。

「閉じる」をクリック。

再起動を促すメッセージが表示されたら、CD-ROMドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出し、「はい」をクリック。

自動的にWindows NT 4.0が再起動されます。

以上で内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップは完了です。

7. 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ

本体内蔵サウンド機能を利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

「スタート」「設定」「コントロールパネル」をクリック。

「マルチメディア」をダブルクリック。

「デバイス」タブをクリック。

「追加」をクリック。

ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックして、「OK」をクリック。
ドライバのインストール画面が表示されます。

「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする。

次のようにCD-ROMドライブ名とディレクトリ名を指定して、「OK」をクリック。

```
E: ¥NT40¥maestro2
```

ドライバの一覧に次のドライバが選択されていることを確認して「OK」をクリック。

```
ESS Maestro PCI Driver 4.00.18
```

パラメータの設定画面が表示されたら「OK」をクリック。

再起動を促すメッセージが表示されたら、CD-ROMドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出して「再起動する」をクリック。

自動的にWindows NTが再起動されます。

以上でサウンドドライバのセットアップは完了です。

8. 内蔵FAXモデム対応ドライバのセットアップ

本体内蔵FAXモデムを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

「スタート」「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「シリアルポート」を開く。

「追加」をクリック。

「新しいポートの詳細設定」画面で各設定を選ぶ。
「COMポートの番号」は必ず「2」を選択してください。「I/Oポートアドレス」、「割り込み番号(IRQ)」は他のデバイスと競合しない値を選んでください。

「OK」をクリック。

「システム設定の変更」画面で「再起動しない」をクリック。

「閉じる」をクリック。

「スタート」「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「モデム」を開く。

「新しいモデムのインストール」が起動するので、「モデムの一覧から選択するので検出しません」をチェックして、「次へ」をクリック。

「ディスク使用」をクリック。

「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする。

「配布ファイルのコピー元」に次のように入力して「OK」をクリック。

```
E: ¥NT40¥LTMODEM
```

次のモデムを選択し、「次へ」をクリック。

「NEC Fax Modem 56K Data+Fax+Voice (ZUQC)」

「選択したポート」をクリックし、「COM2」を選択して「次へ」をクリック。

「所在地情報」が表示されたら、所在地情報を入力して「次へ」をクリック。

チェック!!

「所在地情報」のウィンドウは、1回目のモデムセットアップ時のみ表示されます。すでに他のモデムをセットアップしているときなどは、「所在地情報」ウィンドウが表示されないことがあります。

「モデムは正常にセットアップされました」というメッセージが表示されるので、「完了」をクリック。

「モデムのプロパティ」が表示されるので「閉じる」をクリック。

CD-ROM ドライブから「アプリケーション CD-ROM」を取り出す。

本機を再起動する。

(「スタート」「シャットダウン」「再起動する」「OK」)

以上で内蔵FAX モデムのセットアップは完了しました。

本機で Windows NT 4.0 を利用するときの注意

- ・本機に添付されている Windows NT 4.0 のドライバは、本機専用です。他機種では使用しないでください。
- ・リモートアクセスサービスを設定する場合は、「内蔵 FAX モデムのセットアップ」の手順で FAX モデムをセットアップした後、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動して行ってください。リモートアクセスサービスの設定については、Windows NT 4.0 のマニュアルやオンラインヘルプをご覧ください。
- ・Windows NT 4.0 は、NEC 製のキーボード、USB ハブ内蔵液晶ディスプレイ以外の USB 機器をサポートしていません。
- ・Windows NT 4.0 実行中にキーボードの抜き差しはしないでください。
- ・省電力機能(スタンバイ)で問題が発生する場合は、省電力機能(スタンバイ)を無効にしてください。
- ・BIOS セットアップメニューで「Power Management Setup」を次のように設定します。

System Switch: Power Button

Power Savings Level: Off

機能仕様

VF26D/6

モデル		VF26D/6GC VF26D/6GD	VF26D/6YC VF26D/6YD	
CPU		モバイル Pentium®II プロセッサ (266MHz) キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ512Kバイト (CPUに内蔵)		
メモ リ	BIOS ROM	256Kバイト、プラグ&プレイ対応		
	メインRAM	64Mバイト (最大256Mバイトまで増設可能) *ユーザーズメモリ63.6Mバイト (最大255.6Mバイト)		
	RAM 1	DIMMスロット×2 (うち1スロットに64Mバイトメモリを取り付け済)		
	ビデオRAM	4Mバイト		
表 示 機 能	表示素子	15インチ広視野角TFT	14.1インチ広視野角TFT	
	グラフィックアクセラレータ	ATI Technologies社製 3D RAGE™ LT PRO搭載		
	グラフィック表示	640×480ドット	16色/256色/65,536色/1,677万色*	
		800×600ドット	256色/65,536色/1,677万色*	
		1,024×768ドット	256色/65,536色/1,677万色*	
1,280×1,024ドット 2		256色/65,536色/1,677万色		
	1,600×1,200ドット 2	256色/65,536色		
	*デザイン機能による表示			
入 力 装 置	キーボード	JIS標準配列 (英数、カナ)、テンキー、12ファンクションキー、Windowsキー アプリケーションキー付セパレートタイプ、USBコネクタに接続 USBバスパワーハブ (2ポート) 付き (マウスにより1ポート使用)		
	マウス	スクロール機能付きマウス標準装備 (添付のキーボードに接続)		
補 助 記 憶 装 置	フロッピーディスク ドライブ	3.5インチフロッピーディスクドライブ1台内蔵 720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイトフロッピーディスク使用可能		
	ハードディスク	約4.3Gバイト Microsoft Windows 98をインストール済		
	CD-ROM	最大24倍速 (平均17倍速) CD-ROMドライブ標準搭載		
サ ウ ン ド 機 能	サウンドチップ	ESSテクノロジー社製 ES1978S搭載 (Maestro2E)		
	PCM録音・再生機能	内蔵 (ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz)、全二重対応		
	MIDI音源機能	ウェーブテーブルシンセサイザー機能搭載 (GM 演奏モード対応)		
	スピーカ	ステレオスピーカ内蔵		
3	サラウンド	エンハンスド・ステレオ機能、3Dポジショニング機能		
PCカードスロット		TYPE ×2スロット (TYPE ×1も可) PC Card Standard準拠 Card Bus/ZVポート対応		
通 信 機 能	モデム	データ転送速度 最大送信33.6Kbps / 最大受信56Kbps、V.90、K56flex、V.34、V.32bis、V.32、V.22bis、V.22、V.21、 エラー訂正V.42/MNP4、データ圧縮V.42bis/MNP5		
	FAX	データ転送速度 最大14.4Kbps (V.17)、FAX制御 CLASS 1		

VF26D/6

モデル		VF26D/6GC VF26D/6GD	VF26D/6YC VF26D/6YD	
インターフェイス	ディスプレイ	アナログRGBセパレート信号出力(75) アナログインターフェイス、ミニD-Sub 15ピン)		
	オーディオ	入力	マイク入力(モノラル) 入力インピーダンス 10K 入力レベル最大100mVrms ゲイン20dB ライン入力(ステレオ) 入力インピーダンス 10K 入力レベル最大2Vrms ゲイン - 6dB	
		出力	ヘッドホン/ライン共用出力(ステレオ) 出力レベル最大500mVrms(負荷インピーダンス33)	
	プリンタ	パラレルインターフェイス(D-Sub25ピン)		
	シリアル	最大115,200bps(D-Sub 9 ピン)		
	PS/2ポート	キーボード、マウス各1ポート(ミニDIN6ピン)		
	USB 4	本体	2ポート内蔵(キーボードにより1ポート使用)	
		キーボード	2ポート内蔵(マウスにより1ポート使用)	
	カレンダー時計	電池によるバックアップ		
	電源	AC 100V±10%、50/60Hz		
温湿度条件	10～35、20～80% 5(ただし結露しないこと)			
外形寸法	本体	366(W)×192(D)×375(H)mm		
	キーボード	471(W)×178(D)×39(H)mm		
重量	本体	約5.4kg	約5.2kg	
	キーボード	約1.2kg		
消費電力	標準構成時 約33W 内蔵オプション最大接続時 約70W スタンバイモード時 約12W	標準構成時 約30W 内蔵オプション最大接続時 約70W スタンバイモード時 約12W		

- 1 利用 OS により、使用可能なメモリ容量は異なります。
- 2 別売の外付けディスプレイで表示可能。
- 3 サウンド機能を利用したアプリケーションソフトのうちハードウェアを直接制御しているものは、一部使用できないものがあります。
アプリケーションソフト購入に際しては、発売元に確認してください。
- 4 Windows 98 でのみサポート。接続する周辺機器の使用可否については、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
- 5 18～28、45～75% での使用を推奨します。

FAX モデム機能仕様

機能概要

CPU I/F	PCIローカルバスインターフェイス(Ver 2.1)、16550A相当(I/Oアクセス、割り込み)
NCU部	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤルパルス送出機能 ・リング検出機能
モデムチップセット部	<ul style="list-style-type: none"> ・CPU直結パラレルアクセスによる高スループット V.90 K56flex V.34 V32bis V.32、V.22bis、V.22、V.21 V.42LAPMおよびNMP4エラー訂正 V.42bisおよびMNP5データ圧縮 ・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度 V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2 ・HayesATコマンドセット ATコマンド Sレジスタ ・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン ・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択 ・フロー制御およびスピード・バッファリング ・パラレル非同期データ ・自動ダイヤルおよび自動アンサー ・トーンおよびパルスダイヤリング(DTMFトーン、ダイヤルパルス制御)

FAX 機能

項目	規格
交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調歩同期方式
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	QAM:14400/12000/9600/7200bps DPSK:4800/2400bps FSK:300bps
送信レベル	-9~-15dBm(出荷時 -15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS 1)

回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

データモデム 機能

項目	規格
適用回線	加入電話回線
通信速度	送受信: 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/ 7200/4800/2400/1200/300bps 受信のみ: 56000/54666/54000/53333/52000/50666/50000/49333/48000/46666/46000/ 45333/44000/42666/42000/41333/40000/38666/38000/37333/36000/34666/ 34000/33333/32000/30666/29333/28000bps
通信規格	K56flex ITU-T V.90/V.34/V.32/V.32bis/V.22/V.22bis/V.21
変調方式	TCM: 56000/54666/54000/53333/52000/50666/50000/49333/48000/46666/46000/ 45333/44000/42666/42000/41333/40000/38666/38000/37333/36000/34666/ 34000/33600/33333/32000/31200/30666/29333/28800/28000/26400/24000/ 21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200bps QAM: 9600/7200bps DPSK: 4800/2400/1200bps FSK: 1200/300bps
エラー訂正	ITU-T V.42(LAPM) MNP class4
データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
送信レベル	-9~-15dBm(出荷時-15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	HayesATコマンド準拠

回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

NCU 機能

項目	規格
適用回線	加入電話回線
ダイヤル方式	パルスダイヤル(10/20PPS) トーンダイヤル(DTMF)
NCU形式	AA(自動発信/自動着信型)
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 EIA-578拡張ATコマンド(CLASS 1)

AT コマンド

ATコマンドとは、電話回線に対してDTE(パソコンなどの端末機器)からのコマンドにより自動発着信を行うために米国 Hayes 社が開発したコマンド体系で“ AT ”で始まることからこのように呼ばれています。

コマンドの構成

ATコマンドセット(A/コマンドを除く)では、DTEが送る各コマンドラインはキャラクターシーケンスATで始まり、キャリッジリターン(以降CRと表記。【Enter】を指します)で終了しなければなりません。ATシーケンスは、いくつものコマンドをその次に続けることができます。ただし、Z、D、Aのようなコマンドは除きます。コマンドラインの最大キャラクタ数は60です。もしコマンドラインのどこかで構文エラーが見つかった場合には、ラインの残りは無視されます。

A	T	コマンド列	CR
---	---	-------	----

コマンド一覧

基本 AT コマンド

種類	ATコマンド	パラメータ・機能
アンサーモードで回線接続	A	アンサーモードで回線に接続し、通信状態になる。自動応答にしていないうちで、応答する場合に使用する。
コマンドの再実行	A/	直前に実行したコマンドを再実行する。このコマンドの前には「AT」はつけない。また、最後の(CR)もつけない。
ダイヤルの実行	D	指定された電話番号にダイヤルし、接続する。 P …… パルスダイヤル(ダイヤル回線)。 T …… トーンダイヤル(プッシュ回線)。 W …… S6レジスタで指定された時間、ダイヤルトーンを待つ。 @ …… 5秒間の無音時間を検出する。検出できない場合は「NO ANSWER」を返す。 , …… S8レジスタで指定された時間、ポーズを置く。構内交換機、ゼロ発信等でダイヤルを待つ場合に使用する。 0-9、*、#… 相手の電話番号をダイヤルする。ダイヤル番号を見やすくするために、スペース、「」、「()」、「[]」等が使用できる。なお、「*」、「#」はトーンダイヤルのみ使用できる。 ; …… ダイヤル後コマンドモードに戻る。 ! …… 0.5秒間、回線をオンフックする。 (フラッシュダイヤルモディファイ) L …… 最後にかけた番号にリダイヤルする。
コマンドエコー有無の設定	E	DTE(パソコン側)から送られたコマンドのエコー(文字をそのまま送り返す)の有無を指定する。 E0 コマンドモード時DTEから入力したコマンド文字をDTEに返さない。 E1 コマンドモード時DTEから入力したコマンド文字をDTEに返す(工場出荷時)。
回線の接続 / 切断	H	H0 回線を切断(オンフック)する。 H1 回線を接続(オフフック)する。
識別コード表示	I	モデムの識別コードを表示する。 I0 デフォルトスピード、コントロールF/Wバージョンの表示。 I1 ROMのチェックサムコードを表示する。 I2 ROMのチェックを実行する。 I3 I0と同じ。

()AT&Wでバックアップ可能

種 類	ATコマンド	パラメータ・機 能
モニタスピーカ 最大音量設定	L	FAXモデムの内蔵スピーカの音量を設定する。 L0 音量小。 L1 音量小。 L2 音量中(工場出荷時)。 L3 音量大。
モニタスピーカの動作設定	M	内部モニタスピーカのON、OFFのタイミングを設定する。 M0 スピーカを常にOFFにする。 M1 キャリアを検出するまでONにする(工場出荷時)。 M2 スピーカを常にONにする。 M3 ダイヤル終了からキャリア検出までONにする。
自動モードの設定	N	相手モデムとの通信速度決定の方法を指定する。 N0 相手モデムとの通信速度決定を自動で行わない。 N1 相手モデムとの通信速度決定を自動で行う(工場出荷時)。
オンラインモードに戻る	O	オンラインモード中にエスケープコマンド(+++)によってコマンドモードになったときに、再びオンラインモードに戻るのに使用する。 O0 オンラインモードに戻る。 O1 トレーニングを再度実行して、オンラインモードに戻る。 O3 ネゴシエーション後にオンラインモードに戻る。
パルス回線(ダイヤル回線)モードの設定	P	ダイヤルをパルスで行うモードに設定する。
リザルトコードの設定	Q	リザルトコードをDTE(パソコン側)に返すか、返さないかのモードを設定する。 Q0 リザルトコードをパソコンに返す(工場出荷時)。 Q1 リザルトコードをパソコンに返さない。
Sレジスタの読みだし	Sr?	Sレジスタrの内容を読みだす。ATS0?(CR)でS0レジスタの内容を読みだす。
Sレジスタの設定	Sr=n	Sレジスタrを設定する。 ATSr=n(CR)でrに設定したいレジスタの番号nにレジスタの値を10進数で設定する。 ATS2=43(CR)でS2レジスタに43(10進数)を設定する。
トーン回線(プッシュ回線)の設定	T	ダイヤルをトーンで行うモードに設定する(工場出荷時)。
リザルトコードタイプの設定	V	ATコマンドのリザルトコードの形式を指定する。 V0 リザルトコードを数字表示に設定する。 V1 リザルトコードを文字表示に設定する(工場出荷時)。
接続リザルトコード拡張(エラー訂正)の設定	W	モデム接続時のリザルトコードの拡張方法を指定する。 W0 接続時にDTEスピードのみを返す(例CONNECT19200)。 W1 接続時にエラー訂正プロトコル、DTEスピードの順に返す。 W2 接続時にエラー訂正プロトコル、DCEスピードの順に返す(工場出荷時)。
接続時のリザルトコードの設定	X	モデム接続時のリザルトコードの拡張方法を指定する。 X0 拡張リザルトコード表示なし。ダイヤルトーン・話中音検出なし。 X1 拡張リザルトコード表示あり。ダイヤルトーン・話中音検出なし。 X2 拡張リザルトコード表示あり。ダイヤルトーン検出あり。話中音検出なし。 X3 拡張リザルトコード表示あり。ダイヤルトーン検出なし。話中音検出あり。 X4 拡張リザルトコード表示あり。ダイヤルトーン・話中音検出あり(工場出荷時)。
ブ레이크信号の動作指定	Y	ブ레이크信号に関する動作を指定する。 Y0 ブ레이크信号を受信しても、回線を切斷しない(工場出荷時)。
モデムの初期化	Z	モデムを不揮発性メモリの内容で初期化する。 Z0 不揮発性メモリのプロファイル0の保存内容で初期化する。 Z1 不揮発性メモリのプロファイル1の保存内容で初期化する。 プロファイル0と1は同じプロファイルです。

()AT&Wでバックアップ可能

種 類	ATコマンド	パラメータ・機 能
キャリア検出信号(CD) の動作	&C	CD信号(DCD)の動作を指定する。 &C0 CD信号を常にONにする。 &C1 CD信号はキャリアが検出されるとONになる(工場出荷時)。
データ端末レディ(DTR) 信号の動作	&D	DTR信号がONからOFFに変化した場合の動作を指定する。 &D0 DTR信号は無視し、常にONとして扱う。 &D1 DTR信号がOFFになると、コマンドモードになる。 &D2 DTR信号がOFFになると、回線を切断しコマンドモードになる(工場出荷時)。 &D3 DTR信号がOFFになると、回線を切断し初期化される(ATZコマンド実行状態になる)。
パラメータの初期化	&F	各種パラメータを工場出荷時の設定に戻す。
ガードトーンの設定	&G	モデムのガードトーンの有無を指定する。 &G0 ガードトーンなし(工場出荷時)。 &G1 550Hzガードトーンあり。 &G2 1800Hzガードトーンあり。
DTEのフロー制御	&K	DTE(パソコン側)のフロー制御(RTS/CTS, XON/XOFF)を指定する。 &K0 フロー制御しない。 &K3 RTS/CTSフロー制御をする(工場出荷時)。 &K4 XON/XOFFフロー制御をする。
通信モードの設定	&M	通信モードを指定する(&Qの一部コマンドと同様)。 &M0 ダイレクト非同期モードで接続する。
ダイヤルパルススピードの 設定	&P	ダイヤルパルスのスピードを指定する。 &P1 ダイヤルパルスを10PPSにする(工場出荷時)。 &P2 ダイヤルパルスを20PPSにする。
通信モードの設定	&Q	通信モードを指定する。 &Q0 ダイレクト非同期モードで接続する。 &Q5 エラー訂正プロトコルで接続する(工場出荷時)。 &Q6 ダイレクト非同期モードで接続する。 &Q8 MNPエラー訂正プロトコルで接続する。 &Q9 V.42またはMNPエラー訂正プロトコルで接続する。
データセットレディ(DSR) の制御	&S	DSR信号の動作を指定する。 &S0 DSR信号は常にON(工場出荷時)。 &S1 DSR信号が回線接続中にONになる。
モデムの状態表示	&V	コマンドおよびレジスタの設定状況を表示する。
パラメータの書き込み	&W	現在設定されている状態を、不揮発性メモリに書き込む。 &W0 不揮発性メモリのプロファイル0に書き込む。 この値は、電源を入れたとき、またはATZnコマンドで初期化したときに使われる。各々のコマンドを参照。
プロファイルの設定	&Y	電源立ち上げ時のプロファイル読み込みを設定する。 &Y0 プロファイル0を指定する。
電話番号の保存	&Z	ATDS=(n)コマンドでダイヤルする場合の電話番号を指定する。 &Zn=XXXXX n=0~3,XXXXXは電話番号(40桁以下) (例)AT&Z2=03-1234-5678 ダイヤル番号バッファ2に指定の番号を保存する。 電話番号として使用できるのは、ATDコマンドの電話番号のうち「;」「S=n」以外のコマンド。

()AT&Wでバックアップ可能

種 類	ATコマンド	パラメータ・機 能
データ圧縮の指定	%C	データ圧縮の方法を指定する。 %C0 データ圧縮をしない。 %C1 V.42bis/MNP5のデータ圧縮を行う(工場出荷時)。
リトレーニング等の自動再実行	%E	回線の状態を監視して、状態が変化した場合や悪い場合に、トレーニングシーケンスの再実行(リトレーニング)、回線速度を変更するかどうかの指定をする。 %E0 リトレーニングを自動で再実行しない。 %E1 %E0と同じ。 %E2 リトレーニングを自動で再実行する。 データエラーが多い場合のリトライ動作を指定するものではありません。
最大ブロックサイズの設定	¥A	MNPで接続する時のブロックサイズを指定する。 ¥A0 最大ブロックサイズ64。 ¥A1 最大ブロックサイズ128。 ¥A2 最大ブロックサイズ192。 ¥A3 最大ブロックサイズ256(工場出荷時)。
ブレイク信号を送信	¥B	$n \times 100\text{ms}$ のブレイク信号を送信する。 $n=1 \sim 9$
ブレイク信号の動作	¥K	ブレイク信号を受けたときの動作を指定する。 ・オンラインモード(V.42/ノーマルモード)時にパソコンからブレイク信号を受けた。 ¥K0 コマンドモードになる。相手モデムにはブレイクを送らない。 ¥K1 データバッファを空にして、相手モデムにブレイクを送る。 ¥K2 ¥K0と同じ。 ¥K3 バッファのデータより優先して相手モデムにブレイクを送る。 ¥K4 ¥K0と同じ。 ¥K5 バッファのデータを送った後で、相手モデムにブレイクを送る。 ・オンラインコマンドモード時にパソコンから¥Bコマンドによるブレイクを受けた。 ¥K0 データバッファを空にして、相手モデムにブレイクを送る。 ¥K1 データバッファを空にして、相手モデムにブレイクを送る。 ¥K2 バッファのデータより優先して相手モデムにブレイクを送る。 ¥K3 バッファのデータより優先して相手モデムにブレイクを送る。 ¥K4 バッファのデータを送った後で、相手モデムにブレイクを送る。 ¥K5 バッファのデータを送った後で、相手モデムにブレイクを送る。 ・オンラインモード(V.42/ノーマルモード)時に相手モデムからブレイク信号を受けた。 ¥K0 データバッファを空にして、パソコンにブレイクを送る。 ¥K1 データバッファを空にして、パソコンにブレイクを送る。 ¥K2 バッファのデータより優先してパソコンにブレイクを送る。 ¥K3 バッファのデータより優先してパソコンにブレイクを送る。 ¥K4 バッファのデータを送った後で、パソコンにブレイクを送る。 ¥K5 バッファのデータを送った後で、パソコンにブレイクを送る。

()AT&Wでバックアップ可能

種 類	ATコマンド	パラメータ・機 能
通信モードの設定	¥N	<p>エラー訂正プロトコルの動作を設定する。</p> <p>¥N0 ノーマルモードで通信する。V.42、MNPは使用しない。</p> <p>¥N1 ダイレクトモードで通信する。</p> <p>¥N2 MNPモードで通信する。相手モデムがMNPモードでない場合は接続しない。</p> <p>¥N3 V.42、MNPモードで接続する(工場出荷時)。相手モデムがV.42、MNPでない場合は、ノーマルモードで接続する。</p> <p>¥N4 V.42モードで接続できる。相手モデムがV.42でない場合は接続しない。</p> <p>¥N5 ¥N3と同じ。</p> <p>¥N7 ¥N3と同じ。</p> <p>V.42、MNPの場合は、V.42 MNPの順に相手モデムとの接続を試す。 &M、&Qコマンドも参照。</p>
DTEのフロー制御	¥Q	<p>DTE(パソコン側)のフロー制御(RTS/CTS、XON/XOFF)を指定する。</p> <p>¥Q0 フロー制御をしない。</p> <p>¥Q1 XON/XOFFフロー制御をする。</p> <p>¥Q3 RTS/CTSフロー制御をする(工場出荷時)。 &Kコマンドを参照。</p>
拡張リザルトコードの指定	¥V	<p>拡張リザルトコードを指定する。</p> <p>¥V0 拡張リザルトコードを使用しない。</p> <p>¥V1 拡張コードにエラー訂正の表示をする。</p> <p>¥V2 ¥V1と同じ。</p>
V.90のイネーブル/ディセーブルと、下り通信速度の設定	-V90=	<p>-V90=0 V.90のディセーブル</p> <p>-V90=1 相手モデムと通信速度決定を自動で行う(工場出荷時)。</p> <p>-V90=2 通信速度を28000bpsに設定する。</p> <p>-V90=3 通信速度を29333bpsに設定する。</p> <p>-V90=4 通信速度を30666bpsに設定する。</p> <p>-V90=5 通信速度を32000bpsに設定する。</p> <p>-V90=6 通信速度を33333bpsに設定する。</p> <p>-V90=7 通信速度を34666bpsに設定する。</p> <p>-V90=8 通信速度を36000bpsに設定する。</p> <p>-V90=9 通信速度を37333bpsに設定する。</p> <p>-V90=10 通信速度を38666bpsに設定する。</p> <p>-V90=11 通信速度を40000bpsに設定する。</p> <p>-V90=12 通信速度を41333bpsに設定する。</p> <p>-V90=13 通信速度を42666bpsに設定する。</p> <p>-V90=14 通信速度を44000bpsに設定する。</p> <p>-V90=15 通信速度を45333bpsに設定する。</p> <p>-V90=16 通信速度を46666bpsに設定する。</p> <p>-V90=17 通信速度を48000bpsに設定する。</p> <p>-V90=18 通信速度を49333bpsに設定する。</p> <p>-V90=19 通信速度を50666bpsに設定する。</p> <p>-V90=20 通信速度を52000bpsに設定する。</p> <p>-V90=21 通信速度を53333bpsに設定する。</p> <p>-V90=22 通信速度を54666bpsに設定する。</p> <p>-V90=23 通信速度を56000bpsに設定する。</p> <p>-V90=? 現在の設定値を表示する。</p> <p>-V90=? 設定値の範囲(0~23)を表示する。</p>

()AT&Wでバックアップ可能

種 類	ATコマンド	パラメータ・機 能
エスケープ	+++	オンラインモードの時、パソコンから前後1秒間(S12レジスタで設定可能)の時間をあけて、「+++」のコマンドが入力されると、回線を切断することなく、コマンドモードに移る。 「+++」の前後に他の文字が入力されるとエスケープコマンドと判断されないので(CR)等は入力しないこと。

()AT&Wでバックアップ可能

チェック!

相手FAXが音声応答FAXの場合、接続できない可能性があります。その場合は以下のコマンドによりBUSYトーン検出をOFFにしてください。

コマンド構文: ATX0

リザルトコード

数 字	文 字	内 容
0	OK	コマンドラインの実行確認
1	CONNECT	接続
2	RING	リングング検出
3	NO CARRIER	キャリアおよびリングバック検出せず
4	ERROR	コマンド構文違いおよび存在しないコマンド
5	CONNECT 1200 EC	1200bpsのポートまたはモデム速度で接続
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーン検出せず
7	BUSY	BUSYトーン検出
8	NO ANSWER	S7タイマーが切れるまで連続的にリングバックを検出
10	CONNECT 2400 EC	2400bpsで接続
11	CONNECT 4800 EC	4800bpsで接続
12	CONNECT 9600 EC	9600bpsで接続
13	CONNECT 14400 EC	14400bpsで接続
14	CONNECT 19200 EC	19200bpsで接続
24	CONNECT 7200 EC	7200bpsで接続
25	CONNECT 12000 EC	12000bpsで接続
86	CONNECT 16800 EC	16800bpsで接続
40	CONNECT 300 EC	300bpsで接続
55	CONNECT 21600 EC	21600bpsで接続
56	CONNECT 24000 EC	24000bpsで接続
57	CONNECT 26400 EC	26400bpsで接続
58	CONNECT 28800 EC	28800bpsで接続
59	CONNECT 31200 EC	31200bpsで接続
60	CONNECT 33600 EC	33600bpsで接続
28	CONNECT 38400 EC	38400bpsで接続
18	CONNECT 57600 EC	57600bpsで接続
70	CONNECT 32000 EC	32000bps(K56flexまたはV.90)で接続
71	CONNECT 34000 EC	34000bps(K56flex)で接続
72	CONNECT 36000 EC	36000bps(K56flexまたはV.90)で接続
73	CONNECT 38000 EC	38000bps(K56flex)で接続
74	CONNECT 40000 EC	40000bps(K56flexまたはV.90)で接続
75	CONNECT 42000 EC	42000bps(K56flex)で接続
76	CONNECT 44000 EC	44000bps(K56flexまたはV.90)で接続
77	CONNECT 46000 EC	46000bps(K56flex)で接続
78	CONNECT 48000 EC	48000bps(K56flexまたはV.90)で接続
79	CONNECT 50000 EC	50000bps(K56flex)で接続
80	CONNECT 52000 EC	52000bps(K56flexまたはV.90)で接続
81	CONNECT 54000 EC	54000bps(K56flex)で接続
82	CONNECT 56000 EC	56000bps(K56flex)で接続
87	CONNECT 115200 EC	115200bpsで接続
88	DELAYED	接続は延期された
89	BLACKLISTED	再ダイヤル規制によりダイヤルを実行できない
100	CONNECT 28000 EC	28000bps(V.90)で接続
101	CONNECT 29333 EC	29333bps(V.90)で接続
102	CONNECT 30666 EC	30666bps(V.90)で接続
103	CONNECT 33333 EC	33333bps(V.90)で接続
104	CONNECT 34666 EC	34666bps(V.90)で接続
105	CONNECT 37333 EC	37333bps(V.90)で接続
106	CONNECT 38666 EC	38666bps(V.90)で接続
107	CONNECT 41333 EC	41333bps(V.90)で接続
108	CONNECT 42666 EC	42666bps(V.90)で接続

数 字	文 字	内 容
1 0 9	CONNECT 45333 EC	45333bps(V.90)で接続
1 1 0	CONNECT 46666 EC	46666bps(V.90)で接続
1 1 1	CONNECT 49333 EC	49333bps(V.90)で接続
1 1 2	CONNECT 50666 EC	50666bps(V.90)で接続
1 1 3	CONNECT 53333 EC	53333bps(V.90)で接続
1 1 4	CONNECT 54666 EC	54666bps(V.90)で接続

チェック!!

ECは拡張リザルトコードオプションが有効のときに出現します。ECは使用されるエラー制御方法によって、以下のシンボルのいずれかに置き換わります。

- V.42bis :V.42 エラー訂正と V.42bis データ圧縮
- V.42 :V.42 エラー訂正のみ
- MNP5 :MNP4 エラー訂正と MNP5 データ圧縮
- MNP4 :MNP4 エラー訂正のみ
- NoEC :エラー訂正なし

Sレジスタ

Sレジスタ	範囲	単位	初期値	機能
S0	0 ~ 15	回	0	自動着信のリングの回数
S1	0 ~ 255	回	0	受信しているリングの回数
S2	0 ~ 255	ASCII	43	エスケープ・シーケンスのコード
S3	0 ~ 127	ASCII	13	キャリッジリターン・コード
S4	0 ~ 127	ASCII	10	ラインフィード・コード
S5	0 ~ 32,127	ASCII	8	バックスペース・コード
S6	4 ~ 255	秒	4	ダイヤルトーン検出時間
S7	35 ~ 59	秒	50	相手モデムと接続するまでの許容時間
S8	2 ~ 65	秒	2	ダイヤル時の「」によるポーズ時間
S10	1 ~ 255	1/10秒	20	キャリア・ロス検出時間
S11	70 ~ 150	1ミリ秒	95	PBTーン・スピード
S12	0 ~ 255	0.02秒	50	エスケープシーケンスのガードタイム
S28	0 ~ 255	-	1	V.34のイネーブル/ディセーブル S28=0 V.34のディセーブル S28=1 ~ 255 V.34のイネーブル
S35	0 ~ 1	-	0	データ・コーリング・トーン データ・モデム接続のコーリング・トーン (1300Hz0.5秒オン2秒オフ)のイネーブル/ディセーブル S35=0 ディセーブル S35=1 イネーブル
S37	(ビットマップ)	-	0	V.34接続スピード S37=0 最大モデムスピード S37=1 予約済み S37=2 1200/75bit/s S37=3 300bit/s S37=4 予約済み S37=5 1200bit/s S37=6 2400bit/s S37=7 4800bit/s S37=8 7200bit/s S37=9 9600bit/s S37=10 12000bit/s S37=11 14400bit/s S37=12 16800bit/s S37=13 19200bit/s S37=14 21600bit/s S37=15 24000bit/s S37=16 26400bit/s S37=17 28800bit/s S37=18 31200bit/s S37=19 33600bit/s

Sレジスタ	範囲	単位	初期値	機能
S38	0 ~ 14	-	1	K56flexのイネーブル/ディセーブルと下り通信速度 S38=0 K56flexディセーブル S38=1 最大モデムスピード S38=2 32000bit/s S38=3 34000bit/s S38=4 36000bit/s S38=5 38000bit/s S38=6 40000bit/s S38=7 42000bit/s S38=8 44000bit/s S38=9 46000bit/s S38=10 48000bit/s S38=11 50000bit/s S38=12 52000bit/s S38=13 54000bit/s S38=14 56000bit/s
S89	0.5 ~ 255	秒	10	スリープモードタイマー スタンバイモードに入るまでの非活動時間（DTEからデータが来ないこと、かつリング信号が検出されないこと）を規定します。 S89=0 スタンバイモードには入りません。 S89=5 ~ 255 5 ~ 255秒間の非活動が検出された後で、スタンバイモードに入ります。

 **チェック!!**

S0 レジスタを0以外の値でバックアップすると、通信用アプリケーションの起動状態によらずに設定された呼び出し回数で着信します。

索 引

英数字

3.5インチフロッピーディスクドライブ	17,34
ACPIモード	127
Adobe Acrobat Reader	75,95
AI将棋	67,76
Angel Line for Windows	92,96
AOL	76,96
APMモード	127
BIGLOBE インターネット接続ツール	76,96
BIOSセットアップメニュー	112
BUSYインジケータ	17
CD-ROMドライバ	134
CD-ROMドライブ	17,62
CDランチ	77,96
CyberCoach-NX	77,97
CyberTrio-NX	4,77,97
CyberWarner-NX	9,77,97
DCコネクタ	19
DMAチャンネル	124
Draw 98	91,108
Excel 97	72,91,107
FAX-NX	78,97
FAXモデム	55
Hatch inside	78,98
Intellisync	59,69,78
LINE IN端子	18
MAGIC FLIGHT	79,98
MapPlayer-NX	79,99
Microsoft Speech API 3.0	79
MIDI	51
MS-DOSモード	134
NEC 音声合成エンジン 3.0	80
NEC 音声認識エンジン 3.0	80
NIFTY MANAGER	70,80
Outlook 98	72,90,109
PC-9800シリーズのキーボード	28
PCM	51
PCカードスロット	18
PCカードイジェクトボタン	18
PictureStudio Light	81,99

PS/2キーボードコネクタ	20
PS/2マウスコネクタ	20
Shogakukan Bookshelf Basic	72
SmartVoice	81,99
ThumbsStudio	81,100
Timer-NX	82,100
USBコネクタ	19
VirusScan	82,100
VirusScan スケジューラ	13
VoiceATOK for SmartVoice (一太郎モデルのみ)	82,101
VShield	12
Windows NT 4.0	136
Windows起動ディスク	35
Word 98	72,91,108

ア行

アドバンスモード	4
アナログRGBコネクタ	19
アプリケーションCD-ROM	94
アルバム工房Light	83,102
一太郎9パック (一太郎モデルのみ)	72,88,109
インターネットアクセスマネージャ	92,102
インターネット無料体験	83,102
ウイルスの検査と駆除	12
液晶ディスプレイ	17
駅すばあと	88,105

カ行

解像度	40
カラオケキング	84,103
簡易解像度切り替え機能	41
キーの名称	24
キーボードのプロパティ	26
キッズモード	6
輝度調整ボタン	17
空冷用ファン	18
グローバルヘキサイト	67,93
競馬道3	68,89
ゲーム	66

サ行

サウンド機能	51
ジェットサーファ	84,103
省電力機能(スタンバイ)	45
省電力の設定	114
シリアルコネクタ	20
スーパーバイザパスワード	117
スキップセクタ	30
スキャンディスク	29
スクロールボタン	21
スタンバイ状態	45
スピーカ	17
スリープランプ	16
赤外線通信	58
赤外線通信ポート	17
セキュリティの設定	114
ソリティア デラックス	68,84

タ行

ダブルクリックの速度	22
ディスククリーンアップ	31
ディレクトリエイジェントボタン	17
ディスプレイ	38
テキストリーダ	70,85
てきばき家計簿マム 2 Plus	85,103
デバイスドライバ	120
デバイスマネージャ	120
デフラグ	31
電源スイッチ	16
電源の管理のプロパティ	47
電源ランプ	16
電話回線用モジュラーコネクタ	19
ドライブコンバータ (FAT32)	33

ナ行

内蔵スピーカボリューム	18
ニフティサーブでインターネット	85,104

ハ行

ハードディスク	29
ハードディスクアクセスランプ	16

ハウリング	53
パスワード	117
パスワードの解除	119
パソコン大学一年生	86,107
パソコン探検箱	86,104
バックアップ	34
バックアップファイル	10
パラレルコネクタ	19
ハローキティのハッピーメール	69,87
左きき用	22
表示色	40
筆ぐるめ	89,106
不良セクタ	30
プレーヤ-NX	87,104
フロッピーディスク	34
フロッピーディスクドライブアクセスランプ	17
フロッピーディスクイジェクトボタン	17
文豪DP/LANシリーズコンバータ	71,89
ベーシックモード	5
ヘッドホン/LINE OUT端子	18
ホームページスクラップブック	93,105
ボリュームコントロール	51
翻訳アダプタ CROSSROAD	90,106

マ行

マイクロホン	52
マイクロホン端子	18
マウスのプロパティ	22
右きき用	22
メンテナンスウィザード	32
モード	4

ヤ・ラ・ワ行

ユーザパスワード	117
ランチ-NX	87,105
リソース設定	122
リソースの競合	125
割り込みレベル	124

VALUESTAR



PC98-**NX** SERIES

VALUESTAR NX

VF26D/6

初版 1999年2月

NEC

P

808-875488-274-A

このマニュアルはエコマーク認定の
再生紙を使用しています。

